



\* 0035637000 \*

0035637-000

AZ-543-3

健康保険法規疑義事項解釈

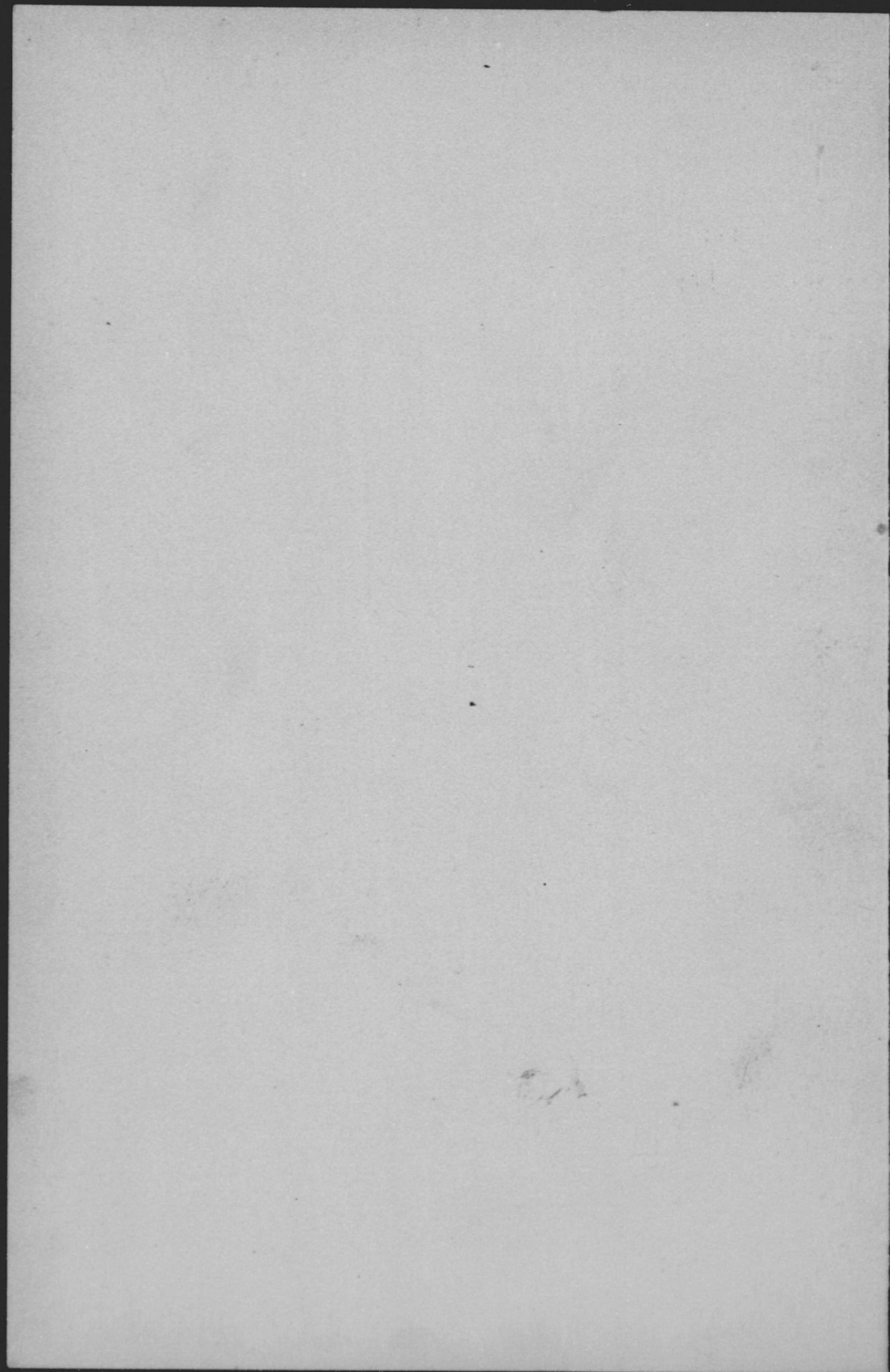
内務省社会局保険部・編

産業福利協会

増補改訂〔版〕

1934

AGD



9-4-1  
社會局編纂

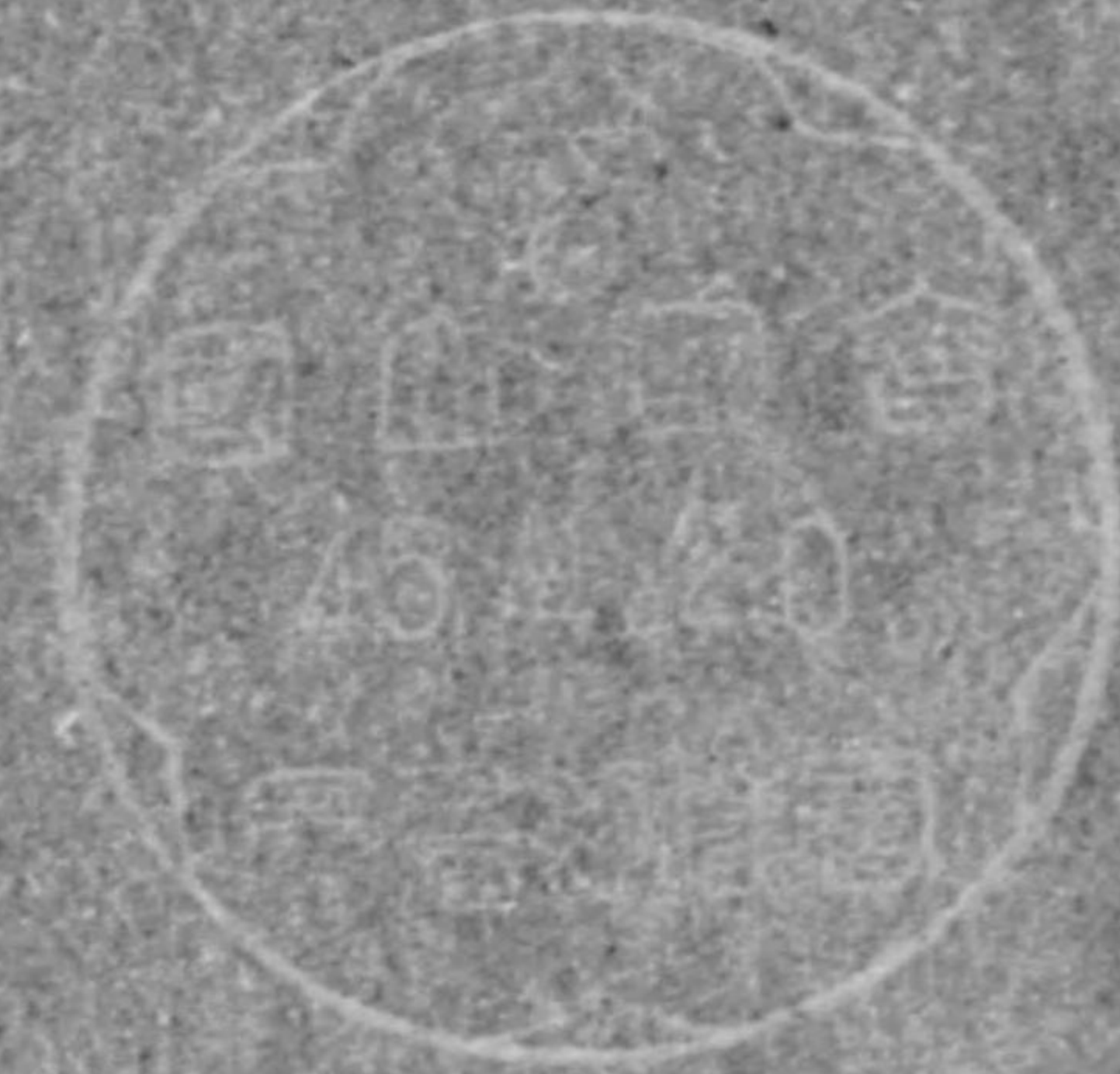
改訂  
增補  
健康保險法規疑義事項解釋

財團  
法人  
產業福利協會

929

A

6/2



824216

AZ  
543  
3

社會局保險部編纂

增補訂 健康保險法規疑義事項解釋

## 例言

- 一、本書ハ健康保險法令ニ關スル疑義ニ付昭和八年九月迄ニ定マレル解釋ノ主ナルモノヲ登載セリ
- 一、従前發表セル解釋中法令ノ改正ニ依リ當然變更スヘキモノ又ハ字句ノ適當ナラサルモノハ本書ニ於テハ相當ノ變更ヲ加ヘテ登載セリ
- 一、數回ニ亘リテ發シタル通牒又ハ回答ニ付テハ便宜之ヲ一括シテ登載シタルモノアリ
- 一、解釋文中健康保險署長又ハ健康保險署トアルハ昭和四年八月一日以降ハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）、道府縣廳（東京府ニ在リテハ警視廳）ヲ指スモノトス
- 一、標題ノ下ニ「（法何條）」、「（令何條）」、「（則何條）」ノ如ク記載セルハ參照法文ヲ示シタルモノニシテ其ノ「法」トアルハ「健康保險法」、「令」トアルハ「健康保險法施行令」、「則」トアルハ「健康保險法施行規則」ノ略稱ナリ

昭和九年一月

社會局保險部

「健康保險法」の解説

一、健康保險法の目的と意義  
 一、健康保險法の歴史  
 一、健康保險法の適用範囲  
 一、健康保險法の保険料  
 一、健康保險法の給付  
 一、健康保險法の罰則

目次

第一章 總論	一
第二章 健康保險法	一
第三章 健康保險法	一
第四章 健康保險法	一
第五章 健康保險法	一
第六章 健康保險法	一
第七章 健康保險法	一
第八章 健康保險法	一
第九章 健康保險法	一
第十章 健康保險法	一
第十一章 健康保險法	一
第十二章 健康保險法	一
第十三章 健康保險法	一
第十四章 健康保險法	一
第十五章 健康保險法	一
第十六章 健康保險法	一
第十七章 健康保險法	一
第十八章 健康保險法	一
第十九章 健康保險法	一
第二十章 健康保險法	一
第二十一章 健康保險法	一
第二十二章 健康保險法	一
第二十三章 健康保險法	一
第二十四章 健康保險法	一
第二十五章 健康保險法	一
第二十六章 健康保險法	一
第二十七章 健康保險法	一
第二十八章 健康保險法	一
第二十九章 健康保險法	一
第三十章 健康保險法	一
第三十一章 健康保險法	一
第三十二章 健康保險法	一
第三十三章 健康保險法	一
第三十四章 健康保險法	一
第三十五章 健康保險法	一
第三十六章 健康保險法	一
第三十七章 健康保險法	一
第三十八章 健康保險法	一
第三十九章 健康保險法	一
第四十章 健康保險法	一
第四十一章 健康保險法	一
第四十二章 健康保險法	一
第四十三章 健康保險法	一
第四十四章 健康保險法	一
第四十五章 健康保險法	一
第四十六章 健康保險法	一
第四十七章 健康保險法	一
第四十八章 健康保險法	一
第四十九章 健康保險法	一
第五十章 健康保險法	一

○健康保險法	一
第二十八條	一
第二十六條	一
第三條	一
第四條	一
第六條	一
第七條	一
第八條	一
第十一條ノ二	一
第十一條ノ三	一

第十三條	……	二四
第十四條	……	二六
第十六條	……	三八
第十七條	……	四〇
第十八條	……	四五
第二十條	……	四九
第二十一條	……	五三
第二十六條	……	五四
第二十八條	……	五七
第三十一條	……	五九
第三十四條	……	五九
第三十六條	……	六〇

○ 附錄

第四十三條	……	六〇
第四十四條	……	七六
第四十五條	……	七九
第四十七條	……	一〇三
第四十八條	……	一〇
第四十九條	……	一一
第五十條	……	二四
第五十一條	……	二九
第五十三條	……	三一
第五十四條	……	三一
第五十五條	……	三一
第五十七條	……	三一



第五十八條	……	一三三
第六十條	……	一三九
第六十一條	……	一四二
第六十二條	……	一四六
第六十三條	……	一五三
第六十四條	……	一五五
第六十七條	……	一五七
第七十一條	……	一六一
第七十二條	……	一六三
第七十四條	……	一六八
第七十六條	……	一六九
第七十七條	……	一七一

○健康保險法施行令

第七十八條	……	一七三
第八十條	……	一七四
第八十二條	……	一七六
第八十六條	……	一七六
第一一四條	……	一七九
第一二二條	……	一八三
第一三二條	……	一八四
第一四八條	……	一八五
第一五八條	……	一八八
第一七二條	……	一九一
第一九二條	……	一九九

第十三條	...	一九六
第十四條	...	一九七
第十六條	...	一九七
第十八條	...	一九九
第二十條	...	一九九
第二十一條	...	二〇一
第二十四條	...	二〇四
第二十五條	...	二〇五
第二十六條	...	二〇六
第二十七條	...	二〇七
第二十九條	...	二〇八
第三十條	...	二〇八

○ 附錄

第三十二條	...	三〇九
第三十三條	...	三〇九
第三十六條	...	三〇〇
第三十八條	...	三〇三
第四十二條	...	三〇三
第四十四條	...	三〇四
第四十五條	...	三〇四
第四十六條	...	三〇六
第四十七條	...	三〇七
第四十八條	...	三〇七
第五十條	...	三〇八
第五十三條	...	三〇三



○健康保險法施行規則

第百十六條	...	二七四
第百二十二條	...	二七五
第三條	...	二七七
第八條	...	二七八
第十八條	...	二七九
第十二條	...	二八一
第二十條	...	二八三
第二十六條	...	二八三
第三十六條	...	二八四
第四十四條	...	二八五
第四十五條	...	二八五

第五十一條	...	二八六
第五十三條	...	二八六
第五十七條	...	二八七
第五十九條	...	二九四
第六十二條	...	二九六
第六十四條	...	二九九
第六十六條ノ二	...	三〇〇
第六十六條ノ三	...	三〇〇
第七十五條	...	三〇一
○其ノ出	...	三〇一
様式第一號	...	三〇一
様式第五號	...	三〇四
様式第六號	...	三〇五



健康保險法

# 健康保險法

## 第一條

被保險者資格存續中ト保險給付（法四七條、六〇條等）

被保險者ノ資格ノ存スル間ハ保險事故アラハ保險給付ヲ爲スヘキモノトス但シ法

定日數ノ超過其ノ他ノ特別ノ場合（法第六十條乃至第六十四條、第六十五條第二

項ノ場合ノ如シ）ニ於テハ給付ヲ爲ササルコトアルハ勿論トス（昭和二年八月十八日

附保理第二、六六四號ヲ以テ保險部長ヨリ明電令健康保險組合宛回答）

被保險者資格取得届出前ニ於ケル資格存在當時ノ保險事故ニシテ給付請求權消滅時効  
完成前ノモノノ給付

被保險者資格取得届出前ニ於ケル資格存在當時ノ保險事故ニ付テモ保險給付請求  
權ノ消滅時効完成前ノモノハ給付ヲ爲スヘキモノトス（昭和三年十一月十二日附保理第七

四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險局長及各健康保險組合宛通函)

### 素行修マラサル被保險者ト保險給付

素行修マラス又ハ行動不都合ナル被保險者ト雖保險者ハ此ノ者ニ對シ保險給付ヲ爲ササルコトヲ得ス (昭和二年二月十九日附保理第八二六號ヲ以テ保險部長ヨリ明治紡織健康保險

組合宛回答)

被保險者タラサル者ヲ誤リテ被保險者トシテ取扱ヒタル場合ニ於テ既ニ納付シタル保險料及爲シタル給付 (法第一三條等)

被保險者タラサル者ヲ誤リテ被保險者トシテ取扱ヒタル場合ニ於テハ民法第三編第四章不當利得ニ關スル規定ニ依リ被保險者トシテ取扱ヒタル當時ニ於ケル既ニ納付シタル保險料ハ之ヲ還付シ又既ニ爲シタル給付ハ之ヲ返還セシムヘキモノトス而シテ此ノ場合ニ於ケル給付カ療養ノ給付又ハ産院收容若ハ助産ノ手當ナルト

キハ之ヲ金額ニ換算シテ返還セシムヘキモノトス (昭和二年五月二十日附保理第二、〇〇五號ヲ以テ保險部長ヨリ豊田紡織健康組合宛回答)

### 健康保險法ニ依ル給付ト工場法ニ依ル扶助トノ關係 (工場法施行令一三條ノ二)

職工カ業務上ノ事由ニ因ル疾病ニ罹リ又ハ負傷ヲ爲シタル場合ニ於テハ先ツ健康保險法ニ依リテ療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ爲シ其ノ間ハ工場法ニ依ル扶助ヲ爲ササルモノトス (昭和二年六月二十二日附ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ吉見紡織健康保險組合宛回答)

### 保險給付ノ請求ト被保險者ノ代理人

健康保險法ニ於テハ被保險者ニ付代理人ヲ認メタル規定ナキヲ以テ保險給付ノ請求ハ本人ヨリ爲スヘキモノトス然レトモ現金ノ受領ハ代理人ニ於テ爲スモ支障ナキモノト認メラル (昭和三年三月二十日附保理第五七二號ヲ以テ保險部長ヨリ凸版印刷健康保險組



合宛回答)

賜子アス菌保有者ト保險給付 (法四三條、四五條)

被保險者チブス菌保有者ト決定セラレ自宅ニ禁足ノ勸告ヲ與ヘラレタルモ未ク發病セサル場合ハ保險給付ヲ爲スヲ要セサルモノトス (昭和五年六月二十六日附規第三四七號ヲ以テ保險部長ヨリ桐原嶺山健康保險組合理事長宛回答)

第二條

報酬ト公傷病ニ因ル休業扶助料等 (令一條、工場法施行令六條)

法第二條第一項ノ「勞務ノ對價トシテ」トアルハ「勞務ニ服スルカ爲之カ對價トシテ」ト解スヘキ義ニシテ公傷病ニ因ル休業扶助料又ハ產婦扶助料ノ如キハ健康保險ノ所謂報酬ノ範圍ニ屬セサルモノトス (大正十五年九月十六日附規外ヲ以テ保險部監理課長ヨリ某官廳宛回答)

報酬ト恩給

健康保險ニ於ケル報酬ニハ恩給ヲ含マサルモノトス (昭和二年二月二十二日附保理第三二八號ヲ以テ保險部ヨリ神奈川縣横浜市久保町東洋電機製造株式會社岩切矢一宛回答)

傷病手當金ト報酬トノ關係 (法四五條)

傷病手當金ハ健康保險法ニ規定スル報酬ト全然異ルヲ以テ被保險者カ休業中傷病手當金ヲ受クルコトヲ報酬ヲ受クルコトト同様ニ認ムルハ違法トス (昭和二年四月十八日附保理第一、八〇三號ヲ以テ保險部長ヨリ淺野セメント川崎工場健康保險組合理事長宛回答)

第三條

法第三條ノ標準報酬ト法第四十五條ノ報酬日額トノ異同 (法四五條)

法第三條第一項ノ「標準報酬」ト法第四十五條ノ「報酬日額」トハ孰レモ標準報酬日額ヲ指ス義ナルカ故ニ傷病手當金ノ額モ標準報酬日額ニ依ルモノトス (昭和二年三月十八日附保理第一、二四七號ヲ以テ保險部長ヨリ長野縣諏訪郡平野村山十製絲株式會社鈴木秀宛回答)

第四條

保險料其ノ他ノ徴收金ノ徴收權消滅時効ノ起算日 (法七九條、令一〇〇條、二〇一條)

保險料其ノ他ノ徴收金ノ徴收權消滅時効ノ起算日ハ左ニ依ルモノトス

一 保險料ニ在リテハ其ノ保險料ノ納期限ノ翌日

二 保險料以外ノ徴收金ニ在リテハ徴收金ヲ徴收スヘキ原因タル事實ノ終リタル

日ノ翌日 (昭和三年七月六日附保發第五一四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險

組合宛通牒) 尙書促手數料ニ付テハ督促狀ニ指定シタル期限ノ翌日、延滞金ニ付テハ督促狀ニ指定シタル

期限前ノ事實ニ對スルモノハ其ノ期限ノ翌日、其他ハ本通牒ノ二ニ依ルモノトス

保險料其ノ他ノ徴收金ノ還付請求權消滅時効ノ起算日 (法七六條)

保險料其ノ他ノ徴收金ノ還付請求權消滅時効ノ起算日ハ左ニ依ルモノトス

一 保險料ニ在リテハ左ノ通

イ 法第七十六條第一號ニ該當シタル爲過納又ハ誤納ト爲リタルモノニ在リテ

ハ 傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給決定通知ノ到達シタル日ノ翌日

ロ 法第七十六條第二號ニ該當シタル爲過納又ハ誤納ト爲リタルモノニ在リテ

ハ過納又ハ誤納ト爲リタル日ノ翌日

ハ 右「イ」及「ロ」以外ノ事山ニ基キ過納又ハ誤納ト爲リタルモノ (即チ健康保

險署又ハ健康保險組合ニ於テ調定ヲ誤リテ過分ニ徴收シ又ハ徴收スヘカラサ

ルモノヲ徴收シタル場合ノ如シ) ニ在リテハ其ノ保險料ヲ納付シタル日ノ翌

日

二 保險料以外ノ徴收金ニ在リテハ納付シタル日ノ翌日 (昭和三年七月六日附保發第五

一四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

被保險者資格得喪届出遲滯ノ場合ニ於テ保險料等ヲ徴收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利  
及保險給付ヲ受クル權利ノ消滅時効

被保險者資格ノ取得又ハ喪失ノ届出遲滯シ保險者ニ於テ得喪ノ事實ヲ知ラサル場

合ニ於テモ既ニ法律上資格ノ得喪アリタル以上保険料其ノ他健康保険法ノ規定ニ依ル徴収金ノ徴収又ハ其ノ還付ヲ受クル権利及保険給付ヲ受クル権利ノ消滅時効ハ進行スルモノニシテ其ノ消滅時効ノ起算日ハ一般ノ被保険者ノ場合ニ於ケルモノト異ラサルモノトス（昭和三年十一月十二日附保發第七四〇號ヲ以テ保険部長ヨリ各健康保険署長及各健康保険組合宛通牒）

被保険者タラサル者ヲ被保険者トシテ取扱ヒタル場合ニ於ケル保険料還付請求權消滅時効ノ起算日

被保険者タラサル者ヲ誤リテ被保険者トシテ取扱ヒタル場合ニ於ケル保険料ノ還付請求權ノ消滅時効ハ法第四條ニ依リテ一年ヲ以テ完成スルモノニシテ之カ起算日ハ保険料ヲ納付シタル日ノ翌日トス（昭和三年十二月二十六日附保理第二、九一九號ヲ以テ保険部長ヨリ愛知健康保險署長宛回答）

消滅時効ノ完成セル保険料其ノ他ノ徴収金ヲ納付セル場合ト之カ徴収

時効ハ當事者之ヲ援用スルニ非サレハ效力ナキモノナルヲ以テ既ニ消滅時効ノ完成セル保険料其ノ他ノ徴収金ト雖事業主又ハ任意繼續被保険者ヨリ納付セハ之ヲ徴収シ差支ナキモノトス（昭和三年十一月十二日附保發第七四〇號ヲ以テ保険部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒）

保險給付請求權ノ消滅時効ノ起算日

保險給付請求權ノ消滅時効ノ起算日ハ左ニ依ルモノトス  
療養費

傷病治療ノ日ノ翌日（給付期間滿了ノモノニ在リテハ給付期間滿了ノ日ノ翌日）

傷病手當金

支給期日ノ定メナキモノ（請求ノ都度之ヲ支給スルモノ）ニ在リテハ勞務可能トナリタル日ノ翌日又ハ給付期間滿了ノ日ノ翌日

支給期日ノ定メアルモノニ在リテハ勞務可能トナリタル日後直近支給期日ノ翌

日（給付期間満了ノモノニ在リテハ給付期間満了ノ日後直近支給期日ノ翌日）

出產手當金

支給期日ノ定メナキモノ（請求ノ都度之ヲ支給スルモノ）ニ在リテハ産後勞務

ニ從事シタル日ノ翌日（但シ勞務ニ從事セスシテ産後四十二日ノ期間ヲ經過シ

タル場合ニ在リテハ四十二日ノ期間満了ノ日ノ翌日）

支給期日ノ定メアルモノニ在リテハ産後勞務ニ從事シタル日ノ直近支給期日ノ

翌日（但シ勞務ニ從事セスシテ産後四十二日ノ期間ヲ經過シタル場合ニ在リテ

ハ四十二日ノ期間満了ノ日後直近支給期日ノ翌日）

分 挽 費

事故發生ノ日ノ翌日

埋葬料又ハ埋葬費

事故發生ノ日ノ翌日

（昭和三年四月十六日附保單第四、一四七號ヲ以テ保險部長ヨリ千葉健康保險局長宛回答但シ傷病手當

金及出產手當金ニ付テハ昭和四年七月十七日附保發第三八八號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險局長及

各健康保險組合宛通函）

被保險者タラサル者ヲ被保險者トシテ取扱ヒタル場合ニ於ケル保險給付還付請求權消

滅時效ノ起算日

被保險者タラサル者ヲ誤リテ被保險者トシテ取扱ヒタル場合ニ於ケル保險給付ノ

還付請求權ノ消滅時效ハ民法第六十七條第一項ノ規定ニ依ルモノニシテ之カ起

算日ハ左ニ依ルモノトス

一 療養ノ給付ニ付テハ之ヲ爲ササルニ至リタル日ノ翌日

二 産院收容ニ付テハ退院シタル日ノ翌日

三 助産ノ手當ニ付テハ之ヲ爲ササルニ至リタル日ノ翌日

以上ノ給付ハ孰モ金錢ニ換算シテ還付セシムルモノナリ

四 傷病手當金、出產手當金、分娩費又ハ埋葬料若ハ埋葬費ニ付テハ給付ヲ爲シタル日ノ翌日即チ直拂ニ在リテハ小切手ヲ交付シタル日ノ翌日、隔地拂ニ在リテハ支拂ヲ爲シタル日ノ翌日(昭和三年十二月二十六日附理第二、九一九號ヲ以テ保險部長ヨリ愛知健康保險局長宛回答昭和四年二月十九日附理第九二號ヲ以テ保險部長ヨリ宮崎健康保險局長宛回答)

市町村ニ滞納處分ヲ請求シタル後保險者ニ於テ直接滞納者ヨリ請書又ハ誓約書ヲ徴セ  
ル場合ト時効ノ中斷

市町村ニ滞納處分ヲ請求シ市町村カ成規ノ手續ニ依リ納期ヲ指定シ督促狀ヲ發付シタル後ニ於テ保險者ヨリ直接滞納者ニ對シ請求ノ結果納入方法ヲ記入セル請書又ハ誓約書ヲ徴シタル時ハ民法第四百七十七條第三號ニ規定セル承認ヲ爲シタルモノトシテ時効中斷ノ效力ヲ有スルモノトス(昭和四年五月二十七日附理第一、七二六號ヲ以テ保險部長ヨリ福島縣健康保險局長宛回答)

市町村ニ對シ滞納處分請求後保險者ニ於テ直接滞納者ニ對シテ爲シタル請求ト時効ノ中斷(法四條、民法一四七條、一五三條)

市町村ニ對シ滞納處分請求後保險者ニ於テ直接滞納者ニ對シ請求シタル場合ハ民法第四百七十七條及百五十三條ノ規定ニ依リ時効中斷ノ效力ヲ生スヘキモノトス

(昭和四年五月二十七日附理第一、七二六號ヲ以テ保險部長ヨリ福島縣健康保險局長宛回答)

事業主力健康保險組合ヨリ保險料過納分ノ還付ヲ受ケ之ヲ被保險者ニ返還スヘキ場合ニ於ケル還付金ト返還請求權ノ時効(法七八條、令九八條、民法一六七條)

事業主力健康保險組合ヨリ保險料過納分ノ還付ヲ受ケ之ヲ被保險者ニ返還スヘキ場合ニ於ケル金額ハ廣義ニ於テハ保險料タルモ健康保險法第四條ニ所謂「保險料」ニ該當セス同條ニ所謂「保險料」トハ保險者ト保險料納付義務者トノ間ニ於ケルモノヲ指稱スルモノトス從テ右ノ場合ニ於ケル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ返還請求權ニ關シテハ同條ノ短期時効ノ適用ナシ又右ノ返還金ハ報酬トモ認メラ

レナルカ故ニ結局ニ般民事債權トシテ民法第百六十七條ノ規定ノ適用アルモノト被認(昭和五年七月十五日附保規第二二五號ヲ以テ保険部長ヨリ東京市電氣局長宛同答)

第六條

保險給付金受領方ノ委任狀ニ貼付スヘキ收入印紙

被保險者カ其ノ受クル健康保險ノ給付金ノ受領方ヲ他ノ者ニ委任シタル場合ニ於ケル委任狀ニハ法第六條ノ規定ノ適用アルヲ以テ收入印紙ヲ貼付スルコトヲ要セサルモノトス 昭和二年五月四日附收保第一、一七八號ヲ以テ保険部長ヨリ廣島健康保險局長宛同答)

保險給付ノ現金受領ヲ他ノ者ニ委任シタル場合ニ於ケル委任狀ニ貼付スヘキ收入印紙

政府ノ管掌スル保險ノ被保險者カ保險給付ノ現金ヲ歳出金支拂通知書ニ依リテ受中預クル場合ニ於テ之カ領收ヲ他ノ者ニ委任シタル場合ニ於テハ歳出金支拂通知書裏市面ノ委任狀ニ貼付スヘキ收入印紙ハ法第六條ノ規定ニ依リ貼付ヲ要セサルモノト

ス(昭和二年五月五日附保規第八三三號ヲ以テ保険部長ヨリ札幌健康保險局長宛同答)ニ規定ス

健康保險組合ノ會議表決委任狀ニ貼付スル收入印紙

健康保險組合ノ會議表決委任狀ハ法第六條ノ健康保險ニ關スル書類ニ該當スル

ヲ以テ收入印紙ノ貼付ヲ要セサルモノトス(昭和二年十二月七日附保規第三、九五六號ヲ以テ

保険部長ヨリ三好健康保險組合宛同答)

國庫負擔金受領方ノ委任狀ニ貼付スヘキ收入印紙

國庫負擔金受領ヲ委任シタル場合ニ於ケル委任狀ニ貼付スヘキ收入印紙ハ法第六條ノ規定ニ依リ貼付ヲ要セサルモノトス(昭和四年十二月十日附保規第五四七號ヲ以テ保險

部長ヨリ中山太陽堂工場健康保險組合宛同答)

第七條

戶籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ノ範圍(戶籍法六七條)ハ法第六十七條

戸籍法第七條ニ依リ戸籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ハ戸籍法第六十七條第二項ノ規定ニ依ル事項ニシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ事項ノミニ限ラス是等ノ者ト同一戸籍内ニ在ル他ノ者ノ事項ヲ含ムモノトス（大正十五年九月十三日附民事第七、一一四號ヲ以テ司法次官ヨリ社會局長官宛回答）

戸籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項（戸籍法六七條）

法第七條ノ規定ニ依リ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ハ戸籍法第六十七條第二項ノ規定ニ依ル事項ニ限ルモノナルヲ以テ無償ニテ戸籍ノ抄本又ハ謄本ノ請求ハ之ヲ爲シ得サルモノトス（昭和二年三月十一日附保理第一、〇七三號ヲ以テ保理部長ヨリ官廳健康保險局長宛回答）

戸籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ト出生及死産ニ關スル事項（戸籍法六七條）

法第七條ニ依リ戸籍ニ關シ無償ニテ證明ヲ求メ得ヘキ事項ハ戸籍法第六十七條第二項ノ規定ニ依ル事項（被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ事項ノミニ限ラス是等

ノ者ト同一ノ戸籍内ニ在ル他ノ者ノ事項ヲ含ム）ニ限ルモノナリ故ニ出生届其ノ他出生ニ關シ市區町村長ニ於テ受理シタル書類ニ記載シアル事項ニ付テハ證明ヲ求ムルコトヲ得ヘキモ死産ニ關スル事項ニ付テハ證明ヲ求ムルコトヲ得サルモノトス（昭和三年七月二十五日附保理第一、八九九號ヲ以テ保理部長ヨリ東京市長宛回答）

埋火葬認許證寫ノ下付ト法第七條ニ依ル證明

埋火葬認許證寫ノ下付ハ法第七條ニ依ル戸籍ニ關スル證明ニ該當セサルモノトス（昭和三年七月二十五日附保理第一、八九九號ヲ以テ保理部長ヨリ東京市長宛回答）

第八條

事業主ノ範圍（法一四條、一九條、二七條等）

健康保險ニ於テ謂フ事業主ニハ鑛山ノ斤先人ヲ含マサルモノトス（大正十五年八月二十三日附收保第一六號ヲ以テ保理部長ヨリ福岡鑛山監督局長宛回答）

健康保險法 第七條、第八條

第十一條ノ二

滞納處分ト假差押、假處分トノ關係

假差押又ハ假處分ニ係ル物件ヲ滞納處分ニ依リ公賣ニ附シタル場合ニ於テハ其ノ賣却代金ノ殘金ハ之ヲ滞納者ニ交付スヘキモノニシテ假差押又ハ假處分債權者ニ交付スヘキモノニ在ラス

滞納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲シタル後ニ於ケル差押ノ解除

滞納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲シタル後ニ於テ必要アル場合ニハ滞納處分ノ執行ニ支障無キ限リ其ノ一部ニ付差押ノ解除ヲ爲スコトヲ得

滞納ニ係ル保険料ノ強制徴收ト民事訴訟

滞納ニ係ル保険料ノ強制徴收ハ民事訴訟法ニ依ルコトヲ得サルモノトス（昭和二年十一月三十日附保理第三、五六六號ヲ以テ保険部長ヨリ岐阜健康保険署長宛回答）

市町村ニ於テ爲ス保險料ノ滞納處分方法

保險者ノ請求ニ基キ保險料ノ滞納ヲ市町村ニ於テ處分スル場合ニ於テハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ處分スベキモノナルヲ以テ之ガ方法ハ各市町村ノ定ムル所ニ依ルヘキモノトス（昭和二年六月二十日附保理第二、六二四號ヲ以テ保険部長ヨリ福島健康保険署長宛回答）

法第十一條第一項（改正法第十一條ノ二）ノ市町村交付金ノ基礎

法第十一條第一項（改正法第十一條ノ二）ノ規定ニ依リ市町村ニ交付スヘキ金額ハ處分請求金額ノ百分ノ四ニ非スシテ實際徴收セラレタル金額ノ百分ノ四トス（昭和三年四月十日附保發第八三號ヲ以テ保険部長ヨリ各健康保険署長及健康保険組合宛通牒）

保険料等ノ滞納處分請求ノ場合ニ於テ市町村長ノ督促狀發付後ニ納人カ市町村長ノ指定スル所ト異リタル所ニ納付シタル場合ト市町村交付金

保険料其ノ他健康保険法ノ規定ニ依ル徴收金ノ滞納處分ヲ市町村ニ請求シタル場



合ニ於テ市町村長カ督促状ヲ發シタル後ニ納人カ市町村長ノ指定スル所ニ納付ス  
 へキヲ誤リテ歳入徴收官タル健康保險署長ノ彙ニ發シタル納入告知書ニ指定スル  
 日本銀行、其ノ支店若ハ代理店ニ納付シ又ハ健康保險組合ノ彙ニ發シタル納入告  
 知書ニ指定スル所ニ納付スルコトアルモ之ハ市町村ニ於テ徴收シタルモノト看做  
 スヘキモノナルヲ以テ該納付額ノ百分ノ四ハ市町村ニ交付スヘキモノトス（昭和三  
 年四月十日附保發第八三號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒）

保險料滞納處分ノ請求ヲ受ケタル市町村長カ力カ處分ヲ他ノ市町村長ニ囑託シテ保險  
 料ヲ徴收シタル場合ニ於ケル交付金ノ歸屬市町村

保險料滞納處分ノ請求ヲ受ケタル市町村長カ該處分ヲ滞納者ノ財産ノ所在スル市  
 町村ニ囑託シ以テ保險料ヲ徴收セシ場合ト雖交付金ハ滞納處分ノ請求ヲ受ケタル  
 市町村ニ交付スヘキモノトス而シテ該交付金ヲ右兩方ノ市町村ニ分配スルコトハ  
 市四 當該市町村ノ任意トス（昭和四年三月十三日附保理第六五四號ヲ以テ保險部長ヨリ福島健康保險署

長宛回答）

（市）町村ニ準スヘキモノノ範圍

法第十一條第二項及第三項（改正法十一條ノ二第三項）ニ所謂（市）町村ニ準スヘキ  
 モノトハ左ノ範圍ノモノヲ謂フ義トス

- 北海道一級町村制ニ依ル町村
- 北海道二級町村制ニ依ル町村
- 島嶼町村制ニ依ル町村
- （市制及）町村制並前記ノ諸制ヲ施行セサル地ニ在リテハ是等ノ法令ノ規定ニ依  
 ル（市又ハ）町村ニ類スルモノ

（昭和三年一月二十日附發保第四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒）

法第十一條ノ三

健康保險法 第十一條ノ二、第十一條ノ三

保險料ノ滯納處分ノ場合ニ於ケル先取特權ノ順位 (國稅徵收法第四條ノ二)

保險料其ノ他健康保險法ノ規定ニ依ル徵收金ノ滯納處分ヲ爲シタル場合ニ於テハ該徵收金ノ先取特權ハ水利組合、農會、耕地整理組合等ノ徵收金ニ先ツモノトス (昭和三年一月二十日附發保第四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

徵收金及其ノ督促手数料、延滞金、滯納處分費ト第三者ノ擔保物權間ノ先取特權ノ順位 (國稅徵收法第三條、四條ノ二)

應府縣ニ於テ滯納處分ヲ執行シタルニ納付義務者ノ財産上ニ質權、抵當權ヲ有スル者其ノ質權又ハ抵當權ノ設定カ健康保險法ニ依ル徵收金ノ納期限ヨリ一箇年前ニ在ルコトヲ公正證書ヲ以テ證明シタルトキニハ先取特權ノ順位ハ左ノ通トス

- 一 督促手数料、延滞金及滯納處分費
- 二 納期限一年前設定ノ質權、抵當權アル債權(但シ該物件ノ價額ヲ限トス)
- 三 健康保險法ニ依ル徵收金

徵收金及其ノ督促手数料、延滞金、滯納處分費ト國稅、第三者ノ擔保物權間ノ先取特權ノ順位 (國稅徵收法三條、四條ノ二)

應府縣ニ於テ滯納處分ヲ執行シタルニ國稅(府縣、市町村又ハ町村ニ準スヘキモノノ徵收金)ニ付交付ノ要求アリ又納期限ヨリ一箇年前ニ質權又ハ抵當權ノ設定アルコトヲ公正證書ヲ以テ證明セル債權アリタル場合ニ於テハ先取特權ノ順位ハ左ノ通トス

- 一 健康保險法ニ依ル徵收金ノ督促手数料、延滞金及滯納處分費
- 二 國稅(府縣、市町村又ハ町村ニ準スヘキモノノ徵收金)ノ督促手数料、延滞金及滯納處分費
- 三 國稅(府縣、市町村又ハ町村ニ準スヘキモノノ徵收金)ノ納期限一年前設定ノ質權又ハ抵當權アル債權(但シ該物件ノ價額ヲ限トス)
- 四 國稅(府縣、市町村又ハ町村ニ準スヘキモノノ徵收金)

五 健康保險法ニ依ル徵收金

徵收金ノ督促手数料、延滞金及滞納處分費ノ先取特權ノ順位(國稅徵收法第四條ノ二)

應府縣ニ於テ健康保險法ニ依ル徵收金ニ付キ滞納處分ヲ執行シタル場合ニ於テハ右徵收金ノ督促手数料、延滞金及滞納處分費ハ國稅其ノ他凡テノ公課及債權ニ先チテ之ヲ徵收ス

第十三條

鑛業法ノ適用事業場ニ於ケル被保險者ノ範圍ト工場法適用工場ニ於ケル被保險者ノ範圍トノ異同

被保險者ノ範圍ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル事業場ニ於ケルモノモ工場法ノ適用ヲ受クル工場ニ於ケルモノモ同一ナルモノトス(昭和二年六月二十四日附保理第二、六四六號ヲ以テ保險部長ヨリ沖ノ山健康保險組合宛)

被保險者資格取得ノ動機不純ノ場合ト資格取得ノ效力

健康保險ノ被保險者ト爲ラハ豫テ罹レル疾病ニ付無料ニテ入院治療ヲ受クルノ途アリト聞キ工場法適用工場ニ使用セラレ被保險者ノ資格ヲ取得シタリト雖其ノ資格取得力眞ニ使用關係ノ成立ニ基キタルモノナリトセハ保險者ニ於テ此ノ資格取得ヲ取消スコトヲ得サルモノトス(昭和三年十月三十日附保理第二、七七七號ヲ以テ保險部長ヨリ茨城健康保險局長宛回答)

被保險者ノ資格得喪ト規約ノ規定 (注一五條、一七條、一八條、一九條、二〇條)

被保險者タル資格ノ得喪ハ一ニ健康保險ノ規定ニ依リ定マルモノニシテ此ノ點ニ關シ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得サルモノトス(大正十五年九月十四日附保發第六八號ヲ以テ保險部長ヨリ栃木縣下都賀郡小山町山十製絲株式會社小山製絲所小澤昭壽宛回答)

強制被保險者ヲササルモノ

法第十三條ニ於テ工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場又ハ鑛業法

ノ適用ヲ受クル事業場又ハ工場ニ使用セラルル者トハ斯ノ如キ工場又ハ事業場ノ本來ノ業務ニ使用セラルル者ノ義ニシテ社會通念上工場又ハ事業場ノ本來ノ業務ト別個ノモノト認めラルル業務ニノミ使用セラルル者ハ之ニ該當セサルモノトス從ツテ左ニ掲タル如キ者ハ一方ニ於テ工場又ハ事業場本來ノ業務ニ使用セラルル場合ノ外ハ法第十三條ノ規定ニ依ル被保險者タラサルモノトス

一、工場ノ構内ニ工場事務所ノ外ニ本部事務所アル場合ニ於テ此ノ本部ノ事務ノミニ従事スル者(昭和三年十月二日附保發第六五四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

二、工場ノ構内ニ在ル販賣所ニシテ工場ト別個ノ存立ヲ爲セル場合ニ於ケル該販賣所ニ勤務スル者(大正十五年十一月四日附發外ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣廳内福岡縣

工礦聯合會長宛回答)

三、保母、看護婦、寄宿舎ノ舎監及雜夫、物品販賣所ノ賣子及事務員、俱樂部

雜夫(昭和二年一月三十一日附保理第五三二號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜縣藤田茂三郎宛回答)

四、製糖工場ニ於ケル原料運搬用ノ軌道修繕ニ使用セラルル工夫(昭和二年三月十九日附發第二五五號ヲ以テ保險部長大阪出張所長ヨリ沖繩健康保險署長宛回答)

五、工場ト同一場所ニ在ル本店ニ屬スル職員、給仕、小使(昭和二年二月十九日附收保第一九〇號ヲ以テ保險部長ヨリ大同電氣製作所宛回答)

六、工場又ハ鑛山ノ附屬事業タル學校ノ職員(大正十五年八月二十三日附收保第一六號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡鑛山監督局長宛回答)

七、工場又ハ鑛山ノ附屬事業タル醫局ニ使用セラルル者(大正十五年八月二十三日附收保第一六號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡鑛山監督局長宛回答)

八、工場專屬病室ノ看護婦、雜役夫(昭和二年一月二十五日附保理第二四五號ヲ以テ保險部長ヨリ明治紡織株式會社宛回答)

九、専ラ寄宿舎ノミニ勤務スル炊事婦、電話交換手、門衛、夜警係、布團調製婦、掃除夫(昭和四年三月十四日附保理第六二四號ヲ以テ保險部長ヨリ福井健康保險署長宛回

等)

十、専ら工場ニ於ケル製品ヲ得意先ニ運搬スル業務ニ従事スル自動車運轉手

(昭和二年二月五日附保第七一三號ヲ以テ保険部長ヨリ江東工業會宛回答)

十一、電燈會社ノ電工ニシテ専ら外部ニ在リテ電柱及電線ノ架設ニ従事スル者

(昭和二年三月十九日附發第二五五號ヲ以テ保険部大阪出張所長ヨリ沖繩健康保險署長宛回答)

十二、製糖工場ノ附屬ノ蔗園ニ使用セラルル技手又ハ人夫(同上)

十三、製糖工場ニ於ケル原料買収係トシテ常ニ圃場又ハ農家ニ於テ原料ノ買収

ニ従事スル者(同上)

十四、工場業務ニ使用セラルルモ常ニ自宅ニ在リテ其ノ業務ニ従事スル者(織

物工場ニ於ケル下拵タル職部中ノ差入ト稱スルモノノ如シ)(昭和二年三月三十

日附保第一、四九八號ヲ以テ保険部長ヨリ福井健康保險署長宛回答)

製品及材料品ヲ各分工場ノ間ニ運搬スル船頭及船夫ト被保險者(法一五條)

製品及材料品ヲ各工場ノ間ニ運搬スル船ノ船頭及船夫ハ被保險者タルモノトス

(昭和二年二月五日附保第七一三號ヲ以テ保険部長ヨリ東京市本所區横網町一丁目二十番地江東工業會

宛回答)

工場ノ作業時間外ニ工場ノ構内ヲ巡視スル者ト被保險者

工場ノ作業時間外ニ工場ノ構内ヲ巡視スル者ハ強制被保險者タルモノトス(昭和四

年一月二十六日附保第二三九號ヲ以テ保険部長ヨリ新潟縣新潟市入船町四丁目株式會社新潟鐵工所新潟

工場長鈴木春雄宛回答)

製品及材料品ヲ各分工場ノ間ニ運搬スル自動車運轉手ト被保險者(法一五條)

製品及材料品ヲ各分工場ノ間ニ運搬スル自動車運轉手ハ被保險者タルモノトス

(昭和二年二月五日附保第七一三號ヲ以テ保険部長ヨリ東京府東京市本所區横網町一丁目二十番地江東

工業會宛回答)

健康保險組合ノ事務員ト被保險者(法一五條)

健康保険組合ノ事務員ハ被保険者タラサルモノトス但シ健康保険組合ノ事務員タルト共ニ一方健康保険組合ノ設立アル事業ノ工場又ハ事業場ニ使用セラルル者ハ被保険者タルモノトス (昭和二年一月二十五日附保規第二四五號ヲ以テ保険部ヨリ栃木縣足利郡御厨町福居明治紡織株式會社宛回答)

**外国人労働者ト被保険者(法一五條)**

地方長官ノ許可ヲ受ケスシテ工場又ハ事業場ニ使用セラルル外国人ハ健康保険ノ被保険者タラサルモノトス(大正十五年十一月二十五日附保規第二三六號ヲ以テ保険部長ヨリ東京健康保険署長宛回答)

**工場管理人ト被保険者(法一五條)**

工場管理人ハ工場ニ使用セラルル者ノ中ニ包含セラルルヲ以テ工場管理人中一年ノ報酬千二百圓ヲ超ニサル者ハ當然被保険者タルモノトス(昭和元年十二月二十八日附

保規第七五三號ヲ以テ保険部長ヨリ長野健康保険署長宛回答)

**合資會社ノ社員ト被保険者資格**

勞務ヲ金錢ニ見積リ之ヲ出資ノ目的トスル合資會社ノ社員カ該會社經營工場ニ職工トシテ工場本來ノ作業ニ從事シ別ニ報酬ヲ受ケサル場合(但シ毎決算期ニハ利益配當ヲ受ク)ニ於テハ其ノ代表社員ヲ除キ被保険者タルベキモノトス(昭和七年三月三日附保規第五二三號ヲ以テ保険部長ヨリ石川縣知事宛回答)

**斤先人ノ家族ト被保険者資格**

斤先人ノ家族ニシテ法律上ノ雇傭契約ナキ者ト雖モ事業場本來ノ作業ニ從事スルモノト認めラルル場合ニ於テハ鑛業權者ニ使用セラルルモノトシテ健康保険ノ被保險者タルモノトス(昭和五年十一月十一日附保規第五二〇號ヲ以テ保険部長ヨリ福島縣知事宛回

答)

職工カ其ノ妻子等ヲ常時工場ニ伴ヒ自己ノ手傳トシテ業務ニ從事セシムル場合ト被保險者ノ資格(法一五條)

職工カ其ノ妻又ハ子女ヲ常時工場ニ伴ヒ自己ノ手傳トシテ業務ニ從事セシムルトキハ其ノ妻又ハ子女ハ工場ニ使用セラルル者ト謂フヘク隨テ被保險者タルノ資格ヲ有スルモノトス(大正十五年十一月十九日附保發第二二一號ヲ以テ保險部長ヨリ千葉健康保險署長宛回答)

法第十三條ノ臨時使用者ノ範圍(法一五條)

法第十三條但書ノ「臨時ニ使用セラルル者」ノ中ニハ經常ノ事業ニ臨時使用セララルル者ノミニ限ラス臨時ノ事業ニ使用セラルル者ヲモ含ムモノトス

勞務供給請負人カ其ノ供給セラルル者ノ從事スル作業ニ自ラ從事スル場合ト保險料ノ

負擔義務(法七二條。令九條)

勞務供給請負人カ其ノ供給セラルル者ノ從事スル作業ニ自ラ從事スル場合ニ於テハ一面被保險者タルモノナルカ故ニ被保險者トシテ保險料ヲ負擔スヘキ義務アルモノトス(昭和二年八月十三日附保理第二、八六〇號ヲ以テ保險部長ヨリ東京鋼材健康保險組合宛回答)

(本件ハ勞務供給請負人カ三十日ヲ超エテ引續キ從事スル場合トシテノ回答ナリ)

職員ノ意義及範圍(法一五條)

法第十三條但書ノ「職員」トアルハ主トシテ精神的勞働ヲ以テ事業ノ管理事務ニ從事スル者ヲ謂フモノトス然レトモ實際問題トシテハ職員ト然ラサル者トノ範圍ヲ適確ニ定ムルコト甚困難ナルモノアリ故ニ個々ノ場合ニ於テ各種ノ資料ト四圍ノ事情トヲ參酌シテ決定スルノ外ナキモノトス(昭和二年一月二十九日附收保第五六〇號ヲ以テ保險部長ヨリ内務省土木局長宛回答)

職員ノ意義

日給傭員ト雖主トシテ精神的勞働ヲ以テ事業ノ管理事務ニ従事スル者ハ法第十三條但書ニ所謂「職員」ニ該當スルモノトス（昭和三年四月三十日附保理第一、一七二號ヲ以テ保險部長ヨリマツダ健康保險組合宛回答）

法第十三條但書ノ報酬ノ範圍（法二條、十五條、令一條）

一、法第十三條但書ノ「報酬千二百圓」ノ「報酬」トアルハ健康保險法施行令第一條第一號ノ賞與ヲ含マス且此ノ報酬ハ事業ニ使用セラルル者カ勞務ノ對價トシテ事業主ヨリ受クル賃金等ヲ謂フモノトス隨テ年金、恩給ノ如キハ此ノ報酬ニ包含セラレサルモノトス（大正十五年十二月二十三日附保發第七一六號ヲ以テ保險部監理課ヨリ千葉縣東葛飾郡市川町新田四千百三十四番地高田貫時宛回答）

二、法第十三條但書ノ「一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル職員」トアルハ健康保險ニ於テ謂フ報酬ノ一年ノ額カ千二百圓ヲ超ユル職員ヲ指スモノニシテ必スシモ本人ノ全收入ヲ指スモノニ非ス（大正十五年十一月十一日附發外ヲ以テ保險部監理課長ヨリ北海道室蘭市新

富町九十三號山崎武宛回答）

法第十三條但書ノ報酬千二百圓ヲ超ユル意義（法一五條）

法第十三條但書ノ「報酬千二百圓ヲ超ユル」トアルハ報酬千二百圓ヲ包含セザル義トス（大正十五年十月十一日附發外ヲ以テ保險部監理課長ヨリ北海道室蘭市新富町九十三號山崎武宛答）

事業主ト職工トノ間ニ職工供給請負者、事業請負者等ノ介在スル場合ト被保險者資格

（令九條）

工場ノ業務ニ従事スル者ニシテ其ノ操業カ性質上職工ノ業務タル以上ハ雇傭關係カ直接事業主ト職工トノ間ニ存スルト或ハ職工供給請負者、事業請負者等ノ介在スル場合トヲ問ハス其ノ事業主ノ使用スル職工トシテ健康保險ノ被保險者タルモノトス但シ臨時ニ使用セラルル者ニ關シテハ健康保險法施行令第九條ノ適用アル



ハ勿論トス(昭和六年三月二十八日附保規第四三號ヲ以テ保險部長ヨリ神戸製鋼所健康保險組合理事長宛回答)

### 第十四條

任意包括被保險者タリ得ル者ノ範圍(法一三條、一五條)

法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者タルコトヲ得ル者ハ法第十四條第一項各號ニ掲クル事業ノ事業場又ハ工場ニ使用セラルル労働者及一年ノ報酬千二百圓ヲ超エサル職員ニシテ法第十三條ノ規定ニ依ル被保險者ノ範圍ト同シキモノトス

### 法第十四條ノ附屬事業ノ意義

法第十四條第一項ノ「附屬スル事業」トハ工業的企業タル附屬事業ヲ謂フモノトス  
機械ニ依リテ爲ス砂利採取事業ト法第十四條第一項第一號ノ事業

機械ニ依リテ砂利ヲ採取スル事業ハ法第十四條第一項第一號ノ鑛物ノ採取ノ事業ニ該當スルモノトス (昭和三年三月十九日附保規第五一二號ヲ以テ保險部長ヨリ東京府北多摩郡立川町堤外日立砂利合資會社宛回答)

### 電氣ノ傳導事業ノ範圍

法第十四條第一項第三號ノ電氣ノ傳導事業ニハ電線ノ架設工事ヲ含ムモノトス  
法第十四條第一項第三號ノ事業ト工場法施行令第三條第四十二號ノ工場トノ關係(工場法一條。工場法施行令三條)

法第十四條第一項第三號ノ事業ニハ工場法施行令第三條第四十二號ノ事業ヲ含マサルモノトス而シテ工場法施行令第三條第四十二號ニ所謂「電氣業」トハ電氣事業法第一條ニ掲クル電氣事業ト必スシモ一致スルモノニ非スシテ一般ノ需要ニ應シ電氣ヲ供給スルモノ及一般ノ運送ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ニ電氣ヲ供給スルモ

ノ外工場及其ノ附属建築物ニ電氣ヲ供給スルモノ竝ニ特定ノ會社等ニ電氣ノ卸賣ヲ爲スモノヲモ包含スルモノトス但シ常時職工ヲ使用シ工場組織ヲ有スルモノニ限ルモノトス(昭和二年一月三十一日附保發第八三號ヲ以テ保險部長ヨリ宮城縣仙臺市長宛回答)

第十六條

法第十六條該當工場ニ隨時使用セラルル者ト任意包括被保險者(法一四條。一五條)

法第十六條ノ規定ニ依リ法第十四條ノ認可アリタルモノト看做サレタル工場ニ隨時使用セラルル者ハ當然法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者トス(昭和二年七月七日附發第一、五九七號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ福岡健康保險署長宛回答)

法第十六條該當工場ニ於テ被保險者ヲ一時全部解雇後更ニ使用シタル場合ト任意包括被保險者(法一四條。一五條)

法第十六條該當ノ工場ニシテ法第十九條第一項ノ認可ヲ受ケサル限リハ該工場ニ

使用セラルル被保險者全部ヲ一時解雇シ更ニ前被保險者其ノ他ノ者ヲ雇入ルルモ者是等雇入レラレタル者ハ依然法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者タルモノトス(昭和二年十一月十七日附保理第三、七五八號ヲ以テ保險部長ヨリ愛媛健康保險署長宛回答)

法第十六條該當工場廢業後新規開業ノ場合ニ使用セラルル者ト任意包括被保險者(法一五條)

法第十六條該當ノ工場ニシテ一旦廢業シタル後新ニ開業シタル場合ニ於テハ該工場ニ使用セラルル者ハ法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ニ非サルモノトス(昭和二年十一月十七日附保理第三、七五八號ヲ以テ保險部長ヨリ愛媛健康保險署長宛回答)

法第十六條該當工場カ休業シ被保險者ヲ使用セサルニ至リ其ノ後再ヒ事業ヲ開始シ工場法ノ適用ヲ受ケサル範圍ニ於テ職工ヲ使用シタル場合ト健康保險法ノ適用(法一三條。一四條。一五條。一八條)

法第十六條ノ規定ニ依リ法第十四條ノ認可アリタリト看做サレタル工場カ休業ニ

依リ事業ヲ閉鎖シ被保險者全部ヲ一時解雇シタル後數箇月ヲ經テ再ヒ事業ヲ開始シ工場法ノ適用ヲ受ケサル範圍ニ於テ職工ヲ雇入レタル場合ニ於テハ該工場ハ一旦事業ヲ廢シ新ニ事業ヲ開始シタルモノト認メ健康保險法ヲ適用スヘカラサルモノトス(昭和二年十月十三日附保理第三、五、一九號ヲ以テ保險部長ヨリ愛知健康保險署長宛回答)

### 第十七條

法第十七條ノ「其ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル日」ノ意義

法第十七條ノ「其ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル日」トアルハ事業主ト被保險者トノ間ニ法律上又ハ事實上ノ使用關係ノ發生シタル日ヲ謂フ義ト解スヘキモノトス(昭和三年七月三日附保發第四八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

製絲工場等ニ使用セラルル者ノ被保險者資格取得ノ日

製絲業ノ如ク職工募集員カ各地ニ出張シ出張先ニ於テ職工ノ募集ニ應シタル者ト

雇傭契約ノ交渉ヲ纏ムルカ如キ事情ノ事業ニ在リテハ應募ニ依リ雇傭契約ハ成立スト雖所謂入場ノ日迄ハ職工及事業主ノ双方ニ於テ該契約ニ依リ勞務ノ提供或ハ報酬支拂ノ要ナク即チ双方共債務履行ノ要ナキヲ以テ事實上ハ勿論法律上モ未タ使用關係發生セサルモノト認メラルモノトス故ニ右ノ如キ事情ノ下ニ雇傭セララルル者ハ所謂入場ノ日ヨリ被保險者ノ資格ヲ取得スルモノトス(昭和三年十一月十七日附保發第七五一號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

被保險者資格取得ノ初日ト民法ノ期間ニ關スル規定(法五條)

被保險者資格取得ニ付テハ法第十七條ノ規定ニ依リ初日ヲモ算入スヘキモノニシテ民法ノ期間ニ關スル規定ハ此ノ場合ニ適用ナキモノトス(昭和三年八月三十日附事發第一、七三九號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ岸和田紡績健康保險組合宛回答)

轉動ノ場合ト被保險者ノ資格(法一八條)

一事業主ノ工場又ハ事業場カ各地ニ在ル場合ニ於テ甲ノ工場又ハ事業場ニ使用セ

ラルル被保険者カ乙ノ工場又ハ事業場ニ轉勤シタルトキハ甲ノ工場又ハ事業場ニ於テ一旦被保険者ノ資格ハ喪失シ乙ノ工場又ハ事業場ニ於テ更ニ被保険者ノ資格ヲ取得スルモノトス（大正十五年十二月一日附保發第三〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長宛回答）

**法第十五條第二項ニ該當セサルニ至リタルカ爲ニ被保險者ノ資格ヲ取得スル場合ニ於ケル取得ノ日（法一五條、令九條）**

一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル職員カ千二百圓ヲ超エサルコトト爲リタル場合及施行令第九條第一號ニ該當スル者カ所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタル場合ニ在リテハ千二百圓ヲ超エサルニ至リタル日又ハ所定ノ期間ヲ超エタル日ニ必スシモ作業ニ從事スルコトヲ必要條件トセス現ニ業務ニ引續キ使用セラルル状態ニ在ラハ當日被保險者ノ資格ヲ取得スルモノトス（昭和二年六月十八日附保發第一、五二二號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣遠賀郡香月村岩崎鑛業所宛回答）

**被保險者ノ資格ノ存在ト保險給付トノ關係（法一條、一八條）**

被保險者ノ資格ハ保險給付ヲ受クルト否トニ拘ラス業務ニ使用セラルルモノトセハ依然トシテ存在スルモノトス（昭和三年五月一日附保發第一、一四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ森永製菓廠口工場健康保險組合宛回答）

**工場法施行規則第八條又ハ鑛夫勞役扶助規則第十四條ノ規定ニ依ル就業禁止ノ場合ト**

**被保險者ノ資格（法一三條、工場法施行規則八條、鑛夫勞役扶助規則一四條）**

事業主トノ間ニ法律上又ハ事實上ノ使用關係發生スヘキ場合ト雖モ工場法施行規則第八條又ハ鑛夫勞役扶助規則第十四條ノ規定ニ依ル就業禁止ニ該當スル者ニ付テハ該當セサルニ至ルマテ被保險者ノ資格ヲ取得セサルモノト觀ルヲ妥當ト被認但シ事業主並被保險者ノ双方ニ於テ右禁止該當ノ事實アルニ拘ラス善意無過失ニテ就業シ被保險者資格取得届ヲ提出シタル後相當期間經過シタル上其ノ事實アルコト分明トナリタル場合ノ如キハ當初ヨリ被保險者資格アルモノトシテ取扱相成

可然、又現ニ被保險者タル者ニシテ右就業禁止ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ故ヲ以テ資格ヲ喪失セシムヘキモノニ非サルハ勿論トス（昭和五年六月四日附發保第三〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各地方長官及各健康保險組合宛通牒）

**被保險者資格取得届出洩者ノ被保險者資格取得日**

數箇月又ハ一箇年以上ヲ經過セル被保險者資格取得届出洩者ヲ發見シタル場合ニ於テモ總テ事實ニ基キ被保險者資格ヲ取得セシムヘキモノトス（昭和五年十一月六日附保規第五二二號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣知事宛回答）

**休業工業ニ雇傭セラルル者ノ被保險者ノ資格（法一三條、一五條）**

被保險者ヲ使用スル工場財界不況ノ爲約半箇年間休業ヲ決行シタルモ被保險者ノ雇傭契約ヲ解除セス一面生活ノ補償トシテ最高九割最低五割ノ休業手當ヲ支給スル場合ノ如キハ事業主トノ使用關係消滅セス其ノ休業手當ハ報酬ナルヲ以テ依然トシテ被保險者タルモノトス（昭和五年十二月十一日附保規第五五三號ヲ以テ保險部長ヨリ富山

縣知事宛回答）

**第十八條**

**法第十八條「其ノ業務ニ使用セラレサルニ至リタル日」ノ意義**

法第十八條ノ「其ノ業務ニ使用セラレサルニ至リタル日」トアルハ事業主ト被保險者トノ間ニ法律上モ事實上モ使用關係ノ存在セサルニ至リタル日ヲ謂フ義ト解スヘキモノトス（昭和三年七月三日附發第四八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險局長及各健康保險組合宛回答）

**製絲工場等ニ使用セラルル者ノ被保險者資格喪失ノ日**

製絲業等ニ於テハ冬季相當長期間作業ヲ休止スルモ翌年ニ於ケル職工募集ノ便宜上雇傭契約ヲ相當期間繼續スル向アリ斯クノ如キ場合ニ於テハ法律上モ事實上モ使用關係ナキモノトシテ退場ノ日ノ翌日ヨリ被保險者ノ資格ヲ喪失スルモノトス（昭和三年十一月十七日附發第七五一號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險局長及各健康保險組合宛通牒）

同一ノ被保險者カ甲工場ニ使用セラレサルニ至リタル日ニ乙工場ニ使用セラルルニ至リタル場合ニ於ケル被保險者ノ資格

同一ノ被保險者カ甲工場ニ使用セラレサルニ至リタル日ニ乙工場ニ使用セラルルニ至リタル場合ニ於テハ甲工場ニ於ケル被保險者ノ資格ハ其ノ工場ニ使用セラレサルニ至リタル日ヲ以テ喪失スヘキモノトス（昭和二年一月二十二日附保發第三〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答）

被保險者月収百圓ヲ超ユルニ至リタル場合ニ於ケル被保險者資格喪失時期（法一三條）

被保險者カ昇給ノ結果一箇月百圓ヲ超ユル俸給ノ支給ヲ受クルニ至リタルカ如キ場合ニ於テハ其ノ昇給ノ日ノ翌日ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失スルモノトス（昭和二年十月五日附保理第三、五〇六號ヲ以テ保險部長ヨリ内外訪績健康保險組合宛回答）（法第十八條但書ノ場合ハ當日ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失スルコト勿論ナリ）

工場換業務ニ従事スル日數尠キニ至リタル者ノ被保險者ノ資格

被保險者カ工場ノ業務ニ従事スル日數尠キニ至リタル場合ト雖依然トシテ工場ニ使用セラルル者ナルトキハ其ノ者ノ被保險者ノ資格ハ存續スルモノトス（昭和三年十二月七日附保理第三、〇二七號ヲ以テ保險部長ヨリ東京府葛飾郡大島町七丁目九百十五番地ヲサ島機務株式會社東京工場長山崎隆一宛回答）

勞務供給契約ニ基キテ被保險者ト爲リタル者カ短期間供給セラレサルコトト爲リタル場合ト被保險者ノ資格（令九條）

勞務供給契約ニ基キ使用セラルル者カ施行令第九條但書ニ依リ被保險者ト爲リタル後該契約ノ請負人ニ於テ其ノ者ヲ供給セサルコトト爲リタル場合ハ其ノ供給セサル期間短キモノト雖右ノ供給セラレサルコトト爲リタル者ハ被保險者ノ資格ヲ喪失スルモノトス（昭和二年八月十三日附保理第二、八六〇號ヲ以テ保險部長ヨリ東京鋼材健康保險組合宛回答）

休職ト被保險者ノ資格（法一三條、一五條、一七條）

休職ハ使用關係ヲ消滅セシムルモノニ非スシテ單ニ實務ニ服セシメサルニ過キス  
 即チ事業主ニ仍雇傭セラルルモノナルヲ以テ依然トシテ被保險者タルモノナルモ  
 休職中給料ヲ全然支給セラレサル場合ニシテ名義ハ休職ト雖モ實質ハ使用關係ノ  
 消滅ト見ルヲ相當トスル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ喪失セシムル方適當ト被  
 認又從來被保險者タラサリシ職員カ休職トナリ、俸給ヲ減額セラレシ爲ニ一年ノ  
 報酬千二百圓以下ト爲リタルカ如キ場合之ヲ被保險者資格ヲ取得スルモノトシテ  
 取扱フハ健康保險法第十七條ノ趣旨ニ非ルヲ以テ斯ル場合ハ被保險者ノ資格ヲ取  
 得セサルモノトシテ取扱フヘキモノト被認（昭和六年二月四日附保發第五九號ヲ以テ各地方  
 長官及各健康保險組合理事長宛通牒）

同一ノ被保險者カ甲工場ニ於ケル雇傭契約存續中乙工場ニ使用セラルルニ至リタル場  
 合ニ於ケル被保險者ノ資格

健康保險組保管掌甲工場ニ使用セラルル被保險者家事上ノ故ヲ以テ歸宅シ其ノ雇

傭契約存續中タル七月二十五日政府管掌ノ乙工場ニ使用セラルルニ至リタルニ因  
 リ乙工場ニ於ケル被保險者資格ヲ取得シ八月三十一日甲工場ニ解雇申出テタル場  
 合ノ如キハ健康保險組合ニ於テハ甲工場ニ於ケル被保險者資格ハ乙工場ニ使用セ  
 ラルルニ至リタル日ニ於テ喪失セルモノトシテ處理スルヲ實際上妥當ト認メラル  
 （昭和五 十一月四日附保規第五一四號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜縣知事宛回答）

## 第二十條

任意繼續被保險者タルコトノ申請ノ效果

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タルコトノ申請ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ資  
 格ハ中斷セサルモノトス

任意繼續被保險者タラムトスルコトヲ法定期間内ニ申請シタル者ニ對スル資格ノ決定  
 （令第一〇條）

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者カ法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラムトスル

申請ヲ法定期間内ニ爲シタルトキハ其ノ者ハ即チ被保險者ノ資格ヲ繼續スルモノ  
ニシテ保險者ニ於テ其ノ者ヲ被保險者ノ資格ナキモノトシテ取扱フコトヲ得サル  
モノトス(昭和三年七月十九日附保理第一、三五三號ヲ以テ保險部長ヨリ淺野造船所健康保險組合宛回  
答)

被保險者カ事業主ト爲リ又ハ一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユルニ至リタル場合ト任意繼續  
被保險者タリ得ル資格(法一三條。一五條)

被保險者カ事業主ト爲リ又ハ一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユルニ至リタル場合ト雖法  
第二十條ノ規定ニ依リ被保險者タリ得ルモノトス(昭和二年五月五日附發第九八一號ヲ以  
テ保險部大阪出張所長ヨリ山口健康保險署長宛回答)

法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續給付ヲ受クル者ト任意繼續被保險者タラムトスル申請  
(法五五條。令一〇條)

被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日ニ法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ給付ヲ受ク

ル者ト雖法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タラムトスル申請ヲ爲スコトヲ得ルモ  
ノトス(昭和三年三月十六日附保理第五一九號ヲ以テ保險部ヨリ福岡縣小倉市砂津東京製鋼株式會社小  
倉工場宛回答)

任意繼續被保險者ト爲ルモ實益ナキ者カ任意繼續被保險者タラムトスル申請ヲ爲シタ  
ル場合ト之カ資格ノ決定(法二一條。四七條。七四條)

任意繼續被保險者ト爲ルモ實益ナキ場合ト雖本人カ法第二十條ノ規定ニ依ル被保  
險者タラムトスル申請ヲ適法ノ手續ヲ以テ爲シタル場合ニ於テハ保險者ハ此ノ者  
ヲ當然法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲スヘキモノトス(昭和三年八月十七日附  
保理第二、〇五九號ヲ以テ保險部長ヨリ古河好問炭礦健康保險組合宛回答)

被保險者資格喪失日ノ豫期セラルル場合ト任意繼續被保險者タラムトスル申請(令一〇  
條)

被保險者ノ資格喪失ノ日カ豫期セラルル場合ト雖法第二十條ノ規定ニ依ル被保險



者ヲラムトスル申請ハ現ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス（昭和三年三月十六日附保理第五一九號ヲ以テ保險部ヨリ福岡縣小倉市砂津東京製鋼株式會社小倉工場宛回答）

任意繼續被保險者タル期間ノ起算日（法一八條）

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者トシテ繼續シテ被保險者タル期間ハ法第十三條又ハ第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格喪失ノ當日ヨリ起算スヘキモノトス（昭和二年二月一日附保理第三三〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜健康保險署長宛回答）

任意繼續被保險者タル迄ノ間ニ於テ罹リタル疾病又ハ負傷ト保險給付（法一條）

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ハ法第十三條ノ規定ニ依ル被保險者又ハ法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日ニ遡及スルヲ以テ法第二十條ノ規定ニ依リ被保險者タルコトノ申請ヲ爲ス迄ノ間ニ於テ罹リタル疾病又ハ負傷ニ付テモ給付ヲ爲スヘキモノトス（昭和二

年五月二十八日附保理第二、三一三號ヲ以テ保險部長ヨリ神戸製鋼所健康保險組合宛回答）

任意繼續被保險者ノ資格更新（法二一條）

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ被保險者ト爲リタル日ヨリ百八十日經過後ハ更ニ繼續シテ法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タルコトヲ得サルモノトス（昭和三年八月十七日附保理第二、〇五九號ヲ以テ保險部長ヨリ古河好間炭礦健康保險組合宛回答）

第二十一條

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ保險料ノ納付期限ヲ特ニ指定セル場合ト資格喪失ノ原因タル保險料滞納（法二〇條。令一〇〇條。則一六條）

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ保險料ニシテ徵收手續遅延等ノ爲施行令第一百條第一項ノ納付期限以後ノ納付期限ヲ指定シタル場合ニ於テハ右指定ノ納期限後十日ヲ經過シタル場合ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失スヘキモノトス（昭和二年四月二

十七日附保理第一、八四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岩手健康保險署長宛回答)

五四

任意繼續被保險者カ保險料ノ滯納ニ因リテ被保險者ノ資格ヲ喪失スヘキ日(則一六條)

法第二十條ノ規定ニ係ル被保險者カ保險料ノ滯納ニ因リテ被保險者ノ資格ヲ喪失

スヘキ日ハ健康保險法施行規則第十六條ノ期間最終日ノ翌日トス (昭和三年三月二

十六日附事發第八九〇號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ吉見紡織健康保險組合榊井支部宛回答)

## 第二十六條

健康保險組合ノ法人トシテノ性質

健康保險組合ハ公法人トス

健康保險組合ト公署

健康保險組合ハ公法人ナルモ公署ニ非ス公署トハ自治行政廳ノ事務所ヲ謂フ義ト

認ム即チ市役所、町村役場等ノ如シ (昭和三年七月四日附收保第六二五號ヲ以テ保險部長

リ小津武林健康保險組合宛回答)

健康保險組合ト所得稅トノ關係 (所得稅法一七條。所得稅法施行規則一二條)

健康保險組合ニ對シテハ所得稅法第十七條及所得稅法施行規則第十二條ノ規定ニ

依リ所得稅ヲ課セサルモノトス(大正十四年十二月二十三日附藏稅第二、八三二號ヲ以テ大藏次

官ヨリ社會局長官宛回答)

健康保險組合力支拂ヲ受クル利子ニ對スル資本利子稅 (資本利子稅法二條等)

健康保險組合ニ對シテハ所得稅法第十七條及所得稅法施行規則第十二條ノ規定ニ

依リ所得稅ヲ課セサルモノナルヲ以テ健康保險組合力支拂ヲ受クル利子ニ對シテ

ハ資本利子稅ヲ課セラレサルモノトス (昭和二年三月十日附保發第二四一號ヲ以テ保險部長

ヨリ各健康保險組合宛通牒)

健康保險組合ト登録稅 (登録稅法一九條)

健康保險組合力直接其ノ使用ノ目的ヲ以テ取得シタル不動産ニ關スル登記ハ登録

健康保險法 第二十六條

五五

税法第十九條第三號ニ該當セサルモノトス（昭和六年十二月二十八日附蔵税第二九六七號ヲ以テ大蔵次官ヨリ社會局長官宛回答）

健康保險組合ト地方税

健康保險組合ノ所有ニ係リ直接其ノ用ニ供セラルル家屋及物件ニ對シテハ地方税ハ之ヲ賦課セラレサルモ土地及土地、家屋及物件ノ取得行爲ニ對シテハ之カ課税ヲ禁止シタルモノト解シ難ク被存（昭和七年十二月二十八日附地局第八五號ヲ以テ内務省地方局長ヨリ保險部長宛回答）

健康保險組合ノ經費ノ専業主繰替支出

健康保險組合ノ經費ヲ健康保險組合ノ設立アル事業ノ専業主ニ於テ繰替支出スルハ違法タルモノトス（昭和二年一月八日附保理第七〇六號ヲ以テ保險部ヨリ愛知縣名古屋市西區則武町日本陶器株式會社宛回答）

第二十八條

法第二十八條ノ一事業ノ意義

事業主甲カA、B、Cノ各地ニ工場ヲ有シ同種ノ事業ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ三工場ノ作業ヲ合シテ一事業ト謂フモノトス又事業主甲カA地ニ製菓業ヲ爲シB地ニ印刷業ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ製菓業ト印刷業トヲ合シテ一事業ト謂フコトヲ得サルモノトス（大正十五年十月五日附理第三九號ヲ以テ保險部ヨリ某工場宛回答）

工場ノ所在地カ府縣市町村ヲ異ニスル場合ト健康保險組合ノ設立

工場ノ所在地カ府縣市町村ヲ異ニスルモ是等各工場ヲ通シテ一組合ヲ設立スルハ法律上妨ケナキモノトス但シ設立ノ認可アルヤ否ヤハ事實ニ依リテ決セラルヘキコト勿論タリ（大正十五年八月十六日附蔵外ヲ以テ保險部監理課ヨリ某會社宛回答）

**事業主ヲ異ニスル異種ノ事業ト健康保険組合ノ設立**

事業主ヲ異ニスル絹織物業ト製絲業ノ二事業ヲ以テ一ノ健康保険組合ヲ設立スルハ法律上妨ケナキモノトス但シ設立ノ認可アルヤ否ヤハ事實ニ依リテ決セラルヘキコト勿論タリ (大正十五年十月一日附號外ヲ以テ保険部ヨリ某商業組合長宛回答)

**健康保険組合ノ設立準備ニ要シタル費用ノ負擔者 (法二九條。三一條。三二條)**

健康保険組合ノ設立ハ事業主ノ爲スヘキ職務ナルヲ以テ設立前ニ其ノ準備ノ爲ニ要シタル費用ハ事業主ノ負擔ニ屬スルモノトス (大正十五年十月二十七日附保理第四六號ヲ以テ保険部ヨリ宮城縣名取郡長町旭紡績株式會社仙臺工場宛回答)

**健康保険組合設立ノ認可申請者ノ名義 (法三二條)**

健康保険組合設立ノ認可申請者ハ工場管理人等ノ名義ヲ以テ爲スハ不可然儀ニシテ事業主カ會社ナル場合ニ於テハ其ノ會社ノ代表者ノ名義ヲ以テ爲スモノトス

(大正十五年十月七日附保理第七二號ヲ以テ保険部長ヨリ某工場宛回答)

**第三十一條**

**健康保険組合ノ強制設立ノ意義 (法三二條)**

健康保険組合ノ所謂強制設立トハ内務大臣ノ命令ニ基キテ健康保険組合ヲ設立スルコトヲ謂フモノトス (大正十五年十二月十一日附發保第五四三號ヲ以テ保険部ヨリ岐阜大垣市外木戸二百番地中央毛糸紡績株式會社大垣工場杉谷四郎宛回答)

**第三十四條**

**健康保険組合ノ成立時期 (令五六條)**

健康保険組合ハ設立認可ノ指令書ノ日附ノ日ニ於テ成立スルモノトス合併及分割ノ場合亦同シ但シ成立時期ヲ特定シテ認可ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ特定時期ニ於テ成立スルコト勿論タリ

### 健康保険組合ノ設立登記

健康保険組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スノ必要ナキモノトス（大正十五年十一月三日附保發第七二號ヲ以テ保險部長ヨリ富山縣西礪波郡戸出町戸出物産株式會社宛回答）

六〇

### 第三十六條

行政區劃變更等ト規約ノ變更（法三三條規約例第三條第四條）

市町村ノ廢置分合、境界變更、大字名改稱、地番變更其ノ他行政區劃ノ變更アリタルカ爲健康保険組合ノ規約ニ規定スル組合事務所ノ所在地又ハ事業ノ所在地若ハ健康保險法第三十三條ノ規定ニ依リ内務大臣ニ於テ一事業ト看做シタル作業ノ所在地ニ變更アリタル場合ニ於テハ規約中右ノ事項ハ當然變更セラレタルモノトス（昭和三年一月二十六日附發保第五號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒）

### 第四十三條

#### 先天性子宮高度前屈ト保險事故タル疾病

先天性子宮高度前屈カ月經障害ト爲リ局部ノ劇痛ヲ感シ其ノ都度モルヒニ注射ヲ施シ鎮痛シ來レルモ今後仍該注射ヲ施スニ於テハ中毒症ヲ起ス憂アルカ故ニ今ノ中ニ手術ヲ施シテ子宮ヲ正位ニ復セシメ月經困難ヲ根治スルノ必要アルカ如キモノハ右ノ先天性子宮高度前屈ヲ保險事故タル疾病トシテ療養ノ給付ヲ爲スヘキモノトス（昭和二年十二月十三日附保理第三八〇五號ヲ以テ保險部長ヨリ足尾銅山健康保險組合宛回答）

#### 齒石除去ト療養ノ給付

健康保險ニ於テハ齒石カ原因ヲ爲シ口腔疾病ヲ起シタル場合又ハ他ノ疾病治療ノ爲齒石除去ヲ必要トスル場合ニ限り療養ノ給付トシテ齒石ヲ除去スルモノトス（昭和三年一月二十四日附法理第一三九號ヲ以テ保險部長ヨリ三重健康保險署長宛回答）

#### 神經衰弱ト保險事故タル疾病

神經衰弱ハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス（昭和三年六月十一日附事發第一、

二二四號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ那是健康保險組合宛回答)

**蓄膿症ト保險事故タル疾病**

蓄膿症ハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス(昭和二年三月二十二日附保理第一、二〇九號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合等宛通牒但シ東陽健康保險組合ニ對シテハ保險部大阪出張所ヨリ回答)

**龜頭扁平贅肉ト保險事故タル疾病**

龜頭扁平贅肉ハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス(昭和四年九月二十日附保規第六七號ヲ以テ保險部長ヨリ沖繩縣知事宛回答)

**角化症ト保險事故タル疾病**

汗孔角化症、角性痤瘡、毛孔性角化症等總テノ角化症ハ醫師ニ於テ診斷ノ結果疾病ト認ムル程度ノモノトセハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス(昭和五年六月十三日附保規第三三三號ヲ以テ保險部長ヨリ徳島縣知事宛回答)

**汗疹ト保險事故タル疾病**

汗疹ハ普通ノ場合ニ於テハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサルモ醫師ニ於テ特ニ疾病ト認ムル程度ノモノニ付テハ之ヲ疾病トシテ取扱フヘキモノトス(昭和五年六月十六日附保規第三四五號ヲ以テ保險部長ヨリ岡山縣知事宛回答)

**濕疹ト保險事故タル疾病**

濕疹ハ醫師ニ於テ診斷ノ結果特ニ疾病ナリト認ムル程度ノモノトセハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス(昭和五年十一月十五日附保規第五二七號ヲ以テ保險部長ヨリ大谷炭礦健康保險組合理事長宛回答)

**脂漏性禿髮症ト保險事故タル疾病**

脂漏性禿髮症ハ醫師ニ於テ疾病ト認ムル程度ノモノトセハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス(昭和五年十二月十一日附保規第五四號ヲ以テ保險部長ヨリ京都府知事宛回答)

肩關節脱臼ト療養ノ給付

六四

肩關節脱臼ハ負傷ナルヲ以テ之カ療養ハ健康保險ニ於テ給付スヘキモノトス（昭和二年六月二十五日附保理第二六八號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答）

身體ニ違和ヲ感セサル保徵毒者ニ對スル療養ノ給付

身體ニ違和ヲ感セス就業中ノ者ナルモ保徵毒者ニシテ再三流産ヲ爲シタルコトアリ斯カル者ニ對シテハ醫師ニ於テ診療ノ結果現ニ徵毒患者ト證明セラルヘキモノトセハ治療上必要ナル療養ノ給付ヲ爲スヘキモノトス（昭和四年二月十八日附保理第四四八號ヲ以テ保險部長ヨリ愛媛健康保險署長宛回答）

義齒又ハ釘ノ類ヲ嚙下シタル爲違和ヲ感スル場合ト保險給付

義齒又ハ釘ノ類ヲ嚙下シタル爲違和ヲ感スル場合ニハ保險給付ヲ爲スヘキモノトス（昭和三年八月二十九日附保理第二〇七〇號ヲ以テ保險部長ヨリ日本製鋼所室蘭健康保險組合宛回答）

被保險者カ診療ヲ申出テサルモ保險醫ニ於テ必要ト認メテ爲シタル齒牙殘根ノ拔去ト保險給付

被保險者ニ於テ何等診療ヲ申出テサルモ保險醫ニ於テ傷病ノ治療上必要ト認メテ齒牙ノ殘根ヲ拔去スルハ保險給付ノ範圍タルモノトス（昭和三年九月二十二日附保理第二、三九三號ヲ以テ保險部長ヨリ三重健康保險署長宛回答）

保險事故タル疾病ト認ムヘキ腋臭ノ程度

腋臭ノ保險事故タル疾病ト認ムヘキ程度ハ各個々ノ場合ニ付醫師ノ認定ヲ俟ツノ外ナシト認メラルルモ惡臭甚シク他人ノ就業ニ支障ヲ生スル事實明カニシテ醫療ヲ加フヘキ客觀的必要アルカ如キ場合ハ保險給付ヲ爲スヘキモノトス（昭和五年九月五日附保理第四四五號ヲ以テ保險部長ヨリ和歌山縣知事宛回答）

人工流産術ト保險事故タル疾病

妊娠四箇月未滿ノ被保險者突然出血アリ休養中ノ處其ノ出血止マラサルニ付人工

流産(挽出)ノ手術ヲ行ヒタル場合ノ如キハ保險事故タル疾病トシテ取扱フヘキモ  
入工ノトス(昭和五年十月二十九日附保規第五〇九號ヲ以テ保險部長ヨリ伊丹製鐵所健康保險組合理事長宛  
回答)

流産ト療養ノ給付

妊娠四箇月未滿ノ流産又ハ妊娠四箇月以上ノ早産ノ場合ニ於テ出血多量ノ爲若ハ  
妊娠中出血多量ニシテ醫師ニ於テ疾病ト認ムル程度ノモノトセハ療養ノ給付ノ範  
圍ニ屬スルモノトス(昭和四年十月二十五日附保規第一〇六號ヲ以テ保險部長ヨリ日本醫師會健康保  
險部長宛回答)

血壓亢進ニ基因スル頭痛眩暈及心季亢進等ト保險事故タル疾病ノ範圍

血壓亢進ニ基因スル頭痛眩暈及心季亢進等ノ徵候ヲ有スルモノハ醫師診斷ノ結果  
疾病ト認ムル程度ノモノトセハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス(昭和六  
年四月六日附保規第六三號ヲ以テ保險部長ヨリ逓信大臣官房保健課長宛回答)

齒科診療ノ範圍

被保險者業務上ノ事由ニ因リ前齒ニ負傷シ直ニ保險醫ニ就キ治療ヲ受ケタルモ其  
ノ後ニ至リ固定裝置ヲ爲スニ非サレハ維持困難トナリタル場合ニ於テハ保險給付  
トシテ支給スヘキモノトス(昭和五年五月十七日附保規第二九五號ヲ以テ保險部長ヨリ辻紡績健  
康保險組合宛回答)

精神病院等ニ監禁收容セラレタル場合ト療養ノ給付 (法六二條、令七四條)

監禁ヲ要スル程度ノ精神病患者タル被保險者精神病院又ハ自宅ニ於テ監禁收容セ  
ラレタル場合ニ於テハ療養ノ趣旨ニ出ヅル範圍ニ於テ健康保險ノ療養ノ給付ノ範  
圍ニ屬スルモノトス尤モ法第六十二條第二項該當者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サ  
サルハ勿論トス(昭和五年十二月六日附保規第四六八號ヲ以テ保險部長ヨリ岸和田紡績健康保險組合  
理事長宛回答)

健康保險組合ノ組合員タル被保險者カ他ノ事業ノ業務ニ従事シ其ノ業務ニ基因シテ疾



病二罹リ又ハ負傷シタル場合ノ保險給付

健康保險組合ノ組合員タル被保險者カ其ノ組合ノ設立アル事業ノ工場ヲ缺勤シ他ノ事業主ノ業務ニ從事シ其ノ業務ニ基因シテ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ト雖其ノ組合ニ於テ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲スヘキモノトス尙此ノ場合ニ於テハ其ノ組合ニ於テ業務上ノ事由ニ因ル疾病又ハ負傷ト認ムルコトヲ得サルモノトス。(大正十五年十一月三日附保理第七二號ヲ以テ保險部長ヨリ富山縣西礪波郡戸出町戸出物産株式會社宛回答)

被保險者ノ資格取得前ニ罹リ又ハ受ケタル傷病ト療養ノ給付

被保險者ノ資格取得前ニ罹リタル疾病又ハ受ケタル負傷ニ付テモ療養ノ給付ヲ爲スヘキモノトス(昭和三年三月十四日附保理第五五六號ヲ以テ保險部長ヨリ電化青海工場健康保險組合宛回答)

療養ノ給付ト分娩 (法五〇條)

療養ノ給付ハ疾病又ハ負傷ニ關シテノミ之ヲ爲スモノニシテ分娩ニ關シテハ之ヲ爲ササルモノトス尤モ分娩ノ場合ニ於テ疾病又ハ負傷ノ事故アルモノハ格別トス 妊娠四箇月未滿ノ分娩ニ付亦同シ (昭和二年二月二十一日附保理第五九七號ヲ以テ保險部長ヨリ秋田縣仙北郡大曲町健康保險醫寺邑丹治宛回答)

分娩ノ場合ニ於ケル人工的處置ト療養ノ給付 (法五〇條)

分娩ノ場合ニ於ケル人工的處置ハ疾病又ハ負傷ノ療養ニ非サルヲ以テ療養ノ給付ヲ爲スヘキモノニ非サルモノトス (昭和二年二月一日附保理第五四八號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答)

妊娠中疾病ノ治療上鉗子分娩等ノ手術ニ依リ分娩ヲ助ケタル場合ニ於ケル療養ノ給付ト助産ノ手當等トノ關係 (法五一條、令八一條)

被保險者ノ妊娠中ニ於ケル疾病ノ治療上必要ノ爲醫師ニ於テ鉗子分娩其ノ他ノ挽  
 出術ニ依リテ分娩ヲ助ケタル場合ニ於テハ右ノ手術ハ療養ノ給付トシテ取扱フヘ  
 キモノニシテ且同時ニ助産ノ手當ヲ爲シタルモノナルヲ以テ分娩費ハ半額ヲ支給  
 スヘキモノトス（昭和二年六月二十二日附保理第二、四八八號ヲ以テ保險部長ヨリ岡山健康保險署長  
 宛回答）

**梅毒血清反應陽性ト保險事故タル疾病**

梅毒血清反應陽性ナルモ何等疾病トシテノ徵候ヲ認メサル場合ニハ健康保險法ニ  
 於テハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサルモノトス（昭和六年五月六日附保規第四〇號ヲ  
 以テ保險部長ヨリ東京電燈健康保險組合理事長宛回答）

**近眼鏡ノ選定ト健康保險ノ療養ノ範圍（令四七條）**

近眼鏡ヲ選定スルノ目的ヲ以テ醫師ニ就キ診察ヲ受クルカ如キハ健康保險ニ於テ

爲ス療養ノ範圍ニ屬セサルモノトス（昭和二年三月十八日附保理第一、二四八號ヲ以テ保險部  
 長ヨリ日本硝子健康保險組合宛回答）

**健康保險組合ノ所有ニ係ル醫療機械ノ貸與**

健康保險組合カ醫療機械ヲ購入シ之ヲ其ノ組合ノ診療機關タル事業主經營ノ病院  
 ニ對シ被保險者ノ診療設備トシテ貸與スルコトハ差支ナキモノトス（昭和三年六月十  
 一日附事發第一、二二四號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ那是健康保險組合宛回答）

**保險事故タル疾病ノ範圍**

- 一、左ニ掲クルモノハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサルモノトス
  - 一、雀斑、母斑、黒子、黒斑、面皰
  - 二、近視眼、老視眼、遠視眼、斜視、亂視、先天性兔眼、色盲
  - 三、白毛、多毛、無毛

- 四、吃音、難聽、酒齶鼻
- 五、多汗症、無汗症、異汗症、毛蝨、皮脂漏
- 六、不妊症、陰閉鎖症、子宮屈傾、子宮頸管狹窄症、子宮發育障害
- 七、就業上著シキ障害ヲ起ササル程度ノ善性腫瘍、鶏眼、輝
- 八、先天性畸形
- 九、外科手術後ノ形態整形手術、隆鼻術、美容ヲ目的トスル瘰癧除去整形手術、  
文身除去手術其ノ他美容手術
- 十、單ナル肩凝、腰痛、逆上、榮養不良、疲勞及倦怠
- 十一、老衰、陰萎
- 十二、普通ノ場合ニ於ケル瘰癧
- 十三、輕易ナル不眠症
- 十四、胎兒ノ位置異常

- 二、左ニ掲クルモノハ醫師ニ於テ疾病ト認ムル程度ノモノニ非サレハ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサルモノトス
- 一、貧血、常習性便秘、夜尿症
- 二、扁平足
- 三、包莖
- 四、火傷ニ因ル瘰癧痛及後天性兔眼
- 五、禿頭病、腋臭、顔面白癩、癩風、粉瘤、疣贅
- 六、月經不順、月經困難、無月經
- 七、惡疽、不完全流產及早產、前置胎盤、過強陣痛、陣痛微弱
- 八、胎兒ノ下垂壓迫
- 九、關節攣縮、內翻足
- 十、後天的眼瞼下垂

十一、吃逆

十二、傳染病豫防注射又ハ種痘ニ因ル發熱其ノ他異常容態

被保險者死亡後ノ處置ト療養ノ給付

被保險者業務上ノ事由ニ因リ即死シタル場合ニ於テ醫師カ繙帶ヲ施シ其ノ他加ヘタル處置ハ被保險者死亡後ノ處置ナルヲ以テ療養ノ給付ノ範圍ニ屬セサルモノトス (昭和二年九月二十一日附保理第三、三七二號ヲ以テ保險部長ヨリ北嶺健康保險組合宛回答)

墮脱ト保險事故タル疾病ノ範圍

女子ノ墮脱ハ健康保險ノ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス (昭和七年一月三十日附保規第四五號ヲ以テ保險部長ヨリ大辻炭礦健康保險組合理事長宅回答)

黑色表皮症ト保險事故タル疾病

黑色表皮症ハ醫師ニ於テ診斷ノ結果疾病ト認ムル程度ノモノトセハ健康保險ノ保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬スルモノトス (昭和七年九月一日附保規第二六五號ヲ以テ保險部

長ヨリ宮川モスリン株式会社健康保險組合理事長宛回答)

癩痕強直ト療養ノ給付

癩痕強直カ醫師ニ於テ診斷ノ結果疾病ト認ムル程度ノモノトセハ療養ノ給付ヲ爲スヘキモノトス (昭和七年十月十一日附保規第二九八號ヲ以テ保險部長ヨリ鹿兒島縣知事宛回答)

病院ノ意義 (法四六條)

一、法第四十三條第三項及第四十六條ノ「病院」トアルハ原則トシテ病院取締規則 (廳府縣令ヲ以テ規定スルモノ)ノ適用アル病院及醫院ヲ謂フモノトス但シ此ノ規定ノナキ地方ニ在リテハ患者ヲ收容シ得ヘキ相當ノ設備ヲ有スル病院及醫院ヲ謂フモノトス尙前記ノ病院取締規則トハ病院又ハ醫院トシテ認ムル場合ノ要件タル設備ニ付テノ規定ヲ謂フモノトス (昭和二年二月一日附保醫第六四九號ヲ以テ保險部長ヨリ札幌健康保險署長宛回答但シ病院取締規則ノ意義ハ昭和二年三月二十八日附保理第六九四號ヲ以テ保險部長

ヨリ福井健康保險署長宛回答)

二、病院取締規則ノ適用アル病院又ハ醫院ノ不足スル爲療養ノ必要上已ムヲ得スト  
 認メラルル場合ニ於テハ醫師、看護婦ノ配置、設備、構造等カ病院取締規則ノ適  
 用アル病院、醫院ニ遜色ナキ病院又ハ醫院ニ限リ健康保険法第四十三條ノ病院ト  
 シテ取扱フモ差支ナシ（昭和五年八月三十日附保規第三六九條ヲ以テ保險部長ヨリ高知縣知事宛問  
 答）

傳染病豫防法令ニ依リ傳染病院等ニ收容スルノ必要アリト認メラレタル程度ノ疾病ト  
 健康保険ニ於ケル病院收容（法六二條）

健康保険ノ被保險者ニシテ法定傳染病ニ罹リタル場合ニ於テ傳染病豫防法令ニ依  
 リ傳染病院、隔離病舎等ニ收容スヘキ必要アリト認メラレタル程度ノ疾病ニ付テ  
 ハ健康保険ニ於テモ療養ノ給付トシテ病院ニ收容スルノ必要アル程度ノモノトス  
 （昭和二年一月二十五日附保醫第一一〇號ヲ以テ保險部長ヨリ青森健康保險署長宛回答）

被保險者力任意入院シタル場合ニ於ケル費用

被保險者カ任意入院シタル場合ニ於テハ入院シテ療養ノ給付ヲ受ケタル場合ニ於  
 ケル費用ト入院セスシテ療養ノ給付ヲ受ケタル場合ニ於ケル費用トノ差額ハ被保  
 險者ノ負擔ニ屬スルモノトス（昭和二年三月十六日附保理第九六八號ヲ以テ保險部長ヨリ宮城健  
 康保險署長回答）

被保險者力任意入院シタル場合ニ於ケル入院ノ爲ニ要シタル費用

被保險者ヲ病院ニ收容スルハ保險者ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキニ限リ之  
 ヲ爲スモノニシテ被保險者カ保險者ノ承認ヲ受ケス任意ニ入院シタルトキハ後日  
 保險者ニ於テ其ノ入院ヲ認ムレハ格別然ラサル場合ニ於テハ入院ノ爲ニ要シタル  
 費用（療養ニ要シタル費用中入院セサル場合ニ要スヘカリシ費用ヲ控除シタル額）  
 ハ當該被保險者ノ負擔タルモノトス（昭和二年四月九日附保理第五五九號ヲ以テ保險部長ヨリ  
 山口健康保險署長宛回答）

被保險者力普通ノ患者トシテ入院シタル場合ニ於ケル入院料

被保險者カ特ニ普通ノ患者トシテ入院シ療養ノ給付ヲ受クヘキ正規ノ手續ヲ經サ  
リシカ如キ場合ニハ入院ニ要シタル費用ハ被保險者本人ニ於テ負擔スヘキモノト  
ス（昭和二年十月十二日附保單第三、三五二號ヲ以テ保險署長ヨリ東京モスリン吾儘健康保險組合宛回答）

**精神病者監護法ノ適用アル場合ト健康保險ニ於ケル病院收容**

健康保險ノ被保險者ニシテ精神病者ニ罹リタル場合ニ於テ精神病者監護法ノ適用  
アル場合ト雖モ精神病ノ療養上病院ニ收容スルコトヲ必要トスル場合ニ於テハ健  
康保險法ノ規定ニ依リ病院收容ヲ爲スコトヲ得ルモノトス（昭和六年七月十四日附保規  
第一四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ京都府知事宛回答）

**第四十四條**

金錢ニ依ル保險給付ヲ受クル權利者死亡ノ場合ニ於ケル之カ權利ノ承繼者（法四五條、五

〇條）

療養費、傷病手當金、出産手當金及分娩費ヲ受クル權利アル者死亡シタル場合ニ

於テハ之カ權利ハ其ノ者ノ相續人ニ於テ承繼スヘキモノトス（昭和二年二月十六日附保

理第七四七號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答）

**傳染病院等ニ收容セラレタル者ノ療養ニ要スル費用（法六二條、令七七條）**

傳染病豫防法令ニ依リ傳染病院、隔離病舎等ニ收容セラレタル者ニ對シテハ健康  
保險法第六十二條第二項ノ規定ニ依リ健康保險ニ於テ療養ノ給付ヲ爲ササルモノ  
ナルモ收容セラレタル者カ療養ニ要スル費用ノ一部又ハ全部ヲ負擔スヘキ場合ニ  
於テハ其ノ負擔スヘキ部分ハ健康保險ニ於テ療養費トシテ支給スルモノトス（昭  
和二年一月二十五日附保單第一一〇號ヲ以テ保險部長ヨリ青森健康保險署長宛回答）

**第四十五條**

**法第四十五條ノ「療養ノ爲ノ」意義**

一、法第四十五條ノ「療養ノ爲ノ」トハ之ヲ廣義ニ解スヘキモノトス即チ保險給付ト  
シテ受クル療養ノ爲ノミニ限ラス然ラサル療養ノ爲ヲモ含ムモノトス（昭和二年

三月二十六日附保規第三四四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險局長及各健康保險組合宛通牒)

二、被保險者カ齶齒ノ治療ヲ受ケントスルニ際シ其ノ附近(其ノ距離約四、五里)

ニ健康保險齒科醫ナク遠隔ノ地ニ行カサレハ治療ヲ受クルコト能ハサル場合ノ

如キハ其ノ症狀カ缺勤シテモ齒科醫師ノ診療ヲ受クルコトヲ要スル場合ニ於テ

ハ療養ノ爲勞務不能ト看做シ傷病手當金ヲ支給スヘキモノトス(昭和六年三月十一

日附保規第三一號ヲ以テ保險部ヨリ栃木縣齒科醫師會健康保險部宛回答)

三、保險醫カ將來ノ病狀惡化ヲ懼レ現在勞務ニ差支ナキ被保險者ヲ休業セシメタ

ルトキハ現在勞務ニ服スルコト差支ナキ者ト雖モ療養上其ノ症狀カ休業ヲ要ス

ル場合ニ於テハ勞務不能ト看做シ傷病手當金ヲ支給相成可然(昭和八年二月十八日

附保規第三五號ヲ以テ保險部長ヨリ神戸製鋼所保險組合理事長宛回答)

**法第四十五條ノ「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ」ノ意義(法第四十七條)**

治療トハ原則トシテ傷病其ノモノノ治療ノ義ニシテ必スシモ病後ノ身體ノ衰弱疲

勞ノ回復等健康奮ニ復スルコト迄モ包含スルモノニ非ス然レ共傷病手當金支給ノ

關係ヨリ之ヲ觀レハ特ニ相當期間病後ノ靜養ヲ必要トシ之カ爲勞務ニ服スルコト

能ハサル場合ノ如キハ法第四十五條ニ所謂「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル

トキハ」ニ該當スルモノトス(昭和六年三月六日附保規第二二號ヲ以テ社會局保險部長ヨリ日清

印刷健康保險組合理事長宛回答)

**療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル程度(法第二〇條、五五條)**

法第四十五條ノ「勞務ニ服スルコト能ハサル」ノ程度ハ工場又ハ事業場ニ於テ從事

スル勞務ニ服スルコト能ハサル程度ヲ謂フモノトス尙法第二十條ノ規定ニ依ル被

保險者ニシテ事業ニ使用セラレサル者又ハ被保險者ノ資格喪失後ノ者ニシテ事業

ニ使用セラレサル者ニ在リテハ右ノ「勞務ニ服スルコト能ハサル」程度ハ工場又ハ

事業場ニ於テ從事シタリシ當時ノ勞務ニ服スルコト能ハサルト同程度ノモノヲ謂

フモノトス(昭和二年四月二十七日附保規第一、八五七號ヲ以テ保險部長ヨリ東京毛織大垣健康保險

法第四十五條ノ「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル」ノ程度ト檢束處分ヲ受クルニ至リタル原因タル行動又ハ他ノ事務ニ服シタル行爲等（法六三條）

法第四十五條ノ「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル」トアル勞務ニ服スルコト能ハサル程度ハ被保險者カ工場又ハ事業場ニ於テ從事スル勞務ニ服スルコト能ハサル程度ノモノタルコトヲ要スルモノナルカ故ニ檢束處分ヲ受クルニ至リタル原因タル行動又ハ他ノ事務ニ服シ若ハ旅行ヲ爲シタルカ如キ行動ヨリ見テ前記ノ程度ニ照シ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルモノト認メ難キ場合ニ於テハ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス尙右ノ如キ行動ヲ爲スモ前記ノ程度ニ照シ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルモノト認メ得ヘキ場合ト雖保險醫カ療養ニ關シ被保險者ニ對シ斯クノ如キ行動ヲ爲スコトヲ豫メ禁シタル場合ノ如キハ法第六十三條ニ該當スルモノトシテ傷病手當金ノ一部ヲ支給セサルモ可ナルモノトス（昭和二

年九月二十二日附保理第三二八三號ヲ以テ保險部長ヨリ東京市電氣局健康保險組合宛回答）

勞務ニ服スルコト能ハサル期間ノ起算日

法第四十五條ノ勞務ニ服スルコト能ハサル期間ハ勞務ニ服スルコト能ハサル状態ニ置カレタル日ヨリ之ヲ起算スルモノトス但シ其ノ状態ニ置カレタル時カ業務終了後ナル場合ニ於テハ翌日ヨリ之ヲ起算スルモノトス

療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ノ起算日

工場又ハ事業場ニ於テ晝夜交替シテ作業ヲ續行スル爲一日ノ作業ナルモ時間ニ依リ二日ニ跨ルカ如キ場合ハ曆日ニ依ルモノトス（昭和四年十二月七日附規第四八八號ヲ以テ保險部長ヨリ富士製紙健康保險組合宛回答）

被保險者カ勞務ニ服シタルモ就業時間中傷病ノ爲勞務不能ト爲リタル場合ニ於ケル傷病手當金支給期間ノ開始日竝ニ其ノ日ニ於ケル傷病手當金

療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザリシ者カ其ノ後勞務ニ服シ其ノ後更ニ右ノ傷病



ノ爲ニ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合及公休日ニ報酬ヲ受ケタル場合  
モ左記第一ノロニ準シ傷病手当金ヲ支給相成度又出産手当金ノ支給ニ付テモ同様  
トス

一、業務上ノ事由ニ因ル傷病ノ場合

イ、其ノ日ハ傷病手当金支給期間ノ開始日トスルコト但シ傷病手当金ノ額以上  
ノ報酬ヲ受ケタルトキハ翌日ヲ開始日トスルコト  
ロ、其ノ日ニ受ケタル報酬カ傷病手当金ノ額ニ等シキカ又ハ之ヨリ大ナルトキ  
ハ傷病手当金ヲ支給セス小ナルトキハ其ノ差額ヲ傷病手当金トシテ支給スル  
コト（傷病ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ者カ其ノ後勞務ニ服シ其  
ノ後更ニ右ノ傷病ノ療養ノ爲ニ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合及  
公休日ニ報酬ヲ受ケタル場合ニ於ケル傷病手当金ノ支給及出産手当金ノ支給  
ニ付テモ之ニ準ス）

二、業務上ノ事由ニ因ラサル傷病ノ場合

其ノ日ハ傷病手当金支給待期三日ノ中ニ包含スルモノトス

（昭和五年十月十三日附發保第五二號ヲ以テ保險部長ヨリ各地方長官及各健康保險組合理事長宛通牒）

傷病手当金ノ支給ニ際シ業務上ノ事由ニ依ル傷病ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサ  
ルニ至リタル日ニ受ケタル報酬ヲ算定スルコト困難ナル場合ニ於ケル報酬日額（法二條

令三條）

稼高又ハ請負ニ依リ報酬ノ支給ヲ受クル被保險者就業中ニ業務上ノ事由ニ因ル傷  
病ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合傷病手当金ノ支給期間ノ  
開始ニ關シ其ノ日ニ受ケタル報酬ヲ算定スルコト困難ナルトキ（例之同時ニ相當  
期間ヲ要スル數箇ノ製品ノ加工ニ着手セル場合又ハ數人共同シテ或製品ノ加工ニ  
着手セルカ如キ場合ハ當日分ノ報酬ヲ算定スルコトハ困難且煩雜ナルノミナラス  
其ノ製品完成後ナラサレハ確定セサルカ如キ場合）ハ其ノ者ノ當日勤務セシ時間

ノ當該工場所定ノ勤務時間ニ對スル割合ヲ其ノ者ノ標準報酬日額ニ乘シテ得タル金額ヲ以テ當日分ノ報酬ト認定シ取扱相成可然 (昭和六年一月十日附保規第五〇四號ヲ以テ保險部長ヨリ審視總監宛回答)

**自費ヲ以テセル療養ト傷病手當金 (則五七條)**

健康保險ノ給付ヲ受ケス自費ヲ以テ疾病又ハ負傷ノ療養ヲ爲シタル場合ニ於テモ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル期間ハ傷病手當金ヲ支給スルモノナルヲ以テ被保險者ハ斯クノ如キ場合ニ於テモ之カ支給ノ請求ヲ爲シ得ヘキモノトス但シ右ノ支給請求書ニハ健康保險法施行規則第五十七條第二項ノ規定ニ依ル書類ノ添附ヲ要スルコトハ勿論トス (昭和二年四月九日附保理第一、二〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ埼玉縣北埼玉郡三俣村武州製絲株式會社丸山徹正宛回答)

**服藥又ハ受療ノ日ト傷病手當金ノ支給**

傷病手當金ハ服藥又ハ受療ノ日ノ如何ニ拘ラス療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル日ノ分ヲ支給スヘキモノトス (昭和二年四月二十七日附保理第一、八二七ヲ以テ保險部長ヨリ菊井紡織健康保險組合宛回答)

保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサル疾病ノ手術ヲ爲シタル爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ト傷病手當金 (法四三條)

保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサル疾病又ハ先天的障害ニ對シ被保險者カ自己ノ費用ヲ以テ手術ヲ施シ爲ニ勞務ニ服スルコト能ハサリシ場合ニ於テハ傷病手當金ヲ支給セサルモノトス (昭和四年六月二十九日附保理第一、七〇四號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長宛回答)

**任意繼續被保險者失業ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ト傷病手當金 (法二〇條)**

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者カ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ勞務アリトセハ之ニ服シ得ル状態ナルモ失業ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルカ如キハ法第四十五條ノ「療養ノ爲」ニ該當セサルヲ以テ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノ

トス (昭和二年四月四日附保理第一、五三三號ヲ以テ保險部長ヨリ東京計器健康保險組合宛回答)

**休業中家事ノ副業ニ従事シタル場合ト傷病手當金**

傷病ノ療養ノ爲休業中ニ家事ノ副業ニ従事シタル場合ト雖該傷病ノ状態カ工場ニ於ケル勞務ニ服シ得サル程度ノモノナリトセハ傷病手當金ヲ支給スヘキモノトス而シテ斯カル場合ニ於テ傷病手當金ヲ減額シテ支給スルコトヲ得サルモノトス (昭和三年十二月二十七日附保理第三、一七六號ヲ以テ保險部長ヨリ明治館健康保險組合宛回答)

**被保險者療養中ニ内職ヲ爲シ收入ヲ得タル場合ト傷病手當金ノ支給額 (法五八條)**

被保險者郷里ニ歸省シテ療養ヲ爲シタル場合ニ於テ適度ナル内職ヲ爲シ收入ヲ得タルモ該收入ハ健康保險法ニ規定スル報酬ニ非サルヲ以テ傷病手當金ハ標準報酬日額ノ百分ノ六十二ニ相當スル額ヲ支給スヘキモノトス (昭和二年四月二十七日附保理第一、八二七號ヲ以テ保險部長ヨリ菊井紡績健康保險組合宛回答) (病院ニ收容セラレタル場合ニ於ケル傷病手當金ノ額ハ施行令第七十九條ニ依ルコト勿論トス)

**第四十五條ノ「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル期間」ノ範圍**

法第四十五條ノ「療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ期間」トアルハ病後ニ於ケル靜養ノ期間及醫師ニ就キ疾病又ハ負傷ノ診察ヲ受クヘキ場合ニ於テ醫師ノ許ニ赴ク爲ニ要シタル日ノ如キヲモ含ムモノトス (昭和二年四月二十七日附保理第三四五號ヲ以テ保險部長ヨリ鳥取健康保險署長宛回答)

**法第四十五條、第四十九條、第五十條及第七十四條ノ報酬日額ト施行令第三條ノ報酬日額トノ異同 (法四九條、五〇條、七四條、令三條)**

法第四十五條、第四十九條第一項、第五十條及第七十四條ノ「報酬日額」トアルハ施行令第三條ノ「報酬日額」ト異ナリ同條ノ「標準報酬日額」ニ該當スルモノトス

**工場ノ公休日ニ於ケル傷病手當金**

工場ノ公休日ト雖療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル状態ニ在ラハ傷病手當金ハ之ヲ支給スヘキモノトス (昭和二年二月五日附保理第六五九號ヲ以テ保險部長ヨリ日清紡績株式

産褥熱ト傷病手當金

産褥熱ハ疾病ナルカ故ニ之カ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル期間ハ傷病手當

金ヲ支給スヘキモノトス但シ法第四十五條但書ノ待期間ハ支給セサルコト勿論タ

リ(昭和二年三月十八日附保理第一、二六八號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣遠賀郡香月村岩崎礦業所宛回答)

就業シツツ療養ヲ受クル場合ニ於テ療養ノ爲一日ノ作業時間中若干時間休業スル場合

ト傷病手當金

被保險者カ疾病ニ罹リ就業シツツ療養ヲ受クル場合ニ於テ毎日醫師ノ許ニ行クカ

爲一日ノ作業時間中若干時間ヲ休業スルコトアルモ此ノ場合ニ於テハ其ノ日ハ勞

務ニ服スルヲ以テ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス(昭和二年四月九日附保理

第一、六八三號ヲ以テ保險部長ヨリ金子製絲場健康保險組合宛回答)

分娩ノ日以後四十二日ヲ過キ其ノ分娩ノ爲仍勞務ニ服セサル場合ト傷病手當金(法五〇

條、令八〇條)

分娩ノ日以後四十二日ヲ過キ單ニ其ノ分娩ノ爲仍勞務ニ服セサルモ傷病手當金ハ

之ヲ支給スヘキモノニ非ス(昭和二年四月二十七日附保理第一、九二〇號ヲ以テ保險部長ヨリ山

口健康保險署長宛回答)

被保險者カ負傷シタル場合ニ於テ從來ノ業務ト異ル他ノ安易ナル業務ニ服シタル場合

ト傷病手當金

被保險者カ負傷ヲ爲シ十日間從來ノ勞務ニ服スルコト能ハサリシモ其ノ中五日間

期夫ハ比較的容易ナル他ノ業務(同一ノ工場ニ於テ)ニ服シ賃金ヲ得タルカ如キ場合ハ

此ノ五日間ハ勞務ニ服シタルモノナルヲ以テ此ノ五日間分ノ傷病手當金ヲ支給ス

ヘカラサルモノトス(昭和二年六月三十日附保理第二、六六七號ヲ以テ保險部長ヨリ山口健康保險

署長宛回答)(疾病ニ罹リタル場合ニ在リテモ同様トス)

瘧疾ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ト傷病手當金

被保險者負傷ノ爲癱疾ト爲リ其ノ負傷ニ付療養ノ必要ナキニ至リタル場合ニ在リテハ勞務ニ服スルコト能ハスト雖斯克ノ如キハ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルモノニ該當セサルヲ以テ此ノ場合ニハ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス  
(昭和二年十月十一日附保理第三、四八〇號ヲ以テ保理部長ヨリ大倉鐵業無煙炭礦健康保險組合宛回答)

續夫勞役扶助規則ニ依ル休業扶助料ヲ受クル間ニ新ニ業務外ノ疾病ニ罹リ之力療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ト傷病手當金  
(續夫勞役扶助規則一九條、二六條ノ二)

被保險者業務上ノ事由ニ因ル負傷ニ付續夫勞役扶助規則ニ依ル休業扶助料ヲ受ケルコト能ハサル場合ニ於テハ傷病手當金全額ヲ支給スヘキモノトス而シテ此ノ傷病手當金ノ支給ヲ受クル間ハ休業扶助料ノ支給ヲ受ケ得サルモノトス  
(昭和二年十月十三日附保理第三、八〇五號ヲ以テ保理部長ヨリ足尾銅山健康保險組合宛回答)

傷病手當金ノ支給ヲ受クル者カ代人ヲシテ勞務ニ服セシメタル場合ニ於ケル兩者ノ間

係 (法一三條、令九條)

被保險者甲ハ業務上ノ事由ニ因ラサル疾病ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト不能ト爲リタルヲ以テ其ノ期間傷病手當金ノ支給ヲ受ケタルモ年末賞與等ノ減額セラルルコトヲ慮リ代人乙ヲシテ本人甲ノ名ヲ以テ勞務ニ服セシメ且報酬ヲ受領セシメタリ此ノ場合ニ於テハ勞務供給ニ關シテハ甲ト乙トハ別個ノモノニシテ甲カ傷病手當金ヲ受ケタルコトハ正當ナリ而シテ乙ニ付テハ健康保險法施行令第九條ニ依リ被保險者資格取得ノ有無ヲ考慮スヘキモノトス  
(昭和三年七月十九日附保理第一、八三三號ヲ以テ保理部長ヨリ東京健康保險署長宛回答)

業務上ノ事由ニ依ニ因ル傷病ナリヤ否ヤノ別

一、負傷ヲ受ケタル時カ被保險者ノ資格取得前ト雖其ノ負傷カ其ノ者ノ使用セララルル事業ニ於ケル業務上ノ事由ニ因ルモノトセハ被保險者ノ資格取得後保險給付ヲ爲ス場合ニ於テモ其ノ負傷ハ依然業務上ノ事由ニ因ル負傷ナルモノトス故

ニ保險給付ニ當リ之ヲ業務上ノ事由ニ因ラサル負傷トシテ取扱フカ如キハ不可然モノトス(疾病ニ付テモ亦同シ) (昭和二年五月二日附保理第一、九五八號ヲ以テ保險部長ヨリ岩手健康保險署長宛回答)

二、現場監督トシテ業務上ノ指揮權ヲ有スル被保險者甲カ被保險者乙ニ對シ業務上ノ指揮ヲ與ヘタルニ乙ハ之ニ反抗シ甲ヲ毆打シ負傷セシメタル場合ニ於テハ甲ハ假令業務ヲ遂行セムカ爲ニ蒙リタル負傷ナリト雖該負傷ヲ業務上ノ事由ニ因ル負傷ト認ムヘキモノニ非ルモノトス (昭和二年十二月五日附發第二、七七八號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ滋賀健康保險署長宛回答)

三、屋外作業ヲ必要トスル業務ニ炎天下ニ於テ從事中罹リタル日射病ハ業務上ノ事由ニ因ル疾病ニ該當スルモノト思料セラル (昭和二年十一月十七日附保理第三、三六四號ヲ以テ保險部長ヨリ千葉健康保險署長宛回答)

四、發電所勤務ノ發電手タル被保險者カ常務ノ餘暇架設工事ニ從事中該工事ノ爲

負傷ヲ受ケタル場合ニ於テバ此ノ負傷ハ業務上ノ事由ニ因ル負傷トシテ取扱可然モノトス (昭和三年十月十三日附保理第二、六八一號ヲ以テ保險部長ヨリ福井健康保險署長宛回答)

五、捲揚機ニ搭乘スルコトヲ事業主カ嚴禁セルニモ拘ラス搭乘シ又ハ危險豫防ニ關スル監督者ノ眼ヲ盜ミテ炭車ニ飛乘リタルカ爲ニ受ケタル負傷ハ業務上ノ事由ニ因ル負傷ニ該當スルモノトス (昭和三年十月四日附保理第二、五六九號ヲ以テ保險部長ヨリ磐城炭礦健康保險組合宛回答)

六、健康保險組管掌ノ本社工場ノ被保險者タル従業員其ノ使用セラルル事業主ヨリ出張セシメラレ其ノ出張ノ目的タル用務中出張地ノ工場、鑛山等ニ於テ業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタルトキハ本社工場ノ作業ニ非ルモ業務上ノ事由ニ因ル疾病又ハ負傷トシテ取扱フヘキモノトス (昭和五年二月五日附保理第一八七號ヲ以テ保險部長ヨリ小野田セメント本社健康保險組合宛回答)

七、業務上ノ負傷ナリヤ否ヤノ大體ノ標準トシテハ負傷ノ原因カ業務ニ直接關係アリヤ否ヤニ依リ決スヘキモノナルモ結局具體的ノ場合ニ應シ認定スルノ外ナキモノトス（昭和五年七月十七日附保規第三五一號ヲ以テ保險部長ヨリ大阪府知事宛「藤原某（示連方）通牒」）

八、火災ノ場合事業主ノ指揮ニ依リ又ハ消防ニ關シ工場ニ於テ定ムル所ニ從ヒ工場ノ爲ニ消防ニ從事シ負傷シタルモノナルトキハ勤務時間中ナルト否トヲ問ハス又工場ノ内外ヲ論セス業務上ノ事由ニ因ル負傷トス（昭和五年六月十七日附保規第三一八號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣知事宛「北崎某（示連方）通牒」）

九、左記ノ場合ニ於テハ事業主トシテ爲スヘキ設備及施設等ノ缺陷ニ起因セサル限リ業務上ノ事由ニ因ル負傷ニ非スト認メラル（昭和六年四月九日附保規第八號ヲ以テ保險部長ヨリ時事健康保險組合理事長宛回答）

イ、印刷工カ印刷作業中俄ニ用便ヲ催シ地階ノ便所ヘ赴ク爲地階へ下ル鐵製梯

子ヲ降ル際誤テ足ヲ滑ラシ轉落シ腰部ヲ強打負傷セル場合

ロ、文選工カ休憩時間中二階ノ文選工場ヨリ三階ノ食堂へ食事ニ赴ク途中廊下ノ打水ノ爲誤テ滑リ足部ヲ捻坐傷負セル場合

ハ、文選工カ採字作業中作業場ノ窓ヨリ強風ノ吹込ヲ防ク爲其ノ窓ヲ閉メントシテ誤テ右手指頭ヲ戸ニ狹ミ負傷シタル場合

ニ、文選工カ其ノ作業終了シ作業場ヨリ退出ノ際階段ニテ誤テ足ヲ滑ラシ轉落シ足部ヲ骨折シタル場合

一〇、機械工カ回轉中ノ輪轉印刷機械ノ齒車ニ指先ニテ塗油スル際誤テ右手ヲ齒車ニ挾マレ五指並ニ指甲ヲ碎キタル如キハ業務上ノ事由ニ因ル負傷トス（昭和六年四月九日附保規第八號ヲ以テ保險部長ヨリ時事健康保險組合理事長宛回答）

一一、鉛版工カ午前三時ニ其ノ作業終了シタルモ電車ナキ爲工場内ノ當直室ニ泊リタルニ午前五時ニ地震アリ驚愕ノ餘リ窓ヨリ飛ヒ降り踵ヲ骨折シタル如キハ

業務上ノ事由ニ因ラサル負傷トス (昭和六年四月九日附保規第八號ヲ以テ保険部長ヨリ時事健康保険組合理事長宛回答)

- 一二、保険者カ保健施設トシテ被保険者ノ寄生蟲驅除ヲ施行シタル結果疾病ト認ムヘキ程度ノ症状ヲ呈シタルモノニ付テハ業務上ノ事由ニ因ラサル疾病トシテ取扱相成度 (昭和七年九月二十九日附保發第七一四號ヲ以テ保険部長ヨリ廳府縣長官宛通牒)
- 一三、事業主カ其ノ使用スル従業員ニ對シ工場管理ノ必要上食事ヲ給與スル工場ニ於テ偶々食中毎症ヲ起シタル場合ハ業務上ノ事由ニ因ラサル疾病トシテ取扱フヘキモノトス (昭和七年十一月十四日附保規第三六七號ヲ以テ保険部長ヨリ郡是健康保組合理事長宛回答)

一四、工場附近ニコレラ又ハ腸チフス等ノ患者發生シ事業主カ警察署又ハ衛生組合等ノ指示又ハ命令ニ依リ公衆衛生ノ必要上豫防注射ヲ施シタル場合之ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ業務上ノ事由ニ因ラサル疾病トシテ取扱フヘキモノトス (昭和八年二月二十五日附保規第一八號ヲ以テ保険部長ヨリ天滿紡績健康保險組合理事長宛回答)

一五、従業員ノ工場衛生上事業主ニ於テ寄生蟲驅除ヲ施行シタル結果疾病ト認ムヘキ程度ノ症状ヲ呈シタルトキハ業務上ノ事由ニ因ル疾病トシテ取扱フヘキモノトス (昭和八年二月二十五日附保規第一八號ヲ以テ保険部長ヨリ天滿紡績健康保險組合理事長宛回答)

**精神病患者タル被保険者ニ對スル傷病手當金ノ請求者**

傷病手當金ハ被保険者カ精神病患者タル場合ト雖其ノ本人ノ名ヲ以テ請求スヘキモノニシテ之カ請求アラハ本人ニ對シ支給決定ヲ爲スコトヲ要スルモノトス但シ決定ヲ受ケタル傷病手當金ヲ代理者ニ於テ受取ルハ妨ケナキモノトス (昭和二年七月二十日附保規第二、六九八號ヲ以テ保険部長ヨリ大分健康保險署長宛回答)

**被保険者ノ死亡當日ノ傷病手當金 (法十八條)**



被保險者死亡シタル場合ニ於テハ死亡當日ハ仍被保險者ノ資格アルヲ以テ其ノ日ノ傷病手當金ハ之ヲ支給スヘキモノトス (昭和二年三月四日電報ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣遠賀郡香月村岩崎礦業所宛回答)

**甲工場ニ於ケル被保險者カ甲工場臨時休業中乙工場ニ雇ハレタル場合ニ於ケル負傷**  
(令九條)

甲工場ニ於ケル被保險者カ甲工場臨時休業中乙工場ニ雇ハレ業務上負傷シタル場合ハ乙工場ニ於ケル使用關係ニ依リテモ被保險者タル場合ニ於テハ業務上ノ事由ニ因ル負傷ナルモ乙工場ニ於テハ健康保險法施行令第九條ノ規定ニ依リ被保險者タラサルモノトセハ乙工場ニ關スル限り健康保險ノ被保險者ニアラサルヲ以テ健康保險ニ於テハ業務上ノ事由ニ因ル負傷トシテ取扱ハサルモノトス (昭和五年七月七日附保規第三五一號ヲ以テ保險部長ヨリ大阪府知事宛「藤原某ニ回示方」通牒)

**運動會ニ出場シ競技中負傷シタル場合**

事業場主催ノ運動會ニ出場シ競技中負傷シタルモノハ業務上ノ事由ニ因ラサル負傷トシテ取扱フヘキモノトス (昭和四年十月二十三日附保規第八六號ヲ以テ保險部長ヨリ三菱生野健康保險組合宛回答)

**工場法令等ニ依リ就業ヲ禁止セラレタル場合ト傷病手當金** (工場法施行規則第八條、礦夫勞

役扶助規則一四條)

癩病(斑紋ヲ生シタルモノ)ニ罹リ工場法施行規則第八條ノ規定ニ依リ其ノ工場ニ於テ就業ヲ禁止セラレタル場合ト雖其ノ症狀カ勞務ニ服スルコトヲ得ル狀態ニアル者ニ對シテハ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス (昭和五年五月十七日附保規第三〇一號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜縣知事宛回答)

**法第四十五條但書ノ待期ノ日數**

業務上ノ事由ニ因ラサル疾病ニ付テハ之カ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ日カ三日間連續シタル後ニ非サレハ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス (昭

和二年三月十七日附保理第一、一七六號ヲ以テ保險部長ヨリ近江絹絲健康保險組合宛回答)

**法第五十四條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ支給ヲ受ケサル期間内ニ於ケル法第四十五條但書ノ待期ノ起算日 (法五四條)**

法第五十四條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ支給ヲ受ケサル期間内ト雖法第四十五條但書ノ待期ハ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ニ依リ起算スヘキコトハ一般ノ場合ト何等異ナルコトナキヲ以テ出産手當金ノ期間終了後特ニ傷病手當金支給ノ待期ヲ置クノ必要ナキモノトス (昭和二年三月十八日附保理第一、一五〇號ヲ以テ保險部長ヨリ千葉健康保險署長宛回答)

**異ナル疾病又ハ負傷ト法第四十五條但書ノ待期**

法第四十五條但書ノ待期ハ疾病又ハ負傷ノ異ナル毎ニ之カ適用アルモノトス但シ或ル疾病又ハ或ル負傷ニ因リ發シタル疾病ニ在リテハ後ノ疾病ニ付テ待期ノ適用ナキモノトス (昭和二年三月二十六日附保理第一、四九〇號ヲ以テ保險部長ヨリ福井縣南條郡武生町

大同肥料株式會社宛回答)

**同一ノ傷病ニ付中途ニ於テ勞務ニ服シタル場合ト法第四十五條但書ノ待期**

法第四十五條但書ノ待期ハ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲最初ニ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テノミ適用アルモノトス即チ其ノ後勞務ニ服シ(醫師ノ指示ニ基キタルト否トヲ問ハス)其ノ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲更ニ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テハ待期ノ適用ナキモノトス (昭和二年三月十一日附保理第一、〇八五號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答)

**第四十七條**

**法第四十七條ノ「同一ノ疾病又ハ負傷」ノ範圍**

法第四十七條第一項ノ「同一ノ疾病又ハ負傷ト」アルハ再發ニ係ルモノヲ含マサルモノトス

**療養給付ノ斷續ノ場合ニ於ケル同一ノ疾病**

健康保險法 第四十七條

断續シテ療養ノ給付ヲ爲ス疾病ト雖其ノ疾病カ連續セルモノトセハ同一ノ疾病ト認ムヘキモノトス (昭和二年十一月十七日附保規第三、七七七號ヲ以テ保険部長ヨリ愛知縣醫師會長宛回答)

**醫師ノ付シタル病名ノ異ル場合ト法第四十七條トノ關係**

醫師ノ付シタル病名カ異ル場合ト雖モ疾病其ノモノカ同一ナルコト明カナルトキハ法第四十七條ニ所謂「同一ノ疾病」ニ該當スルモノトス (昭和四年八月三十日附保規第四五號ヲ以テ保険部長ヨリ合同毛織大垣健康保險組合宛回答)

**法第四十七條ニ所謂「之ニ因リ發シタル疾病」ノ意義**

同一系統ノモノナルト否トヲ問ハス或ル傷病ヲ原因トシテ發シタル疾病ヲ謂フ義ナルモ前傷病一旦治癒シタル後之ヲ原因トシテ發シタル疾病ヲ含マサルモノトス (昭和五年七月十七日附保規第三五一號ヲ以テ保険部長ヨリ大阪府知事宛「藤原某」同示方「通牒」)

**療養ノ給付及傷病手當金ノ支給期間ノ計算 (法四十五條)**

法第四十七條ニ於テ「其ノ保險給付」トアルハ療養ノ給付及傷病手當金ニ付キ各別ニ百八十日ノ期間ヲ計算スヘキ義ナリトス (昭和四年六月十一日附保規第一七七〇號ヲ以テ保険部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

**療養ノ給付期間ト傷病手當金ノ支給期間トノ關係 (法四十五條)**

療養ノ給付開始後第四日目ヨリ傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ療養ノ給付ノ期間終了後三日間迄傷病手當金ヲ支給シ得ルモノトス (昭和四年五月二十日附保規第一、六七五號ヲ以テ保険部長ヨリマツタ健康保險組合宛回答)

**保險者變更ノ場合ト法第四十七條ノ期間**

法第四十七條ノ期間ハ保險者變更ノ場合ニ於テモ之ヲ通算スルモノトス (昭和二年四月一日附保規第一、六二〇號ヲ以テ保險部長ヨリ入山健康保險組合宛回答)

**出産手當金ノ支給ト傷病手當金ノ支給期間トノ關係 (法五四條)**

傷病手當金ノ支給ヲ受クル中途ニ於テ出産手當金ノ支給ヲ受ケタルカ爲傷病手當

金ノ支給ヲ受クルコトヲ得サリシ場合ト雖傷病手當金ノ支給ハ其ノ支給ヲ開始シタル日ヨリ百八十日目ヲ以テ打切ルモノトス (昭和四年六月二十一日附保理第一、八一八號ヲ以テ保險部長ヨリ山形健康保險署長宛回答)

**法第四十七條ノ「其ノ保險給付ヲ始メタル日」ノ意義** (法五〇條、五四條、令八〇條)

法第四十七條ニ所謂「其ノ保險給付ヲ始メタル日」トハ傷病手當金ヲ支給セスシテ出產手當金トシテ之ヲ支給セシ場合ト雖事實ニ於テ傷病手當金ノ支給ヲ爲シ得ル状態ニ在リタルモノナルトキハ其ノ初日ヲ指稱スルモノトス (昭和五年二月七日附保規第二〇一號ヲ以テ保險部長ヨリ愛知縣知事宛回答)

**法第五十八條ニ該當スル場合ニ於ケル傷病手當金支給ノ開始日** (法第五八條、令第八五條)

被保險者カ法第五十八條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ支給ヲ受ケサル期間ト雖法第四十七條ノ傷病手當金ノ支給ノ開始日ハ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ (業務上ノ事由ニ因ラサル傷病ノ場合ニハ三日ノ待期終了ノ日ノ翌

日ヨリ) 起算スヘキモノトス (昭和四年八月二十日保規第三一號ヲ以テ保險部長ヨリ明治鐵業

赤池健康保險組合宛回答)

**同一ノ疾病ニ付療養繼續中ノ者法第六十二條第一項ニ該當シタル場合ノ期間ノ計算**

(第六二條)

同一ノ傷病ニ付療養繼續中ノ者法第六十二條第一項ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テモ其ノ期間ハ百八十日ノ制限期間中ニ包含セララルモノトス (昭和四年七月十日附事發第一、一七五號ヲ以テ社會局保險部大阪出張所長ヨリ都是健康保險組合宛回答)

**業務上ノ事由ニ因リ疾病又ハ負傷ト然ラサル疾病又ハ負傷ニ付孰モ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル場合ニ於ケル傷病手當金** (法四五條)

業務上ノ事由ニ因ル疾病又ハ負傷ニ付保險給付ヲ受クル期間ト業務上ノ事由ニ因ラサル疾病又ハ負傷ニ付保險給付ヲ受クル期間トカ重複スル場合ニ於テ是等兩者ノ疾病又ハ負傷ニ付孰モ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシトキハ傷病手當金

ハ之ヲ各別ニ計算支給スルモノニ非スシテ此ノ兩者ヲ通シテ計算支給スルモノト  
 ス（昭和二年二月十七日附保發第一二二號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛回答）  
 同一ノ傷病ニ付法定期間給付ヲ受ケタル者力任意繼續被保險者ト爲リタル場合ニ於ケ  
 ル該傷病ニ對スル保險給付（法二〇條、四七條、四八條）

同一ノ傷病ニ付療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ百八十日受ケタル者力法第二十  
 條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲ルモ右ノ傷病ニ付テハ法第四十八條第一項ノ規定ニ  
 依ル繼續療養ノ給付ヲ受ケ得ルコトアルノ外療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ受  
 クルコトヲ得サルモノトス（昭和二年十一月二十五日附發第二、六八二號ヲ以テ保險部大阪出張  
 所長ヨリ廣島健康保險署長宛回答）

**疾病ノ自覺症狀、他覺的ノ病變ナキ場合ノ取扱**

被保險者肺尖カタルニテ治療中漸次自覺症狀消失シ他覺的ニ於テモ殆ト病變ヲ認  
 メサルニ至リ患者ハ就業ヲ希望シ保險醫モ亦就業可能ト認メタル場合ハ治療ト認

メ差支ナキモノトス（昭和四年十二月二十六日保規第六一二號ヲ以テ保險部長ヨリ神奈川縣醫  
 會健康保險部長宛回答）

**業務上ノ事由ニ因ル疾病ノ再發（法四五條）**

本人業務上ノ事由ニ因ル疾病カ再發シタル場合ニ於テ該疾病カ業務上ノ事由ニ因ルモ  
 ノナリヤ否ヤハ再發ノ際從事スル業務ニ基因スルモノナリヤ否ヤニ依リ決スヘキ  
 モノトス（昭和五年二月八日附保規第二二八號ヲ以テ保險部長ヨリ明治鐵業赤池健康保險組合宛回答）

**再發シタル疾病ト療養ノ給付**

被保險者從來喘息、トラホーム其ノ他眼科耳鼻ノ疾患ニテ療養ノ給付ヲ受ケ百八  
 十日ノ保險給付期間滿了後相當期間ヲ經過シ再ヒ療養ノ給付ヲ申出タル場合ハ再  
 發前ノ疾病カ社會通念上治療シタリト認メ得ヘキ状態ニ在ルトキハ別個ノ疾病ト  
 看做シ取扱フヲ妥當ト認メラル（昭和六年四月十四日附保規第三八號ヲ以テ保險部長ヨリ北泉紡

績健康保險組合理事長宛回答）

**法第四十七條ノ療養ノ給付支給期間**（法四三條）

被保險者カ眼疾ノ自覺症狀アリ保險醫ノ診療ヲ求メタルニ診察ノ結果白內障ト診斷セラレタルモ未タ成熟セサルヲ以テ治療ヲ施スヘキ時期ニ至ラサル旨申渡サレ何等ノ治療ヲ受ケス其ノ後甚シク視力障礙ヲ來セルヲ俟テ改メテ診療ヲ受ケントシタル如キ場合ニ於テハ保險給付ハ一旦終了シタルモノト看做シ後ノ給付ニ付テハ別ニ期間ノ計算ヲ爲スヲ妥當ト被認（昭和六年十二月二十六日附保規第三二號ヲ以テ保險部長ヨリ善觀總監宛回答）

**法第四十八條**

本人又ハ第三者カ擔保ヲ提供シテ申請シタル場合ニ於ケル該費用ノ利子

法第四十八條第一項第二號ニ依リ本人又ハ第三者カ擔保ヲ提供シテ申請シタル場合ニ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲シタルトキ該給付ノ開始ヨリ償還迄ノ期間ニ於ケル該費用ノ利子ハ之ヲ其ノ償還額中ニ包含セシメサルモノトス（昭和四年六月三十日保

第一、八一三號ヲ以テ保險部長ヨリ鐵道大臣官房保險課長宛回答）

**法第四十八條ノ繼續療養中ノ被保險者ニ對スル立會診療等**（法四十七條、則十八條、四十九條）

法第四十八條ノ規定ニ依ル繼續療養中ノ被保險者ニ對シ診療上必要アリト認ムル場合ハ立會診療ノ承認申請ハ爲シ得ル（若シ併發症アル場合ニ於テハ被保險者證ノ提出ナキ場合ニ於テモ猶療養證明書ヲ發行シ差支ナシ）モ保險醫變更ノ承認申請ハ不可然モノトス（昭和四年十一月十三日附保規第一〇四號ヲ以テ保險部長ヨリ日本醫師會長宛回答）

**第四十九條**

**死體ノ一部又ハ遺物ノ埋火葬ト埋葬料又ハ埋葬費**（法五六條）

死體ノ一部又ハ遺物ヲ埋葬若ハ火葬シタルモノニ付テモ埋葬料又ハ埋葬費ハ之ヲ支給スルモノトス

健康保險法 第四十八條 第四十九條

法第四十九條第一項ノ「埋葬ヲ行フモノ」ノ意義 (法五六條)

一一二

法第四十九條第一項ノ「埋葬ヲ行フモノ」トハ埋葬ノ事實如何ニ關セス埋葬ヲ行フヘキ者ヲ謂フ義トス (昭和二年七月十四日附保理第二、七八八號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長回答)

法第四十九條第一項ノ「被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者」ノ意義 (法五六條)

一、法第四十九條第一項ノ「被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者」トハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ指スモノニシテ死亡者ノ收入ニ依リ生計ヲ維持セルノ事實アルヲ以テ足り必スシモ民法上ノ親族又ハ遺族タルコトヲ要セス且被保險者ノ世帯主タルト被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者カ被保險者ト同一世帯内ニ在リタルト否トハ之ニ關セサルモノト解スルヲ至當ト被認 (昭和七年四月二十五日附保理第一二九號ヲ以テ保險部長ヨリ新潟縣知事宛回答)

二、法第四十九條ノ「被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者」トハ被保險者ニ依リ生計ノ全部若ハ大部分ヲ維持シタル者ノミニ限ラス生計ノ一部分ヲ維持シタル者ヲモ含ムモノトス(法第五十六條)「被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者」ノ意義ニ付テモ亦同様ノ義トス (昭和八年八月七日附保發第五〇二號ヲ以テ保險部長ヨリ廳府縣長官宛通牒)

埋葬費ノ範圍 (法五六條)

法第四十九條第二項ノ「埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル金額」トハ埋葬ニ直接要シタル實費額トス但シ被保險者ノ標準報酬日額ノ二十日分(改正法三十日分)ニ相當スル金額(此ノ金額二十圓(改正法三十圓)未滿ノトキハ二十圓(改正法三十圓)トス)ノ範圍内ニ止ムヘキモノトス法第五十六條第二項ノ場合亦同シ尙埋葬ニ直接要シタル實費額トハ靈柩代又ハ之カ借料、靈柩運搬人夫賃、葬式ノ際ニ於ケル死者靈前供物代及僧侶ノ謝禮等ノ如キモノトス (昭和二年二月二十八日附保理第七六五號ヲ以

ヲ保險部長ヨリ神奈川健康保險署長宛回答)

### 死體移送費ト埋葬費 (法五六條、則六〇條)

被保險者カ病院ニ收容セラレ療養ヲ受ケツツアル間ニ死亡シタル場合ト雖其ノ死體ヲ自宅迄ニ移送ノ爲要シタル費用ハ埋葬費中ニ包含請求スヘキモノニ非サルモノトス (昭和二年四月十八日附發第九二五號ヲ以テ保險部大阪出張所ヨリ大阪健康保險署長宛回答)

## 第五十條

### 健康保險ノ保險事故タル分娩

健康保險ニ於テ分娩ノ給付ヲ爲スハ妊娠四箇月以上(一箇月ハ二十八日ヲ以テ計算ス)ノ分娩ニシテ此ノ分娩ニハ生産ノミナラス死産及流産ヲモ含ムモノトス

(昭和二年九月二十一日附保第三、三九五號ヲ以テ保險部長ヨリ岸和田紡績健康保險組合宛回答)

(即チ右ノ妊娠四箇月以上トハ妊娠八十五日以上ヲ謂フ義トス)

父ノ不明ナル私生子ノ分娩ト分娩ニ關スル給付

健康保險ニ於テ分娩ニ關スル給付ヲ爲スノ目的ハ主トシテ母體ヲ保護スルニ在ル

ヲ以テ父ノ不明ナル私生子ノ分娩ノ場合ト雖給付ヲ爲ササルヘカラサルモノトス

(昭和二年二月十七日附保第七九二號ヲ以テ保險部長ヨリ片倉姫路健康保險組合宛回答)

### 人工ニ依リテ爲ス分娩ト分娩費

母體ノ保健上人工ニ依リテ爲ス分娩ニ付テモ分娩費ヲ支給スヘキモノトス 昭和二

年二月一日附保第五四八號ヲ以テ保險部長ヨリ旭川健康保險署長宛回答) (出産手當金モ支給ス

ヘキモノトス)

### 雙見分娩ノ場合ト分娩費

雙見分娩ノ場合ト雖保險事故タル分娩ハ一ナルヲ以テ分娩費ハ二十圓(産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタルモノハ十圓)ヲ支給スヘキモノトス但シ胎兒毎ニ胎盤ヲ有シ一産兒ヲ排出シ次テ其ノ後産ヲ排出シ更ニ他ノ一産兒ヲ排出シ次テ其



ノ後産ヲ排出スルカ如キハ産兒毎ニ分娩ヲ異ニスルモノナルヲ以テ斯カル場合ニ於テハ産兒毎ニ分娩費ヲ支給スヘキモノトス（昭和二年五月四日附保理第一、九〇三號ヲ以テ保險部長ヨリ東洋モスリン魚戸工場健康保險組合宛回答）

**雙兒分娩ノ場合ト出産手當金**（令八〇條）

雙兒分娩ノ場合ニ於テ一兒ハ九月二十四日分娩シ他ノ一兒ハ同月二十七日分娩シタル場合ニ於テハ出産手當金ハ九月二十四日前二十八日、九月二十七日以後四十二日以内ニ於テ勞務ニ服セサリシ期間ニ對シテ支給スヘク尙九月二十四日乃至同月二十六日ノ期間ヲモ支給スヘキモノトス（昭和五年一月十四日附保規第六八六號ヲ以テ保險部長ヨリ長崎縣知事宛回答）

**工場ノ公休日ニ於ケル出産手當金**（令八〇條）

工場ノ公休日ト雖分娩豫定日前二十八日間又ハ三十五日間、分娩ノ日以後四十二日間ニ勞務ニ服セサル状態ニ在ラハ出産手當金ハ之ヲ支給スヘキモノトス（昭和二

年二月五日附保理第六五九號ヲ以テ保險部長ヨリ日清紡績株式會社岡崎工場健康保險組合宛答）

**分娩前死亡シタル場合ト出産手當金**

妊娠ノ爲休養中分娩前ニ死亡シタル場合ト雖分娩豫定日前法定期間内ニ於テ勞務ニ服セサリシ期間ニ對スル出産手當金ハ之ヲ支給スヘキモノトス（昭和四年六月二十七日附保理第一、八二九號ヲ以テ保險部長ヨリ廣島健康保險署長宛回答）

**分娩ノ場合ニ於ケル人工的處置ノ内容**

- 分娩ノ場合ニ於ケル人工的處置トハ左ノ如キモノヲ謂フモノトス
- 一 軟部産道擴張處置
- 二 即チ子宮頸管及子宮口ノ擴張處置、陰及外陰部ノ擴張處置等ナリ
- 三 二骨部産道又ハ骨盤ノ擴大處置
- 四 即チ恥骨ノ縫合又ハ切開處置等ナリ

三人工破水處置

(昭和三年五月九日附保理第一、〇一三號ヲ以テ保險部長ヨリ秋田健康保險署長宛回答)

産婆ノ手ヲ藉ラサル分娩ト分娩ニ關スル給付

産婆ノ手ヲ藉ラスシテ爲シタル分娩ト雖分娩ニ關スル保險給付ハ之ヲ爲スヘキモノトス (昭和二年三月十一日附保理第一、一一五號ヲ以テ保險部長ヨリ大倉鐵業無煙炭礦健康保險組合宛回答)

公共ノ施設ニ係ル産院ニ公費ヲ以テ收容セラレテ分娩シタル場合ト分娩費ノ額 (法五七

條、合八四條)

被保險者資格喪失後百八十日以内ニ分娩シタル場合ニ於テ其ノ分娩カ公共ノ施設ニ係ル産院ニ公費ヲ以テ收容セラレテ爲シタルモノト雖分娩費二十圓ノ支給ヲ受クルモノトス (昭和三年七月二十日附保理第一、八五五號ヲ以テ保險部ヨリ大阪府大阪市東淀川區國天町五百二十一番地谷口右左司宛回答) (被保險者資格喪失前ニ於ケル分娩ニ付テモ亦同シ)

市町村營助産取扱所ニ於ケル助産ノ手當ト分娩費ノ額 (法五一條)

市町村營助産取扱所ニ於テ無料ニテ其ノ市町村居住ノ妊婦ノ助産ノ手當ヲ爲ス場合其ノ市町村ニ居住スル被保險者カ該助産取扱所ニ於テ助産ノ手當ヲ受ケタル場合ト雖モ該助産ノ手當ハ健康保險法第五十一條ノ助産ノ手當ニ非サルヲ以テ分娩費ハ二十圓ヲ支給スヘキモノトス (昭和六年四月九日附保規第五九號ヲ以テ保險部長ヨリ日出紡織健康保險組合理事長宛回答)

第五十一條

産院ノ意義

法第五十一條ノ「産院」トハ妊婦ヲ收容シ出産セシムルニ足ル相當ノ設備ヲ有スルモノヲ謂フ義ニシテ産婆ノ經營スル所謂妊婦預リ所ノ如キヲ含マサルモノトス (昭和二年三月二十三日附保理第一、一五四號ヲ以テ保險部長ヨリ神奈川縣川崎市小川町産婆官田サダ宛回答)

健康保險法 第五十條、第五十一條

法第五十一條第一項ノ趣旨

保險者ハ助産ノ手當ヲ受クル被保險者ヲ更ニ産院ニ收容シ得ルモノトス即チ法第五十一條第一項ノ規定中「産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得」トアルハ産院收容ト助産ノ手當ノ兩者ノ中其ノ一ニ限ル趣旨ニ非サルモノトス（昭和三年十二月二十日附保理第三、一一九號ヲ以テ保險部長ヨリ内閣印刷局長宛回答）

胎兒死亡ニ付之カ處置ノ爲ノ入院及手術ヲ保險給付トシテ爲ス場合ニ於ケル費用及此ノ場合ニ於ケル分娩費額（令八一條、則式七號）

胎兒死亡ニ付之カ處置ノ爲入院シ手術ヲ受クルコトヲ要スルニ付右ノ入院及手術ヲ保險給付トシテ爲ス場合ハ之カ費用ハ助産ノ手當ノ費用トシテ支出スヘキモノニシテ療養費トシテ支出スヘキモノニ非ス尙此ノ場合ノ分娩費ハ半額ヲ支給スルモノトス（昭和二年十一月二十二日附ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ東陶健康保險組合宛回答）

助産ノ手當ノ範圍

胎盤ノ早期剝離ノ場合ニ於ケル止血或ハ強心ヲ目的トスル處置、帝王切開術ヲ以テスル胎兒挽出ノ處置及陣痛微弱ノ爲之ヲ催進スル目的ヲ以テスル處置等ハ孰モ助産ノ手當ノ範圍ニ屬スルモノトス（昭和五年六月十六日附保規第三二四號ヲ以テ保險部長ヨリ九州鐵業起業小松健康保險組合理事長宛回答）

第五十三條

分娩前後保險者變更ノ場合ニ於テ給付ヲ爲ス保險者（令八〇條、八三條）

分娩前後ニ保險者ノ變更アリタル場合ニ於テ分娩ニ關スル給付ヲ爲ス保險者ハ分娩ノ日前二十八日又ハ三十五日ノ間、分娩ノ日以後四十二日ノ間ニ於ケル保險者トス尙此ノ場合ニ於テハ給付ヲ爲シタル保險者ニ於テ關係保險者ニ對シ分擔金ヲ求償スヘキモノトス

第五十四條

健康保險法 第五十一條、第五十三條 第五十四條

法第五十四條ノ適用ヲ受クル期間中ニ病院ニ收容セラレタル場合ニ於ケル出産手當金ノ額 (令七九條、八一條)

傷病ト分娩トノ事故競合シ法第五十四條ノ適用ヲ受クル期間中ニ病院ニ收容セラレタル場合ニ於テハ出産手當金ハ施行令第七十九條及第八十一條第二項ノ趣旨ニ鑑ミ減額シテ支給スヘキモノトス (昭和二年六月二十二日附保理第二、四八八號ヲ以テ保理部長ヨリ岡山健康保理部長宛回答)

### 第五十五條

法第五十五條ニ依リ繼續シテ受ケ得ル給付

被保險者ノ資格喪失後法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ受クルコトヲ得ヘキ給付ハ被保險者ノ資格喪失ノ際受クル給付ノミニ限ルモノトス例ヘハ資格喪失ノ際疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ノミヲ受クルモノニ在リテハ資格喪失後被保險者ト

シテ保險給付ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ期間内ニ其ノ疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲メ務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ト雖傷病手當金ノ支給ハ之ヲ受クルコトヲ得サルカ如シ (昭和二年四月七日附保理第一、四二三號ヲ以テ保理部長ヨリ各健康保理部長及各健康保險組合宛通牒)

被保險者ノ資格喪失ノ際繼續シテ給付ヲ取ケ得ル疾病又ハ負傷

被保險者ノ資格喪失ノ際繼續シテ給付ヲ受ケ得ル疾病又ハ負傷ハ資格喪失當時ニ給付ヲ受クル疾病又ハ負傷ニ限ルモノニシテ其ノ疾病又ハ負傷ノ治療後發生スル疾病又ハ負傷ヲ含マサルモノトス (昭和二年二月一日附保理第三三〇號ヲ以テ保理部長ヨリ岐阜健康保理部長宛回答)

法第五十五條ノ規定ニ依リテ爲ス療養ノ給付ノ程度 (法四三條、令七四條)

法第五十五條ノ規定ニ依リテ爲ス療養ト雖被保險者ニ於テ必要ト認ムル處置若ハ手術ヲ爲シ又ハ病院ニ收容スヘキモノニシテ是等ノ給付ハ被保險者ノ資格ノ有無ト

何等關係ナキモノトス (昭和二年十月十四日附ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ大阪府堺市七道東町百四十八番地池上平也宛回答)

**法第四十五條但書ノ待期ノ爲被保險者資格喪失ノ際傷病手當金ノ支給ヲ受ケサル場合ト法第五十五條トノ關係 (法四五條)**

業務上ノ事由ニ因ラサル疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ第三日目ニ於テ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ資格喪失ノ際傷病手當金ノ支給ヲ受ケサルヲ以テ資格喪失後ト雖傷病手當金ノ支給ヲ受ケ得サルモノトス即チ此ノ場合ニ於テハ法第五十五條ノ適用ナキモノトス (昭和二年九月九日附保理第三、二八九號ヲ以テ保險部長ヨリ大阪健康保險署長宛回答)

**被保險者資格喪失ノ際傷病手當金ノ支給ヲ受ケル者カ其ノ後之ヲ受ケサルニ至リ更ニ其ノ後療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル場合ト傷病手當金**

被保險者資格喪失ノ際療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ受ケツツアリシカ其ノ後

療養ノ給付ノミヲ受クルニ至リ更ニ其ノ後療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルニ至ルモ此ノ場合ニハ傷病手當金ヲ支給セサルモノトス (昭和二年五月五日附ヲ以テ保險

部大阪出張所長ヨリ神戸製鋼所健康保險組合宛回答)

**被保險者資格喪失後繼續療養中ノ齶蝕症以外ノ他齒ノ齶蝕症ト療養ノ給付**

被保險者資格喪失ノ際ヨリ齶蝕症ニ付繼續シテ療養ノ給付ヲ受ケツツアル者カ其ノ療養ノ給付中ニ於テ更ニ他齒ノ齶蝕症 (被保險者資格喪失前ヨリ起レルモノ) ノ治療ヲ必要トスルモ此ノ後者ノ齶蝕症ハ前者ノ齶蝕症ト同一口腔内ニ在リト雖患部ヲ異ニシ兩者別箇ノモノナルヲ以テ後者ノ齶蝕症ニ付テハ法第五十五條ノ規定ノ適用ナキモノトス (昭和三年七月二十三日附保理第一、九〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ長野健康

保險署長宛回答)

**被保險者資格喪失ノ際自費ヲ以テ療養ヲ爲シ傷病手當金ヲ受ケル者ノ資格喪失後繼續シテ受ケ得ル給付**

被保険者資格喪失ノ際自費ヲ以テ疾病ノ療養ヲ爲シ之カ爲勞務ニ服スルコト能ハサルヲ以テ傷病手當金ノ支給ヲ受クル者ハ資格喪失後繼續シテ傷病手當金ノ支給ヲ受ケ得ルモ療養ノ給付ヲ受ケ得サルモノトス (昭和三年十月二十六日附保理第二、七九二號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜健康保險署長宛回答)

癩疾ノ程度ニ至リタル爲解雇セラレ被保険者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ對スル資格喪失後ノ保險給付

腦ノ疾病ニ罹リ癩疾ノ程度ニ至リタル爲解雇セラレ被保険者ノ資格ヲ喪失シタル者ト雖該疾病ニ付テハ法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ給付ヲ爲スヘキモノトス (昭和三年五月一日附保理第一、一四〇號ヲ以テ保險部長ヨリ森永製菓株式工場健康保險組合宛回答)

法第五十五條ニ規定ニ依リ出產手當金ヲ受ケ得ル者 (法五〇、條令八〇條)

法第五十五條ノ規定ニ依リ出產手當金ヲ受ケ得ル者ハ分娩ノ日前二十八日又ハ三十五日ヨリ分娩ノ日以後四十二日間ニ於テ被保険者ノ資格ヲ喪失シ其ノ際出產

手當金ノ支給ヲ受ケ得ル状態ニ在ル者ニ限ルモノトス (昭和二年五月三十日附保理第二、二二三號ヲ以テ保險部長ヨリ高知健康保險署長宛回答)

事業ニ使用セラレサル被保険者タリシ者ニ對スル傷病手當金 (法四五條)

被保険者ノ資格喪失ノ際傷病手當金ノ支給ヲ受クル者ニシテ現ニ事業ニ使用セラレサルモノト雖疾病又ハ負傷ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル状態ニ在ラハ傷病手當金ヲ支給スヘキモノトス而シテ此ノ場合ニ於ケル勞務ニ服スルコト能ハサル状態ハ被保険者タリシ當時ノ工場又ハ事業場ニ於ケル勞務ニ服スルコト能ハサル状態ト同様ノ程度ノモノヲ謂フ義トス (昭和二年四月二十七日附保理第一、八二九號ヲ

以テ保險部長ヨリ日本製鋼所室蘭健康保險組合宛回答)

法第五十五條ト法第二十條トノ關係 (法二〇條)

法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ給付ヲ受クルコトハ法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者タリ得ル資格ニ何等關係ナキモノトス尙法第二十條ノ規定ニ依ル被保險

者カ其ノ資格ヲ喪失スル際ニ保險給付ヲ受ケツツアラハ之ニ對シテモ法第五十五條ノ規定ノ適用アルモノトス（昭和二年五月二十四日附ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ株式會社

日立製作所笠戸工場健康保險組合宛回答）

法第五十五條該當者カ更ニ健康保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ於ケル保險給付（法

一條）

法第五十五條該當者カ更ニ健康保險ノ被保險者ト爲リタル場合ニ於テハ法第五十五條ノ規定ニ依ル給付ハ消滅スルモノニシテ此ノ場合ニ右ノ給付ノ原因タル保險事故カ仍繼續シ而モ未タ法定ノ支給期間滿了セサルモノナルトキハ其ノ者ノ屬スル保險者ニ於テ右ノ事故ニ對シ法第五十五條ノ規定ト關係ナク保險給付ヲ爲スヘキモノトス（昭和三年六月五日附保理第一、四八七號ヲ以テ保險部長ヨリ北嶺健康組合宛回答）

改定標準報酬決定後之カ實施前ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シ法五十五條ニ依ル繼續給付ヲ受ケル者ニ對スル傷病手當金ノ額（令四條）

改定標準報酬決定後之カ實施前ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ傷病手當金ヲ受ケル場合ニ於テハ其ノ傷病手當金ノ額ハ其ノ者カ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際ニ於ケル標準報酬（即チ改定前ノ標準報酬）ニ依リ計算スヘキモノトス（昭和二年十一月十一日附保理第三、六七〇號ヲ以テ保險部長ヨリ長野健康保險署長宛回答）

被保險者ノ資格喪失後繼續シテ保險給付ヲ受ケル者巡査等ニ就職シタル場合ニ於ケル給付

被保險者ノ資格喪失後法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ保險給付ヲ受ケル者カ巡査ニ就職シタル場合ニ在リテモ被保險者トシテ保險給付ヲ受ケルコトヲ得ヘカリシ期間ハ繼續シテ其ノ給付ヲ爲スコトヲ要スルモノトス尙工場法ノ適用ナキ工場ニ使用セラルル官吏又ハ公吏ニ就職シタル場合亦同シ（昭和二年四月十六日附保理第一、七七七號ヲ以テ保險部長ヨリ愛知時勢電機健康保險組合宛回答）

法第五十五條該當ノ被保險者ノ轉醫シタル場合 (法四七條)

法第五十五條該當ノ被保險者ニシテ轉醫シタル場合其ノ症狀ニ變化ナキニモ不拘  
新舊保險醫ノ診斷著シク相違シ殆ト前後同一疾病ト難認場合ト雖如斯ハ同一ノ疾  
病トシテ取扱フヘキモノトス (昭和四年七月十九日附保理第一、八六六號ヲ以テ保險部長ヨリ岐  
阜健康保險署長宛回答)

法第五十五條ト法第五十八條トノ關係 (法四五條、四七條、法五八條、令八五條)

職員タル被保險者傷病ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間事業主ヨリ報  
酬ノ全部ヲ受ケタルカ爲傷病手當金ノ支給ヲ受ケサル場合ノ如キハ法第五十八條  
ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ支給ヲ受ケサリシモノナルヲ以テ資格喪失ノ際尙其ノ  
傷病カ未治癒ナルトキハ療養ノ給付ヲ爲スノ外該傷病療養ノ爲勞務不能トナリシ  
日(業務外ノ傷病ノ場合ハ勞務不能ノ第四日目)ヨリ起算シ百八十日間傷病手當  
金ヲ支給スヘキモノトス尙該傷病カ業務外ナル場合ハ資格喪失ノ日前四日間以上

當該傷病ノ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシコトヲ要スルモノトス (昭和五年

四月十四日附保規第二七〇號ヲ以テ保險部長ヨリ磐城炭礦健康保險組合理事長宛回答)

法第五十五條該當者力勞働爭議ニ加ハリタル場合ト傷病手當金 (法四五條)

法第五十五條該當者カ(勞務ニ服スルコト能ハサル程度ハ被保險者カ工場ニ於テ  
従事セル勞務ニ服スルコト能ハサル程度ノモノタルヲ要スルヲ以テ)爭議團ニ加  
ハリタル場合ノ如キ状態ヨリ見テ工場ニ於テ従事セル程度ノ勞務不能ニ非スト認  
定セラルル場合ニ於テハ傷病手當金ヲ支給スヘカラサルモノトス但シ本件ノ認定  
ニ就テハ醫師ノ意見ヲ徵スルノ要アリト認ム (昭和五年五月十九日附保規第二九四號ヲ以  
テ保險部長ヨリ大阪機械工作所健康保險組合理事長宛回答)

歯科治療中拔牙ニ因ル患部未治癒ノ爲補綴不能中被保險者ノ資格喪失シタル場合ト保  
險給付

歯科治療中拔牙ノ爲受ケタル患部治癒セサル爲補綴スヘキ床型ヲ採ルコト能ハサ



ル中ニ被保険者ノ資格喪失シ其ノ資格喪失シタル日ニ齒科補綴ノ承認方請求アリタル場合(其ノ補綴時期ハ資格喪失後一箇月餘後)ハ健康保險法第五十五條ニ該當スルモノトス (昭和五年七月三十一日附保規第四〇二號ヲ以テ保險部長ヨリ日本製鋼所重慶健康保險組合理事長宛回答)

**法第五十五條該當者力任意繼續被保険者ト爲リタル場合ニ於ケル保險給付** (法二〇條)

健康保險法第五十五條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受クヘキ者力任意繼續被保険者ト爲リタル場合ニ於テモ同條ノ規定ニ依リ受ケ得ヘキ保險給付ハ從來ノ保險者ニ於テ之ヲ爲スヘキモノトス (昭和五年十一月四日附發保第五五號ヲ以テ保險部長ヨリ各地方長官及各健康保險組合理事長宛通牒)

**法第五十五條ノ「被保険者ノ資格ヲ喪失シタル際」ノ意義**

法第五十五條ノ「被保険者ノ資格ヲ喪失シタル際」トハ被保険者ノ資格ヲ喪失シタル時ト解スヘキモノトス (例ヘハ十一月一日ニ解雇セラレタル者ハ十二月午前零時

ニ被保険者ノ資格ヲ喪失スルカ如シ) (昭和七年五月三十一日附保規第一四九號ヲ以テ保險部長ヨリ米德健康保險組合理事長宛回答)

**第五十七條**

**法第五十七條ノ規定ニ依ル給付ニ要シタル費用ノ分擔金** (法五三條、令八三條)

被保険者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ對シ法第五十七條ノ規定ニ依リ分擔ニ關スル給付ヲ爲シタル最後ノ保險者ハ施行令第八十三條ノ期間内ニ於ケル前ノ保險者アリタルトキハ其ノ保險者ニ對シ之カ給付ニ要シタル費用ノ分擔金ヲ請求シ得ルモノトス (大正十五年八月二十三日附收保第一六號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡鐵山監督局長宛回答)

**第五十八條**

**疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ支給スル休業手當金ト傷病手當金** (令八五條)

職工カ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ賃銀ヲ受クルコト能ハサルトキハ休業手當金ヲ支給スル旨ヲ事業主ニ於テ工場ノ就業規則ニ規定シタルトキハ該手當

金ハ勞務ノ對價ト認メラレ即チ健康保險ニ所謂「報酬」ナルヲ以テ法第五十八條ノ規定ニ該當シ施行令第八十五條ノ規定ノ適用アルモノトス (大正十五年十一月十六日

附保發第二〇〇號ヲ以テ保險部ヨリ神奈川縣橋郷郡旭村森永製菓株式會社第九工場宛回答)

傷病ノ場合ニ傷病手當金ノ額ヲ控除シタル額ノ報酬ヲ受クル場合ト法第五十八條 (令八五條)

事業主ハ工場ノ就業規則ニ被保險者傷病手當金ノ支給ヲ受クル期間ハ事業主ニ於テ支給スル報酬ハ常時ニ於ケル報酬ノ額ヨリ右ノ手當金ヲ控除シタル額トスル旨ヲ規定スル場合ニ於テハ法第五十八條ニ該當スルヲ以テ施行令第八十五條ノ規定ノ適用アルモノトス (昭和二年二月一日附保理第三九三號ヲ以テ保險部ヨリ函館健康保險署長宛回答)

疾病ノ爲缺勤ノ場合ニ於ケル職員ノ俸給ト傷病手當金トノ關係 (令八五條)

事業主ニ於テ職員ノ給料支給ニ關スル規定中ニ「職員病氣ノ爲引續キ缺勤スルト

キハ缺勤日數九十日迄ハ俸給ノ全額ヲ日割ヲ以テ支給スルヲ原則トシ若其ノ職員カ健康保險ノ被保險者タルトキハ之ヲ適用セサルコトトシ此ノ者ニ對シテハ健康保險ニ於テ受クル傷病手當金又ハ出産手當金ノ額カ前記原則ノ支給額ヨリ小ナルトキハ其ノ差額ヲ支給スルモノトス」ノ旨ヲ定メタル場合ニ於テハ法第五十八條ノ規定ニ該當シ隨テ施行令第八十五條ノ規定ノ適用アルモノトス (昭和二年一月二十五日附保理第五號ヲ以テ保險部ヨリ北海道室蘭市茶津町四番地株式會社日本製鋼所室蘭工場宛回答)

疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ賃金等ニ準スヘキ給與其ノ他ノ利益ヲ繼續シテ受クル場合ト傷病手當金又ハ出産手當金 (法二條、令一條、八五條)

寄宿舎ニ居住セシムルノ利益ニシテ報酬ノ額ノ決定ニ影響アルモノ及食事ノ給與ハ事業主ニ於テ勞務ノ對價トシテ之ヲ與フルモノトセハ健康保險ニ所謂「報酬」ノ範圍ニ屬スルモノナルカ故ニ被保險者カ疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ勞務ニ服セサル期間ト雖繼續シテ之等ノ利益又ハ給與ヲ受クルトキハ法第

五十八條ノ規定ニ該當スルヲ以テ施行令第八十五條ノ適用アルモノトス（大正十五年十二月二十二日附保發第四一四號ヲ以テ保險部ヨリ埼玉縣北足立郡鼻野町ノ字上落合九百九十二番地ニ遡網治宛回答）

事業主ヨリ無料又ハ廉價ニテ食糧ヲ受クル場合ト傷病手當全トノ關係（法二條、令一條、八五條）

職工就業規則等ニ於テ被保險者タル職工傷病又ハ分娩ノ爲休業スル場合健康保險ノ傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給ヲ受クルトキハ事業主カ當該被保險者ヨリ食費ノ全部又ハ一部ヲ徴スル旨ヲ規定セル場合ニ於テモ事實上休業中繼續シテ事業主ヨリ無料又ハ廉價ニテ食事ノ供給ヲ受クルモノトセハ傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給ニ付テハ法第五十八條ノ規定ニ依ルヘキモノトス（昭和四年六月十八日附保發第三二號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長宛通牒）

疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ支給スル休業扶助料ト傷病手當金（法二條）

職工カ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テ報酬ヲ受クルコト能ハサルトキニ工場法ニ基キ休業扶助料ノ支給ヲ受クルモ該扶助料ハ健康保險ニ所謂報酬ニ非ザルヲ以テ法第五十八條ノ規定ニ該當セサルモノトス（大正十五年十一月十六日附保發第二〇〇號ヲ以テ保險部ヨリ神奈川県橋本郡旭村森永製菓株式會社第九工場宛回答）

被保險者ノ内職等ニ依ル収入ト法第五十八條（法二條）

被保險者ノ内職等ニ依ル収入ニ付テハ法第五十八條ノ適用ナキモノトス（昭和二年五月十七日附保發第二〇六八號ヲ以テ保險部長ヨリ天滿織物城北工場健康保險組合宛回答）

公休手當ト法第五十八條（法二條、令一條）

被保險者カ事業主ヨリ毎月一回乃至二回受クル公休手當ハ報酬ノ範圍ニ屬スルモ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ハ法第五十八條ニ所謂繼續シテ報酬ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ニ該當セサルモノトス（昭和三年十一月十三日附保發第二、八七九號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長宛回答）

法第四十五條但書ノ待期間ニ於ケル食事ノ給與 (法二條、令一條)

法第四十五條但書ノ待期間ニ事業主カ報酬ノ範圍ニ屬スル食事ヲ給與スルコトアルモ此ノ待期間ノ傷病手當金ハ支給スヘキモノニ非サルヲ以テ右ノ食事ノ給與ハ健康保險ト關係ナキモノトス (昭和二年四月十五日附發第八一二號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ片倉姫路健康保險組合宛回答)

任意繼續被保險者ト法第五十八條及第五十九條トノ關係 (法二〇條、五九條)

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ工場法若ハ鑛業法ノ適用ヲ受クル工場若ハ事業場又ハ第十四條ノ認可アリタル事業ニ使用セラルル場合ヲ除クノ外法第五十八條及第五十九條ノ規定ハ適用ナキモノトス

標準報酬決定後ニ於テ給與セラレタル食費ト法第五十八條トノ關係

標準報酬決定後ニ於テ事業主ヨリ食費ノ全部若ハ一部ヲ給與セラルルコトト爲リタル被保險者カ勞務不能期間中繼續シテ該給與ヲ受クル場合ハ假令標準報酬中ニ

之カ算入ナシト雖法第五十八條ノ規定ニ該當スヘキモノナルヲ以テ一應算定基礎變更届ヲ提出セシメ標準報酬等級ノ變更ヲ來スヘキモノナリヤ否ヤヲ確メタル後令第八十五條ヲ適用スヘキモノトス (昭和五年一月八日附保規第七〇四號ヲ以テ保險部長ヨリ富山縣知事宛回答)

第六十條

法第六十條ノ「犯罪行為」ノ範圍

法第六十條ノ「犯罪行為」トハ府縣令ノ規定ニ違反シ處罰セラレタル行為ヲモ含ムモノトス (昭和三年二月八日附保理第二七四號ヲ以テ保險部長ヨリ茨城健康保險署長宛回答)

自殺ト保險給付

自殺ヲ爲シタル場合ニ於テハ法第六十條ニ該當スルモノト認メラルルヲ以テ此ノ者ノ死亡ニ關スル保險給付ハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノトス自殺未遂ノ場合ニ於ケル負傷及疾病ニ付亦同シ (昭和二年一月二十八日附保發第六八號ヲ以テ保險部長ヨリ各健保險

行爲ニ對スル認識能力ナキ者ノ自殺

行爲(結果ヲ含ム)ニ對スル認識能力ナキ者ノ自殺ノ場合ハ故意ニ事故ヲ生セシメタルモノト謂フヲ得サルモノトス(昭和二年十一月十二日附保理三、六九二號ヲ以テ保險部ヨリ東京府東京市日本橋區彌生町二丁目一番地東京モスリン紡織株式會社勞務課宛回答)

無許可ニテ所持セル拳銃ノ爲負傷ヲ受ケタル場合ト法第六十條ノ適用

許可ヲ受ケスシテ所持スル拳銃ノ掃除ヲ爲サムトシ負傷ヲ受ケタル場合ニ在リテハ許可ヲ受ケスシテ拳銃ヲ所持セルコトハ犯罪行爲ナルヲ以テ法第六十條ヲ適用スヘキモノトス(昭和三年十二月六日附事發第二、〇九一號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ大阪鐵工所因島工場健康保險組合宛回答)

保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサル疾病ノ手術ニ由ル創傷ト法第六十條

保險事故タル疾病ノ範圍ニ屬セサル子宮後屈症ニ對シ被保險者カ自費ヲ以テ手術

ヲ施シタル爲ニ生シタル創傷ニ付テハ法第六十條ノ規定ヲ適用スヘカラサルモノトス(昭和五年四月十五日附保規第二六三號ヲ以テ保險部長ヨリ廣島縣知事宛回答)

鐵道線路ヲ通行シタル場合ト法第六十條

(鐵道營業法三七條) 被保險者鐵道線路ヲ通行シ列車ノ爲ニ負傷セル場合ハ鐵道營業法第三十七條ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ法第六十條ヲ適用スヘキモノトス(但シ故意ノ犯罪行爲タルコトヲ要スルモノトス)(昭和五年十一月四日附保規第五五八號ヲ以テ保險部長ヨリ大谷

飢餓同盟ニ因ル疾病ト法第六十條

被保險者事業主間ニ勞働爭議發生シ鬭爭手段トシテ飢餓同盟ヲ組織シ數日來同工場内ニ於テ絶食ヲ行ヒ之カ爲ニ二十數名ノ病者ヲ出シタルカ如キハ健康保險法第六十條ニ所謂故意ニ事故ヲ生セシメタルモノニシテ保險給付ハ之ヲ爲スヘカラサルモノトス但シ之カ適用ニ當リテハ各被保險者ニ就キ被保險者ノ故意ニ依ル絶食

カ疾病ノ發生ノ直接ニシテ且主要ナル原因ナリヤ否ヤヲ充分ニ調査スルノ必要アルモノト思料セラル (昭和六年五月十一日附保規第八二號ヲ以テ保險部長ヨリ警視總監宛回答)

法第六十一條

法第六十一條ノ適用

法第六十一條ヲ適用スルト否トハ事故發生ノ都度當該事故ニ付テノミ決定スヘキモノトス (昭和三年三月二十九日附保理第六五〇號ヲ以テ保險部長ヨリ三好健康保險組合宛回答)

法第六十一條ノ適用決定者

法第六十一條ノ規定ニ該當スル事故ニ付テハ傷病手當金ノ全部ヲ支給セサルカ又ハ一部ヲ支給セサルカノ區別及一部ヲ支給セサルコトトスルモ其ノ程度等ハ保險者ニ於テ適當ニ判斷決定スヘキモノトス (昭和二年九月一日附保理第三、二一三號ヲ以テ保險部長ヨリ大日本炭礦高野健康保險組合宛回答)

業務上ノ事由ニ因ル負傷ト法第六十一條ノ適用 (法四五條)

業務上ノ事由ニ因ル負傷ニ付テモ法第六十一條ノ規定ノ適用ヲ妨クルモノニ非サルモノトス (昭昭三年十月四日附保理第二、五六九號ヲ以テ保險部長ヨリ磐城炭礦健康保險組合宛回答)

闘争又ハ泥酔ニ因リ生シタル事故ノ意義

法第六十一條ノ規定ニ依リ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルコトヲ得ル事故タル闘争又ハ泥酔ニ因リ生シメタル事故トハ闘争又ハ泥酔ニ因リ其ノ際生セシメタル事故ヲ謂フモノトス (昭和二年四月二十七日附保理第一、九五六號ヲ以テ保險部長ヨリ服部櫻田健康保險組合宛回答)

鑛石等ノ運搬車ニ人ノ便乗ヲ禁セシニ拘ラス無斷ニテ該運搬車ニ便乗シ之カ爲事故ヲ生セシメタル場合ト法第六十一條ノ適用

鑛山ニ於テ專ラ鑛石其ノ他ノ物品ノ運搬用トスル運搬車 (軌道ヲ通スルモノ) ニ人ノ便乗ハ危険ナルヲ以テ絶對ニ之ヲ禁止セルニモ拘ラス無斷ニテ該運搬車ヲ引出シテ之ニ乗り之カ爲事故ヲ生セシメタル場合ハ法第六十一條ニ所謂「業務上ノ

監督者ノ指揮ニ従ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタルニ該當スルヲ以テ同條ニ依リ傷病手当金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサルモ可ナルモノトス但シ之カ決定ニ付テハ充分審議スヘキコトハ勿論トス (昭和二年十月二十七日附ヲ以テ保険部大阪出張所長ヨリ尾小屋嶺山健康保険組合宛回答)

**法第六十一條ノ適用ニ依リ傷病手当金半額ヲ受ケツツアル間ニ他ノ事故タル疾病ノ爲勞務ニ服スルコト不能トナリタル場合ニ於ケル傷病手当金 (法四五條)**

被保險者法第六十一條ノ適用ヲ受ケ傷病手当金半額ヲ受ケツツアル間ニ他ノ事故タル疾病ニ罹リ之カ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ(非入院ノ場合トス)其ノ期間右ノ二事故ヲ通シテ傷病手当金全額ヲ支給スルモノトス (昭和二年十月十三日附保理第三、八〇五號ヲ以テ保険部長ヨリ尾小屋嶺山健康保険組合宛回答)

**人車ニ依リ坑内ヲ昇降スヘキコトヲ遵守セサル爲生シタル事故ニ付傷病手当金不給ノ旨ヲ揭示スルコトノ當否**

人車ニ依リ坑内ヲ昇降スヘキコトヲ遵守セシテ生シタル事故ニ付テハ傷病手当金ノ全部ヲ支給セラレサルコトアルヘキ旨ヲ災害豫防ノ爲又ハ被保險者ノ心得ノ爲健康保険組合ニ於テ被保險者ニ對シ揭示シ豫メ注意ヲ爲シ置クハ別段違法ニ非ス (昭和三年三月二十九日附保理第六五〇號ヲ以テ保険部長ヨリ三好健康保険組合宛回答)

**職工就業規則中酒氣ヲ帯ヒテ就業スヘカラサル旨ノ規定ト飲酒ニ因リテ生セシメタル事故**

職工就業規則ニ「酒氣ヲ帯ヒテ就業スヘカラス」ト規定シアル場合ニ於テ飲酒シテ就業シ事故ヲ生セシメタルトキハ飲酒ノ結果泥酔ノ程度ニ至ラサリシモノト雖右ノ事故ヲ生シタルコトカ飲酒ニ因リシモノトセハ法第六十一條ノ「故意ニ危害豫防ニ關スル監督者ノ指揮ニ従ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタル」ニ該當スルモノトス (昭和三年四月三十日附保理第一、二〇三號ヲ以テ保険部長ヨリ服部櫻田健康保険組合宛回答)

第六十二條

法第六十二條第一項第一號ノ該當期間

法第六十二條第一項第一號ニ「該當」ノ期間トハ「徵集又ハ召集ニ應シ陸海軍ノ軍隊ニ在ル期間」ノミヲ謂フ義ニシテ出發又ハ歸着ノ際ノ旅行日數ハ之ヲ含マサルモノトス（昭和二年四月九日附保理第一、三三四號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒シ小野田セメント本社健康保險組合ニ對シテハ保險部大阪出張所長ヨリ回答）

法第六十二條第一項第一號ノ「召集」ノ意義

法第六十二條第一項第一號ノ「召集」トアルハ其ノ時期ノ平時タルト戰時タルトヲ問ハス又其ノ時期ノ一定タルト不定タルトヲ問ハサルモノトス（昭和三年七月三日附保理第一、三八八〇條ヲ以テ保險部長ヨリ豊田鐵機健康保險組合宛回答）

法第六十二條第一項第一號ノ「召集」ト簡閱點呼ノ參會

簡閱點呼ニ參會スルコトハ法第六十二條第一項第一號ノ「召集」ニ該當セサルモ

ノトス（昭和三年七月三日附保理第一、三八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ豊田鐵機健康保險組合宛回答）

勤務演習ニ應召シ即日除隊シタル場合ト法第六十二條ノ適用

疾病ノ療養ノ爲勞務不能中ノ被保險者勤務演習ニ應召シタルモ疾病ノ爲即日除隊ト爲リタル如キ場合ニ於テハ法第六十二條第一項第一號ニ該當セサルモノトス（昭和五年六月十七日附保理第三一八號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣知事宛「北崎某」示達方「通牒」）

法第六十二條第一項第二號ニ該當ノ始期及終期

法第六十二條第一項第二號ニ該當ノ始期ハ日本（但シ植民地ヲ除ク）ノ領海（陸地ヨリ三海里迄ノ水面）ヲ出タル時ニシテ之カ終期ハ右ノ領海ニ入りタル時トス但シ傷病手當金及出産手當金ノ支給停止並保險料ノ免除ニ付テハ該當ノ始期ハ右ノ領海ヲ出テタル日ノ翌日（右ノ領海ヲ出テタル時カ當日ノ午前零時ナルトキハ當日）ニシテ終期ハ右ノ領海ニ入りタル時カ當日ノ前日（右ノ領海ニ入りタル時カ當日ノ午後十二時ナルトキハ其ノ日）トス（法第六十二條第一項第一號、第三號



及第四號ニ付テモ本件ト同様ノ趣旨ニ依リ解スヘキモノトス (昭和二年八月二日附保  
理第二、七〇八號及同月二十九日附保理第二、七〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ神奈川健康保險署長宛回答)

**法第六十二條第一項第四號ト行政執行法ニ依ル檢束處分ヲ受ケタル場合**

法第六十二條第一項第四號ニハ行政執行法ニ依ル檢束處分ヲ受ケ警察官署ニ留メ  
置カレタル場合ヲ含マサルモノトス (昭和二年八月二十四日附保理第三、一四三號ヲ以テ保險  
部長ヨリ東京市電氣局健康保險組合宛回答)

**法第六十二條第一項該當中ノ者死亡シタル場合ニ於ケル給付 (法四九條)**

法第六十二條第一項該當中ノ者ト雖死亡シタル場合ニ於テハ埋葬料又ハ埋葬費ハ  
之ヲ支給スルモノトス (昭和二年二月五日附保理第四九〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岐阜健康保險署長  
宛回答)

**甲町村在住ノ被保險者カ乙町村ノ傳染病院ニ入院シ療養費用ヲ徴セラレタル場合ト療  
養費ノ支給 (令七二條)**

甲町村ニ在住ノ被保險者カ傳染病豫防法ニ依リ乙町村ノ傳染病院ニ收容セラレ且  
乙町村ノ定ムル規定ニ依リ療養費用ヲ徴セラレタルトキハ該費用ヲ健康保險組合  
ニ於テ療養費トシテ當該被保險者ニ支給スヘキモノトス (昭和三年十月三十日附保理第  
二、八〇八號ヲ以テ保險部長ヨリ北嶺健康保險組合宛回答)

**傳染病院入院患者タル被保險者ノ看護費用自辨ト療養費ノ支給 (令七七條)**

市町村カ其ノ傳染病院、隔離病舎等ニ於ケル傳染病患者ノ看護ニ要スル費用ヲ患  
者ノ負擔タルコトニ規定スル場合ニ在リテハ斯カル病院、病舎等ニ收容セラレタ  
ル被保險者ノ看護ニ要シタル費用ハ保險者ニ於テ療養費トシテ支給シ差支ナキモ  
ノトス (昭和三年七月二十日附庶發第七一一號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ愛媛健康保險署長宛回  
答)

**傳染病院等ニ收容セラレタル被保險者ノ附添人ノ費用**

傳染病院等ニ收容セラレタル被保險者ノ收容セラレタル間ノ附添人ノ費用ハ當該

被保險者ノ負擔トス (昭和三年四月二十四日附保第五二〇號ヲ以テ保險部長ヨリ福岡縣小倉市津製糖株式會社小倉工場宛回答)

被保險者タル傳染病患者カ鑛山附屬病院ニ入りタル場合ニ於ケル費用ノ負擔者

傳染病患者一時ニ發生シ町ノ隔離病舎滿員ナルヲ以テ町當局ニ於テ被保險者タル傳染病患者ヲ町ノ隔離病舎ニ收容セス鑛山附屬病院ニ入ラシメタリ此ノ場合右ノ鑛山附屬病院ニ入ラシメタルコトカ傳染病豫防法ニ基キタルモノトセハ之カ費用ハ町ノ負擔ニ屬スルモノニシテ然ラサルモノトセハ保險者ノ負擔ニ屬スルモノトス (昭和四年三月十三日附保第六一四號ヲ以テ保險部長ヨリ北海道夕張郡夕張町長宛回答)

傳染病院、精神病院、結核療養所等ニ收容セラルル前又ハ收容セラレ退院、退所等ノ後ニ於ケル療養ノ給付 (法四三條)

傳染病、精神病又ハ結核病ノ患者タル被保險者ニ付テハ其ノ者カ傳染病豫防法、

精神病院法又ハ結核豫防法ニ依リ傳染病院、隔離病舎若ハ隔離所、精神病院又ハ結核療養所ニ收容セラルル間ハ法第六十二條第二項ノ規定ニ該當スルヲ以テ療養ノ給付ヲ爲ササルモノナルモ未タ收容セラレサル前又ハ收容後退院、退舎又ハ退所シタル後ニ於テハ右ノ規定ニ該當セサルヲ以テ療養ノ給付ヲ爲スノ要アルモノトス (昭和二年五月十三日附保第一六五號ヲ以テ保險部長ヨリ香川健康保險署長宛回答)

傳染病ニ罹リタル者自宅ニ於テ治療ヲ爲ス場合ト療養ノ給付 (法四三條)

傳染病ニ罹リタル場合ト雖傳染病院等ニ收容セラレス自宅ニ於テ治療ヲ爲ス場合ニ於テハ健康保險ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スモノトス (昭和二年二月二十一日附保第五九七號ヲ以テ保險部長ヨリ秋田縣仙北郡大曲町健康保險會社丹治宛回答)

精神病患者監護法ニ依リ市區町村長ヨリ監護ヲ受ケル被保險者ト法第六十二條第二項 (法四三條、精神病監護法六條、八條)

精神病患者タル被保險者カ精神病患者監護法第六條又ハ第八條ノ規定ニ依リ市區町

村長ヨリ監護ヲ受ケ自己ニ於テ療養ヲ爲スモ法第六十二條第二項ノ規定ニ該當セサルモノトス尙保險者ハ精神病患者タル被保險者ニ對シ療養ノ給付ヲ爲ス義務アルモ監護ヲ爲ス義務ナキモノトス (昭和二年五月十二日附保發第一六五號ヲ以テ保險部長ヨリ香川健康保險署長宛回答)

**被保險者タル結核患者ノ結核療養所ノ入所**

被保險者タル結核患者ハ健康保險法ノ規定ニ依ル療養ノ給付ヲ受ケ得ル限リハ大體ニ於テ療養ノ途アルモノト認メラルルニ付結核療養所ニ入所セラレサルモノトス但シ健康保險ニ於ケル結核ニ對スル醫療設備ノ有無、適否等ニ依リ場合ニ於テハ療養ノ途ナシト認メラルルコトモアルヘシ (昭和四年二月二十一日附保理第二、八九三號ヲ以テ保險部長ヨリ愛知健康保險署長宛回答)

**傳染病患者タル被保險者ノ入院選擇權**

被保險者カ傳染病ニ罹リ法定傳染病ト診定セラレタル場合ニ於テ市町村ノ經營ス

ル傳染病院若ハ隔離病舎ニ收容セララルルヤ又ハ醫師ノ經營スル傳染病院等ヲ選擇シテ入院シ得ルヤハ傳染病豫防法令ニ依ルモノニシテ此ノ場合ニ於テ市町村長又ハ傳染病豫防委員ニ於テ認容シタルトキハ被保險者ハ醫師ノ經營スル傳染病院等ヲ選擇シテ入院シ得ルモノトス (昭和三年七月九日附保理第一、五二四號ヲ以テ伊豫部長ヨリ鳥取健康保險署長宛回答)

**第六十三條**

**法第六十三條ノ「療養ニ關スル指揮」ノ意義 (令七七條)**

法第六十三條ノ「療養ニ關スル指揮」トハ保險醫ニ於テ被保險者ニ對シテ爲ス指揮及保險者ニ於テ直接被保險者ニ對シテ爲ス指揮ヲ謂フモノニシテ尙療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スル場合ニ於テハ保險醫ニ非サル醫師又ハ齒科醫師ニ於テ爲ス指揮ヲモ含ムモノトス (昭和二年九月三十日附保理第三、四七五號ヲ以テ保險部長ヨリ日本硝子健康保險組合宛回答)

被保険者カ保険醫ノ指示ニ背キテ勞務ニ服シタル場合ト法第六十三條ノ適用

保險醫ニ於テ勞務ニ服スヘカラサル旨ヲ指示シタルニ拘ラス被保險者カ勞務ニ服シタル場合ニ於テハ其ノ勞務ノ輕重ヲ問ハス又勞務ニ依リテ收入ヲ得タルト否トヲ問ハス法第六十三條ヲ適用シ妨ケナキモノトス (昭和二年九月二十九日附保理第三、四一號ヲ以テ保險部長ヨリ東京市電氣局健康保險組合宛回答)

被保險者カ任意ニ療養ヲ爲シタル場合ト法第六十三條トノ關係 (法四五條)

被保險者カ健康保險ノ療養ノ給付ヲ受クルノ外ニ自己ノ負擔ヲ以テ醫師若ハ齒科醫師又ハ是等以外ノ者ニ依リテ療養ヲ爲スコトハ被保險者ノ任意ナルカ故ニ此ノ場合ニ於ケル傷病手當金ニ付テハ法第六十三條ヲ適用スヘキモノニ非サルモノトス (昭和二年三月二十八日附保理第一、〇一八號ヲ以テ保險部長ヨリ三共健康保險組合宛回答)

保險醫ノ任意變更ト法第六十三條ノ適用 (令七七條)

保險者ノ承認ヲ受ケスシテ保險醫ヲ變更スル者ノ如キハ法第六十三條ニ所謂「療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者」ニ該當セサルモノトス (昭和三年五月二十五日附保理第一、三六六號ヲ以テ保險部長ヨリ川崎造船所健康組合宛回答)

法第六十三條ノ「療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者」ノ意義

法第六十三條ノ「療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者」トハ疾病又ハ負傷ノ場合ニ於テ保險醫又ハ保險者ヨリ與ヘラレタル療養ニ關スル指示又ハ禁止ヲ遵守セサル者ノ義ナルヲ以テ單ニ養生ヲ怠リタルノ故ヲ以テ傷病手當金ノ一部不支給ノ決定ヲ爲スコトヲ得サルモノトス (昭和八年四月二十六日附保理第一一九號ヲ以テ保險部長ヨリ岸和田紡績健康保險組合理事長宛回答)

第六十四條

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者カ第三者ヨリ治療費ヲ受クルコトト法第六十四條トノ關係 (法六七條)

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者カ第三者ヨリ治療費ヲ受ク  
 第三ノト雖保險給付ヲ受ケ得ル權利ヲ有スルヲ以テ之カ權利ヲ行使スルハ詐欺其ノ他  
 不正ノ行爲ニ非ス從テ法第六十四條ニ該當セサルモノトス (昭和二年十月十二日附保  
 理第三、五四四號ヲ以テ保險部長ヨリ淺野セメント川崎工場健康保險組合宛通牒)

被保險者資格取得ノ動機不純ナル者ノ受ケムトシタル給付ト法第六十四條ニ所謂詐欺  
 其ノ他ノ不正行爲

健康保險ノ被保險者ト爲ラハ豫テ罹レル疾病ニ付無料ニテ入院治療ヲ受クルノ途  
 アリト聞キ工場法適用工場ニ使用セラレ被保險者ノ資格ヲ取得シ以テ入院ノ承認  
 申請及傷病手當金支給ノ請求ヲ爲セリト雖右ノ資格取得力眞ニ使用關係ノ成立ニ  
 基キタルモノナリトセハ此ノ入院及傷病手當金ヲ受ケムトスルコトハ法第六十四  
 條ニ所謂「詐欺其ノ他不正ノ行爲」ニ該當セサルモノトス (昭和三年十月三十日附保理第  
 二、七七七號ヲ以テ保險部長ヨリ茨城健康保險局長宛回答)

賭博ト法第六十四條

賭博行爲ハ法第六十四條ノ規定ニ依ル「不正ノ行爲」ト看做スヘキノ限ニ在ラス  
 (昭和八年四月二十六日附保理第一一號九ヲ以テ保險部長ヨリ岸和田紡績健康保險組合理事長宛回答)

第六十七條

保險者ノ第三者ニ對スル求償權ト被保險者ノ意思

第三者ノ不法行爲カ民法ノ規定ニ照シ成立スルモノナルトキハ保險者ノ第三者ニ  
 對スル損害賠償請求權ハ被保險者ノ意思如何ニ拘ラス存スルモノトス (昭和二年十  
 二月二十八日附發第二、八八八號ヲ以テ保險部大阪出張所長ヨリ株式會社日立製作所笠戸工場健康保險組  
 合宛回答)

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者カ第三者ヨリ賠償ヲ受ケタル場  
 合等ト保險給付

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者カ保險給付ヲ受クル前ニ第

三者ヨリ賠償ヲ受ケ又ハ第三者ニ對シ賠償免除ヲ爲シタル場合ニ於テモ保險者ハ當該被保險者ニ對シ保險給付ヲ爲スコトヲ要スルモノトス（昭和二年九月二十七日附發保第九〇號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長宛回答）

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者カ第三者ヨリ賠償ヲ受ケタル場合等ト保險者ノ第三者ニ對スル損害求償權

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付被保險者カ保險給付ヲ受クル前ニ第三者ヨリ賠償ヲ受ケ又ハ第三者ニ對シ賠償免除ヲ爲シタル場合ニ於テハ保險者ハ第三者ニ對シ損害賠償請求權ヲ有セサルモノトス（昭和二年九月二十七日附發保第九〇號ヲ以テ保險部長ヨリ東京健康保險署長宛回答）

被保險者カ給付ヲ受ケツツアル間ニ第三者ヨリ受償シタル場合ニ於ケル保險者ノ第三者ニ對スル求償權

被保險者カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル事故ニ付保險給付ヲ受ケツツアル間ニ

第三者ヨリ損害賠償ヲ受ケタル場合ニ於テハ賠償ヲ受ケタル時以前ノ保險給付ニ付テノミ保險者ハ第三者ニ對シ損害賠償請求權ヲ取得スルモノトス（昭和三年十月二十二日附保理二、七四九號ヲ以テ保險部長ヨリ愛知健康保險署長宛回答）

第六十七條ノ「給付ノ價額ノ限度」ノ意義

法第六十七條ノ「給付ノ價格ノ限度」トハ保險給付ニ實際要シタル費用額ヲ謂フ義トス（昭和二年六月十日附保理第二、四六九號ヲ以テ保險部長ヨリ宮城健康保險署長宛回答）

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付爲シタル給付費用損害賠償金ト法第十一條ノ徵收金（法一一條）

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付爲シタル給付費用損害賠償金ハ法第十一條ニ所謂「徵收金」ニ該當セサルヲ以テ其ノ取立ヲ市町村ニ對シ囑託スヘカラサルモノトス（昭和三年四月十九日附保第二九〇號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險署長宛通牒）

損害賠償請求權ト損害賠償請求權者ノ意思

第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル保險事故ニ付爲シタル保險給付費用ノ求償權ハ損害賠償請求權者ニ於テ債務免除ノ意思表示（訴訟ヲ提起セサルノ意思表示タルヲ要セス）ヲ爲ササル限リハ依然トシテ存スルモノニシテ單ニ内心免除ノ意思ヲ有スルノミニテハ債務免除ノ效力ヲ生セサルモノトス（昭和五年七月四日附保規第三一五號ヲ以テ保險部長ヨリダンロツフ健康保險組合理事長宛回答）

**見舞金又ハ見舞品等ヲ受ケタル場合ト損害賠償請求權**

見舞金又ハ見舞品ハ債務ノ辯済タルコトアリ或ハ債務ノ一部辨済タルコトアリ或ハ又債務ノ辨済トハ何等ノ關係ヲ有セサルコトアルヲ以テ結局個々ノ場合ニ就キ辨済トナルモノアリヤ否ヤヲ決定スルノ外ナシ尙又損害賠償請求權者ニ於テ見舞品ヲ受領スルニ當リ債務ノ一部又ハ全部ヲ免除スヘキ明示又ハ默示ノ意思表示ヲ爲シタルトキハ其ノ限ニ於テ全部又ハ一部ノ損害賠償債務ハ消滅スルモノトス（昭和五年七月四日附保規第三一五號ヲ以テ保險部長ヨリダンロツフ健康保險組合理事長宛回答）

**第七十一條**

政府又ハ公共團體ノ事業ニ使用セラルル被保險者ニ關スル保險料ニシテ會計ノ主體ヲ具ニスル場合ニ於ケル國庫出納金端數計算法適用（國庫出納金端數計算法）

政府又ハ道府縣市町村其ノ他大正五年勅令第二百九號第一條ノ公共團體ノ事業ニ使用セラルル被保險者ニ付テ一事業主ノ納付スル保險料ニシテ會計ノ主體ヲ異ニスル場合（即チ或事業ニ於テ一般會計ノ支辨ニ屬スル被保險者ト特別會計ノ支辨ニ屬スル被保險者ト兩者アル場合ノ如シ）ニ於テハ國庫出納金端數計算法ノ適用ハ各會計別ニ之ヲ爲スヘキモノトス（昭和二年六月八日附發保第六五號ヲ以テ內務大臣官ヲリ各省大臣、內閣書記官長、北海道廳長官、警視總監、各府縣知事、各健康保險局長及各健康保險組合宛通牒）

政府又ハ公共團體ノ事業ニ使用セラルル被保險者ニ關スル保險料ニ付テノ國庫出納金端數計算法ノ適用（國庫出納金端數計算法）

政府又ハ道府縣市町村其ノ他大正五年勅令第二百九號第一條ノ公共團體ノ事業ニ使用セラルル者タル健康保險ノ被保險者ニ關スル保險料中被保險者ノ負擔スル部分ヲ事業主カ被保險者ニ對シ支拂フ報酬ヨリ控除スル場合ニ於テハ各被保險者ニ付テ國庫出納金端數計算法ヲ適用スルコトハ勿論ナルモ事業主カ保險料ヲ保險者ニ納付スル場合ニ於テハ右ニ依リ各被保險者ニ付國庫出納金端數計算法ヲ適用シタル額ト事業主ノ負擔部分トノ合計額ヲ納付スルモノニ非スシテ事業主ノ納付スル保險料ノ全額(即チ事業主ノ負擔部分ト被保險者ノ負擔部分トヲ合算シタル額)ニ付テ右法律ヲ適用シタル額ヲ納付スヘキモノトス(昭和二年六月八日附發保第六五號ヲ以テ內務大藏兩次官ヨリ各省次官、內閣書記官長、北海濱廳長官、警視總監、各府縣知事、各健康保險署長及各健康保險組合宛通牒)

**任意繼續被保險者ノ保險料率** (法二〇條、令九五條、政府ノ管掌スル健康保險ノ保險料率)

一、政府ノ管掌スル任意繼續被保險者ニシテ何等ノ事業ニ使用セラレサル場合及

健康保險ト關係ナキ事業ニ使用セラルル場合ハ大正十五年十月二十一日內務省告示第五百十九號政府ノ管掌スル健康保險ノ保險料率第二號ニ依リ又石炭ノ試掘、採掘及之ニ附屬スル事業ノ事業場又ハ工場ニ使用セラルル場合ハ右告示第一號ニ依リ其ノ他健康保險ト關係アル事業ニ使用セラルル者ニ付テハ右告示第二號ニ定ムル保險料率ニ依リ保險料ヲ徵收スヘキモノトス (昭和五年九月十八日附發保第四五號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒)

二、政府又ハ他ノ健康保險組合ノ管掌ニ屬シタル被保險者ガ其ノ健康保險組合ノ管掌スル任意繼續被保險者ト爲リタルトキハ其ノ健康保險組合ノ定ムル保險料率ニ依リ保險料ヲ徵收スヘキモノトス (昭和五年九月十八日附發保第四五號ヲ以テ保險部長ヨリ各健康保險組合宛通牒)

**第七十二條**



**被保険者資存格續中ト保険料** (法七六條)

被保険者ノ資格ノ存スル間ノ保険料ハ法第七十六條各號ノ一ニ該當スル場合ノ外ハ之ヲ徴收セサルヘカラサルモノトス (昭和二年八月十八日附保理第二、六六四號ヲ以テ保險部長ヨリ明電合健康保險組合宛回答)

**工場ノ公休日ト保険料ノ負擔** (法七六條)

保險科ハ被保險者タル間ハ工場ノ公休日ト雖之ヲ負擔スル義務アルモノトス即チ大ノ月ナレハ三十一日分、小ノ月ナレハ三十日分、二月ハ二十八日分又ハ二十九日分ヲ負擔スル義務アルモノトス但シ傷病手當金ノ支給ヲ受クル期間等ハ負擔スルノ義務ナキモノトス (昭和二年三月十一日附保理第一、一七九號ヲ以テ保險部監理課ヨリ東京府東京市本所區中ノ郷羅平町二十八番地塚田平吉宛回答)

**使用關係發生後數日ヲ經テ現實ニ業務ニ服シタル力爲其ノ間賃金ヲ受ケサル場合ト保險料ノ負擔義務** (法七六條、一三條)

法律上使用關係ノ發生シタル者即チ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ハ其ノ日ヨリ數日後ニ至リ現實ニ業務ニ服シタル爲其ノ間賃金ヲ受ケサルモ保險料ヲ負擔スヘキモノトス (昭和三年八月七日附保發第四八〇號ヲ以テ保險部長ヨリ富士製紙健康保險組合宛回答)

**被保險者力收入ノ途ナキ場合ト保險料ノ負擔義務** (法四七條)

被保險者カ疾病又ハ負傷ニ付法第四十七條ノ規定ニ依ル期間傷病手當金ノ支給ヲ受ケタルモ其ノ疾病又ハ負傷カ治癒セス之カ療養ノ爲仍勞務ニ服セサルニ依リ收入ノ途ナキ状態ニアリト雖被保險者タル間ハ保險料ヲ負擔スヘキ義務アルモノトス (昭和二年九月二日附保理第三、二四〇號ヲ以テ保險部長ヨリマツダ健康保險組合宛回答)

**被保險者死亡當日ノ保險料** (法七七條)

被保險者死亡シタル場合ニ於テハ死亡時刻ノ如何ニ拘ラス當日ハ仍被保險者ノ資格ヲ有スルモノナルヲ以テ其ノ日ノ保險料ハ徴收スヘキモノトス (昭和二年二月十九日附保理第八四六號ヲ以テ保險部長ヨリ東京計器健康保險組合宛回答)

**被保険者資格喪失後ト保険料ノ負擔義務** (法五五條)

一六六

被保険者ノ資格喪失後ハ法第五十五條ノ規定ニ依リ繼續シテ給付ヲ受クルト否トニ拘ラス被保険者タリシ者及其ノ者ノ事業主タリシ者ハ保険料ヲ負擔スルノ義務ナキモノトス (昭和二年八月十二日附ヲ以テ保険部大阪出張所長ヨリ東陶健康保険組合宛回答)

**勞務供給請負人ト保険料ノ負擔義務** (令九條)

勞務供給請負人ハ事業主ノ負擔スヘキ保険料ヲ負擔スルノ義務ナキハ勿論被保険者ノ負擔スヘキ保険料ヲモ負擔スヘキ義務ナキモノトス (昭和二年八月十三日附保理第二、八六〇號ヲ以テ保険部長ヨリ東京鋼材健康保険組合宛回答)

**借受ニ係ル鑛區ニ依リテ爲ス事業ニ使用セラルル被保険者ノ保険料ノ負擔及納付ノ義務者** (法七七條)

他人ノ鑛區ヲ借受ケテ事業ヲ爲ス者即チ所謂斤先人ハ健康保險ニ於ケル事業主ニ非サルヲ以テ斯クノ如キ事業ニ使用セラルル被保険者ノ保険料ノ負擔及納付ハ鑛

業權者ニ於テ爲スヘキモノトス (昭和二年一月二十七日附保理第四九一號ヲ以テ保険部長ヨリ

滋賀健康保險局長宛回答)

**事業主ノ負擔スル保険料ト所得税トノ關係** (所得税法四條、十四條、所得税法施行規則七條)

事業主ノ負擔スル保険料ハ事業主法人タル場合ニ在リテハ所得税法第四條第一項ニ依リ各事業年度ノ總益金ヨリ控除スヘキ總損金ニ該當シ又事業主個人タル場合ニ在リテハ同法第十四條第一項第六號ニ依リ前年中ノ總收入金額ヨリ控除スヘキ必要ノ經費即チ同法施行規則第七條ニ規定スル收入ヲ得ルニ必要ナル經費ニ該當スルモノトス (昭和二年七月八日附議稅第一、九四九號ヲ以テ大藏次官ヨリ社會局長宛回答)

**健康保險ノ事業主ノ負擔スル保険料ト營業收益稅トノ關係** (營業收益稅法四條、六條同法施行規則七條)

事業主ノ負擔スル保険料ハ事業主法人タル場合ニ在リテハ營業收益稅法第四條第一項ニ依リ各事業年度ノ總益金ヨリ控除スヘキ總損金ニ該當シ又事業主個人タル

場合ニ在リテハ同法第六條第一項ニ依リ前年中ノ總收入金額ヨリ控除スヘキ必要ノ經費即チ同法施行規則第六條第一項ニ規定スル收入ヲ得ルニ必要ナル經費ニ該當スルモノトス (昭和七年五月二十日附蔵稅第一〇八五號ヲ以テ大藏次官ヨリ社會局長官宛回答)

同一ノ疾病ニ付保險給付法定期間満了セル被保險者ノ保險料 (法第四七條)

同一ノ傷病ニ付保險給付法定期間満了セル場合ニ於テモ工場ニ使用セララル者ナル以上ハ被保險者ナルヲ以テ保險料ヲ徵收スヘキモノトス (昭和四年十二月二十六日附保規第六六六號ヲ以テ電化青海工場健康保險組合宛回答)

第七十四條

法第七十四條第二項ノ趣旨 (令九五條)

法第七十四條第二項ノ趣旨ハ同條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ保險料ヲ徵收スルコトヲ要スル事業ノ事業主ノ負擔タルヘキ趣旨トス即チ施行令第九十五條第

二項但書ノ規定ニ依リ業務ノ種類ニ從ヒ異ル保險料率ヲ定メタル場合ニ於テ被保險者ノ負擔スヘキ保險料額ニシテ法第七十四條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ當該事業ノ事業主ニ於テ超過部分ヲ負擔シ又保險料率ヲ一般的ニ高メタル爲之カ保險料額カ右規定ニ依ル制限ヲ超ユルトキハ全部ノ事業主ニ於テ超過部分ヲ負擔スヘキ趣旨トス (昭和二年三月二十日附保規第六四六號ヲ以テ保險部長ヨリ長野健康保險會長宛回答)

第七十六條

法第七十六條ト事業主ヨリ徵收スル保險料トノ關係

法第七十六條ノ場合ニ於テハ事業主ヨリモ保險料ヲ徵收セサルモノトス同ノ期法第五十八條ノ規定ニトリ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部ヲ受ケサル場合ト此ノ期間ニ於ケル保險料 (法五八條)

法第五十八條ノ場合ニ於テ繼續シテ受クル報酬ハ傷病手當金又ハ出産手當金ニ代  
 ハルヘキモノト認メラルルヲ以テ同規定ニ依リ病傷手當金又ハ出産手當金ノ全部  
 ヲ受ケサル場合ト雖法第七十六條第一號ニ該當スルモノトス故ニ其ノ期間ノ保險  
 料ハ之ヲ徵收セサルモノトス (大正十五年十二月十日附保發第三五〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岩  
 手健康保險署長回答)

**法第四十五條但書ノ待期間ト保險料** (法四五條)

法第四十五條但書ノ待期ノ間ハ傷病手當金ヲ支給セサルヲ以テ其ノ期間ノ保險料  
 ハ之ヲ徵收スルモノトス (昭和二年二月五日附保理第七一三號ヲ以テ保險部長ヨリ東京府東京市  
 本所區横綱町一丁目二十番地江東工業會宛回答)

**傷病手當金ノ全部又ハ一部ノ支給ヲ停止シタル場合ニ於ケル保險料** (法六一條、七一條)  
 被保險者鬪爭、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ因リ又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上  
 ノ監督者ノ指揮ニ從ハサルニ因リ保險事故ヲ生シタル場合ニ於テ傷病手當金ノ全

部ヲ支給セサリシ場合ニ於テハ保險料ヲ徵收シ又傷病手當金ノ一部ヲ支給セサル  
 場合ニハ保險料ヲ徵收セサルモノトス (昭和四年七月一日附保理第一、八五五號ヲ以テ保險部  
 長ヨリ大阪健康保險署長宛回答)

**工場法ニ基ク休業扶助料ヲ受クル場合ト保險料**

工場法ニ基ク休業扶助料ノ如キハ之ヲ健康保險ノ傷病手當金又ハ出産手當金ニ代  
 ハルヘキモノト認メ得サルヲ以テ被保險者ハ傷病手當金ヲ受ケスシテ此ノ休業扶  
 助料ヲ受クルモ之カ爲保險料ノ負擔義務ヲ免ルルコトヲ得サルモノトス (大正十  
 五年十二月十日附保發第三五〇號ヲ以テ保險部長ヨリ岩手健康保險署長宛回答)

**第七十七條**

**事業主ノ納付スヘキ保險料額** (法七八條)

事業主ハ被保險者ニ支拂フ報酬ヨリ控除シタル被保險者ノ負擔スル保險料ノ額ノ